

女装者から「オトコノコ」へ！

性の多様化が進んだ2010年代に
可愛い女装子たちが巻き起こしたセンセーションを再現マンガで追懐

マンガで振り返る

オトコノコ 10年史

SANWA MOOK

【男の娘ロングインタビュー】

女装子の時代を塗りかえた雑誌

『オトコノコ倶楽部』

創刊編集長・井戸隆明に聞く

新世代の女装子たちが彩った10年と
大島薫というエポックメイカーについて

Comic: 秋月たかひろ

Cover Illustration

うすべに桜子

【男の娘AV座談会】

AVメーカー『僕たち男の娘』で

5年間専属女優を努めたNH橘芹那

男の娘を専属女優にした

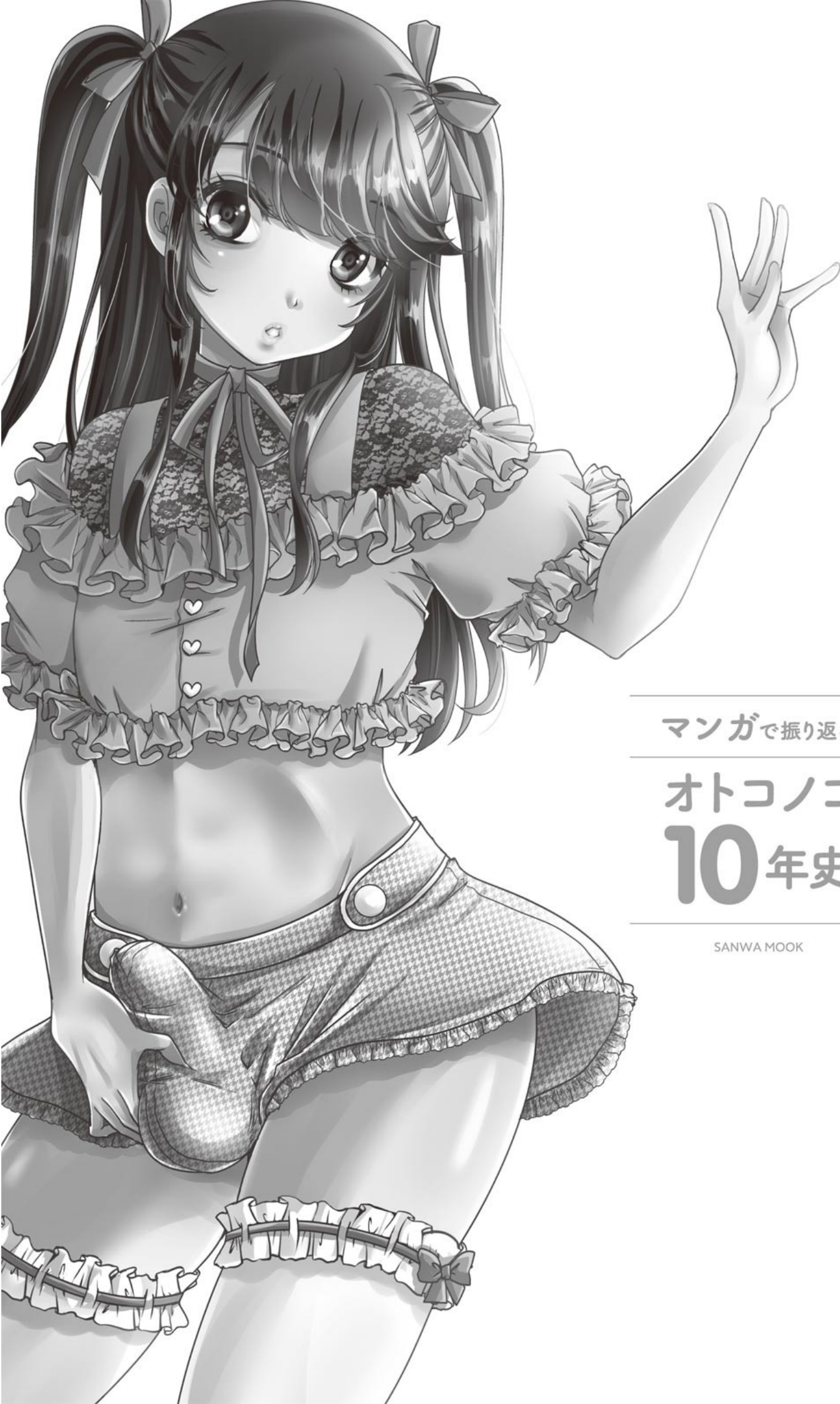
『僕たち男の娘』杉ノ木監督

オトコノコのイベント『ごくぶと祭』P

三代目葵マリー

Comic: 小本田絵舞





マンガで振り返る

オトコノコ
10年史

SANWA MOOK

まんがで振り返るオトコノコ10年史・目次

003

検証！オトコノコ10年史

マンガ・うすべに桜子

011

「男の娘ロングインタビュー」

女装子の時代を塗りかえた雑誌

『オトコノコ倶楽部』

創刊編集長・井戸隆明に聞く

新世代の女装子たちが彩った10年と

大島薫というエポックメイカーについて

マンガ・秋月たかひろ

047

女装美少年たちが美少女化した時代背景

イラスト・山本モト／蒼井遊美／にゆくす

062

タマトイズ男の娘グッズCOLLECTION

マンガ・蒼津ウミヒト

066

タマトイズ男の娘グッズカタログ

073

「男の娘AV座談会」

AVメーカー「僕たち男の娘」で5年間専属女優を努めたNH

橘芹那

男の娘を専属女優にした「僕たち男の娘」杉ノ木監督

オトコノコのイベント「極太祭り」P 三代目葵マリー

マンガ・小本田絵舞

112

岡田快適生活研究所商品開発史

マンガ・山本モト

118

「オトコノコAV出演者インタビュー」

ボクたちのAV女優体験談

イラスト・小本田絵舞

表紙イラスト…うすべに桜子

検証！ オトコノコ10年史

マンガ：うすべに桜子

ボクたちと
男の娘の
歴史について
勉強しようね♡

男性が男性のままで
女性の恰好をすることを
「女装」というけど

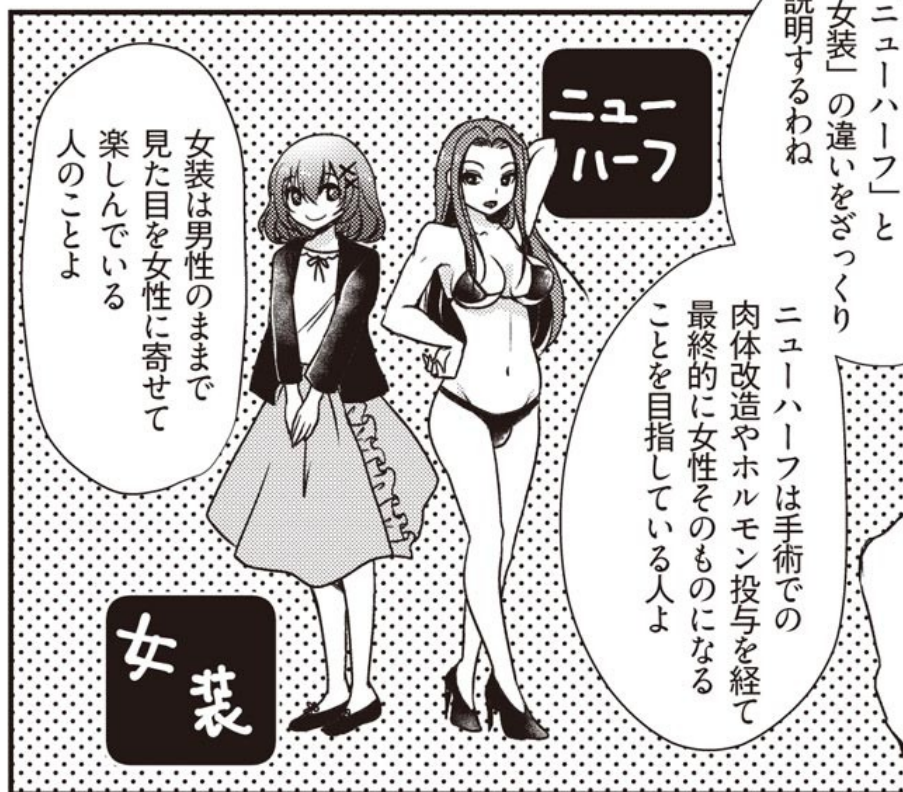
最近では
「男の娘」と表現されたり
もしているわよね

ボクたち男の娘が
今みたいに世間に
認知される前って
どんなだったんだろう？

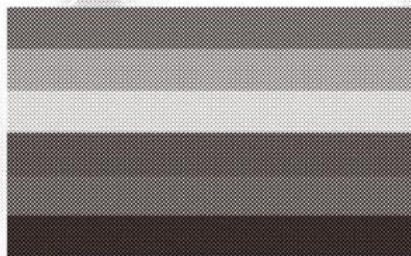
それじゃあざっと
「オトコノコ10年史」を
振り返ってみましょうか♡

はい♡
さくしゅおかわい
しまーす♡

Let's
Go!!



- L レズビアン…女性同士の同性愛
- G ゲイ…男性同士の同性愛
- B バイセクシャル…両性愛者
- T トランスジェンダー…心と身体の性が一致しない人



LGBTのシンボルとなっている
レインボーフラッグ

世界的なLGBTの問題提起に呼応して日本でも同性愛や同性婚セクシャルの問題が積極的に取り上げられるようになったのもこの10年ね

毒舌も許されちゃう♡



男の気持ちも女の気持ちもわかるという意味で女装タレントがウケてメディアに引っ張りだこにもなっているわね♡



この辺りの
ファッションや
メイクのことなら
ボクもわかるよ♡

泣いた跡みたいな
赤い目元が可愛いよね♡



- ・白いマシュマロ肌
- ・赤～ピンク系の
アイシャドウを
下まぶたにも
- ・涙袋強調
フリフリ
薄色
カーフ系
カラコン
・グランド
ホリッポ
・二重
強調
アイ
プチ

リボンやフリルがたくさん付いた
可愛いファッションも今はいっぱい！
男のボクがそんな可愛い服や下着を
リアル店舗で買うのは恥ずかしいけど
通信販売が繁荣してくれて
レディース服や女性下着の購入が
ポチるだけだから楽勝！
通販しか勝たん♡



amusing



加工後

加工前



誰でも簡単にレタッチ♡
写真が美化されるようになっただ

- ・輪郭修正
(頬幅細く、アゴをシャープに)
- ・目を大きく二重に
- ・小鼻を小さく細く
- ・肌荒れ修正
- ・唇もふくら

そしてスマホの
加工アプリのおかげで…

4...44...44...



加工後

えへ♡

画像加工が簡単になったことで
自撮りを他人へ見せることの
ハードルも低くなり自身の女装を
SNSに乗せて拡散したり

女装コスプレなど
女装をしている子の活動場所が
増加してるの

じょぞ
@josoko
男の子がかわい服
男の子がかわい服



4514

THE
陰キャ

変身!

普段どんなに冴えなくても
メイク・アプリ・ファッションを
頑張って可愛く男の娘化する
ことで...

女子からの反応アップ!
女性にチヤホヤされる
ことから
女装の門を開く人も
多いのよ

きゃー♡
男の子なのに
かわいいー!!
♡

すっぴんかわいいね!
本当に男!?かわいいぞ!

もっとおちなかにうか
見てみたいね♡

見られて興奮するの
えっちなかわいい

男性にチヤホヤ...というか
性的な目で見られることが
癖になるケースも多くて
そこからニューハーフという
ルートの人もいたり...

男のいやらしい視線を集め
欲情させることに興奮し
深みにハマって
男性と性行為に及ぶ人も
多いのよ♡

SEX!!



橘芹那さん
大島薫さんといった
男性AV女優が人気に
なったことで

現在のAV界では
ひとつのジャンルに
なってるのよ

純粋な女性よりも
エロさを発揮して
AVで人気者になる
男の娘が多数出現
してきたの♡

またニューハーフ風俗も
昔からあるけど今は
可愛い子がたくさん！

男の娘♡ニューハーフ♡
♂ ♀



ニューハーフだけじゃなくて
女装子という
カテゴリーができて
キャストも多様化

こんばんは。

まていま

待機 ふうどー



【男の娘ロングインタビュー】

女装子の時代を塗り替えた雑誌

『オトコノコ倶楽部』

創刊編集長・井戸隆明に聞く

新時代の女装子たちが彩った10年と

大島薫というエポックメイカーについて

マンガ…秋月たかひろ

1 三和出版入社以前の井戸隆明

——井戸さんが女装を好きになったきっかけを教えてください。

井戸…もともと2次元が好きで、『転校生』とか『らんま1/2』って、そういう性転換ものに当時は惹かれた。

——TSものだったんですね。

井戸…そうだね。普通にテレビドラマとか大衆的なものに出てくるやつ。

それに変な背徳感とかドキドキを覚えて、それがなんだろうと思った。そしたら、自分がなりたい願望とか、テレビの枠内では表現できないことを想像していたことに気付いて。

例えば、『転校生』だったら、入れ替わった後に、『あ、チンコがない！』って描写とかあるけど、思春期の頃に、普通はそれで終わらないでしょ。その先を妄想してオナニーするとかやってたね。

『らんま』なんかでも、女乱馬の時にレイプされて中出しされて、妊娠したら、男に戻った時どうなるんだろう、みたいなことをずっと考えてたりね。

——（笑い）

井戸…そういう同人を描く人もいるのかもしれないけど、

俺は自分の妄想でそういうことをずっと考えてて。

だから、そういう性転換、TSみたいな入れ替わり物に俺は惹かれたんだよね。

——井戸さんの世代的には、コロコロコミックの『バーコードファイター』かな、とも思ったんですが……

井戸…確かに世代的にはそうなんだけど、『ああ、あったな』くらいで全然記憶になかった。桜（有栖川桜）のことも、全然覚えてないくらい。

『男の娘の秘密』って本を作るときに読み返して、「ああ、こんなんあったっけ」って思ったくらいだね。世代によるかもしれないけど。

あと、あかほりさとるの「MANE爆熱時空」とか。オタクコンテンツだったら、そういうものとかに影響された。その延長線上で、ふたなりや女装、ニューハーフみたいなコンテンツも、背徳的に見るようになって。人にはあんまり言えないんだけど、惹かれてしまうという。

エロ漫画としては、しのぎ嶺さんの「BLUE HEAVEN」っていうのに凄く衝撃を受けて、俺と同じような感覚で描いてる漫画があるんだ、って思ってたね。

でも、田舎だったから、漫画読んだり、ニューハーフもののAV見たりしているだけだった。

大林宣彦監督
『転校生』

転校生

1982年公開

らんま1/2
1987年
~1996年

高橋留美子原作

『らんま1/2』

一人の少年が
これらの作品で
人生を変えた

もん

もん

井戸隆明
性癖の目覚めであった

女らんまが
妊娠中に水を
かけられたら
どうなるのかなあ

井戸…大学で東京に出てきたら、実際に触れあえる場所や、コンテンツが溢れてた。

そしたら、自分は最初「チンコがついてる女が好き」って思ってたんだけど、実際にニューハーフに会ってみると、女よりも女っぽくて、めんどくさかったり、それが可愛いな、と思ったり、みんな水商売だから病んでたりとか……。

そういうのを浴びてきて、俺は何が好きなんだろうな、ってというのが、段々と形が出来てきた感じがするね。女装やニューハーフへの想いを言語化できたのもその流れだね。それまでずっと考えてきたんだけど。

ニューハーフよりも、女装の素人とか発展場とか、ネットの掲示板とかで人と会ってみて、「あ、色んな人いるな」って思ってた。

当時は、まだ掲示板にそんなに書き込まれてなくて、発展場も年齢層が高かったんだけど、50歳ぐらいの人でも、ああ、俺全然そういう人に興奮するな、可愛いな、って思ってた。

女の子になりきってて、そのルールの中で演技切ってたから、ちゃんとエロいな、って。一方で、そういう人に対して、「男じゃん」とか「おっさんじゃん」とか言う人は、結局モテない。

結局、ルールがあるゲームなんだよ。演劇みたいなも

んだよね。そこで、女装してる人は女性として扱うみたいなルールがあり、男として楽しみに来てる人は、それを女として性的に見ないといけない。

——そうやって、若い時に発展場とかに行って、おじさんとかも抱いたりしていたと。そうすると、井戸さんの視点は、女装子というよりチェイサーなんですか？

井戸…当時から、いわゆるトラニーチェイサー、カマ好きっていう自覚はあったね。ニューハーフとか女装とあらば、って思ってたから。

ただ、当時は自分の中では、女装もニューハーフも混在してたんだよね。ニューハーフのショーパブとかに行ってて、付き合ったりもしていた。その中で、掲示板と女装の発展場とかも同時進行で知って。最初は、そういうところに、ニューハーフの子もいるんじゃないかな、って思ってた気がする。

それで、乱交掲示板みたいなところで、「可愛いニューハーフ来ます！」って書いてあったから行ってみると、大抵、おじさんの女装しかいなかった。

大体の人が気付いて帰るんだけど、俺は帰る勇氣がなかった。結局、そのまま、おじさん女装子を抱く、みたいなことはやってたね。

——あはは、そうだったんですか。

井戸…でも、そういう人でもエロスは感じてたから。

2000年初頭
大学進学のため
上京

ここが
東京かあ

ニューハーフ
パブや発展場で
様々な遊び
を覚える

東京
たーの
しー!!

出会い系
BBS

インター
ネットを通して
女装文化にも
触れるがー

それらの体験は
井戸を悩ませる
こととなる

自分は
ゲイなのか
...?

まあ、究極は可愛いニューハーフって思ってたんだけど、女装の人との遊びもそこで覚えた感じ。まあ、年齢層は高めだったけどね。自分より基本年上だし。だけど、たまにちらほら、可愛いニューハーフとか女装の子も紛れてることはあったね。

でも、三和に入るまでは、俺はニューハーフの子と遊んだり、付き合う比重の方が高かったと思うよ。

——そもそも、その当時って、女装の子の人口、という比率って多かったんですか？

井戸…うん。そりゃあ、今と比べて、目に見えては少なかった。今は、カジュアルにメイクしたりする若い子も増えたから。だけど、そういう子って、18禁のジャンルの意味とは違うしね。

ガチの女装の人はあんまり変わってないと思う。

昔から、発展映画館とか女装クラブみたいところはあったし、日本文化の中にも、女形とか若衆とかあるから、そういう人の資料とか手記もいっぱい読んだし、エリザベス会館とかもあったから。ただ、表に大っぴらに出るのは少なかったね。

あと、フルタイムの人は少なくて、そういう人が出歩けるのは限られた場所、立ちんぼやったり発展映画館だったり。目につかなかっただけで、俺が相手にする女装の絶対数はそんなに変わってない気がする。

——ところで、ふと思い出したんですが、初めて会った時に、「若い時、自分はゲイなんじゃないかって思って、男の（同性愛の）方に寄せてみた」って言ってたと思うんですが、それはどういう意味だったんですか？

井戸…ああ、それはね。大学入った後に、ちょっと女の先輩と、3個か4個年上のちょっと憧れた人と付き合えることになったんだけど、2週間で別れたの。

それは、今考えると、童貞的なメンタリティの拗らせだったんだけど、色んなコンプレックスとかもあって。でも、その時は、好きなピークで別れたから、何か理由を求めたかったんだよね。

他人に自分の性癖とか話してないし、自分がニューハーフとか好きだっていうのを押し殺して、チンコ好きなのを隠してやってることで上手くいかなかったんじゃないか、っていうのを思ったら、あまりにショックで思い悩んじゃった。

それで、もしかしたら、自分はゲイなんじゃないか、って考えた。

知識がないからこそ分らないじゃん。だから、その機会に、もうどうにでもなれ、と思って新宿2丁目で働いてみようと思って、ウリ専で働いてみた。

いい経験だったよ。俺は立つこともできて興奮もしたけど、男は絶対好きにならないな、ってその時気付いた。



——「ああ、やっぱり自分は女装とかニューハーフだな」と?

井戸…というよりは、ノンケなんだな、と思った。セックスは出来るけど、自分の興奮するスイッチは、男が好き、なのではなくて、背德的なことをしている自分とか、男なのに立ってる自分とか、あとは欲望される自分とかで、全然バイでもゲイでもないな、って。

——男に対して恋愛感情は抱けないな、って思ってた?

井戸…そうだし、男に対して、男の身体とか容姿に欲望する訳じゃないって気づいた。

ウリ専やって分かったことだね。多くの人はそんなことしなと思うし。自分はゲイかもしれない、って悩んでも。

まあ、本当のゲイの人は、そう思って悩む人もいるかもしれないけど。

——まあ、男に抱かれるってことは、なかなかしないですよね。悩んでも。

井戸…普通はやっぱりしないだろうけど、振られたこととか、もともとニューハーフが好きで、おちんちんが付いてることに興奮してたから。今と違ってインターネット以前だし、知識もないからね。

2 『オトコノコ倶楽部』創刊

——そういう悶々とした、ちよつと他人には打ち明けれない感情が雑誌制作に繋がるのは、どういう経緯があったんですか?

井戸…俺は結構いろんな仕事を転々としてたんだけど。大学は元々文学部だし、映画とか本とか表現ってものは自分の仕事にしたいな、くらいは思ってたから、編プロでバイトしたり、映像を撮る仕事したり。大学でも自分で撮影とかしてた。

それで最初に入ったのが、英語教材の出版社だった。すぐ辞めたけど。その後はパチスロ情報誌の会社とか。編集的なものに関わる仕事は結構やってたね。

その後は漫画の写植会社で、そこに3年くらいいた時に、デパートメントHとか夜のストリップに行ったりして、自分の性の活動も続けてやって、そういう人脈の人から、「井戸くんにぴったりのバイトがあるんだけど、やらない?」って言われて、紹介されたのが、三和の撮影で、近親相姦の息子の役。

——そこで繋がるんですね。

井戸…何も話を聞いてなくて現場に行ったら、45歳くらいの熟女さんと絡む撮影で。

それがきっかけで、三和の人と知り合った。

大学を卒業し
様々な仕事を
経験する
井戸



ある日
デパートメントHの
会場にて
三和出版の
バイトを
紹介される



ウチで
バイト
してみない？

あ
ハイッ

そんなこんなで
四十代熟女AVに
出演

この作品で井戸は
男優と撮影を同時に
務める



この仕事が評価され
三和出版に正式に入社
することとなる

映像もやってたから、カメラも自分で回せるし、カメラ渡されて、ほとんど「こういうの撮ってくれ」って感じの撮影だった。

一日撮影やって、編集の人と話したら、「うち、いま映像要員が必要だから、うちで働かない？」って言われた。今はもう全部のエロ本にDVDが付いてるけど、その過渡期だったから、誘われて。

それで、撮影の翌日、面接に行ったんだよ。

——あ、そうだったんですか。

井戸…撮影と面接には、適当に理由を作って、会社を休んで行った。

面接行ったら、投稿告白誌『マニア倶楽部』の編集部に入らないか、って話になった。

それで、帰り際に、「好きな本あったら、倉庫から持っていいよ」って倉庫案内されて。

その時は、エロ本の老舗の出版社でずっと働いていたのはどうなのか、って考えたことなかったから、結構迷ってた。

ずっと漫画写植会社いるのかなー、ぐらいに思ってた。自分の趣味で表現とかやりつつ。それで、倉庫に行って、色々見てたら、まず、しのぎ嶺さんの漫画がある。

あと、『少女美少年』っていう内山玲也って人の写真集が三和から出てた。

——そういえば、そんなことを言っていましたね。

井戸…それを高校生の頃に見て、内山玲也くんも中学生高校生でめっちゃ可愛くて、テレビで取り上げられて、そのあと成長して男っぽくなってっただけで、天然に女の子っぽい、でもホルモンもやってないぐらいの子として見てて。

その後、なんか役者かアイドルみたいな活動してたから、上京してからイベント追っかけたりしてたんだけど、名前を見つけて。それくらい好きだった子が三和から写真集出したのね。普通に惚れた子で……オナニーもしてたしね。別にエロい写真集じゃないんだけど。

まあ、自分の性癖として、そういう子に向いていて、それが三和なんだ、っていう。

あと、好きで追いかけてたストリッパーさんがいて、その人が『マニア倶楽部』のバックナンバーの表紙やってて。そういういくつか重なって、「あ、もう三和で働こう」って思った。

——それまでの自分の経歴が、全部繋がった。

井戸…繋がってきたね。自分が興味持ってきたものが、そこで。全部集合して、流れが一つになって。その時点で即決して。その次の4月から働くことになった。

それで、雑誌を作り始めた経緯だけど、最初は『マニア倶楽部』をやりながら、編集部について。



そこから、「そろそろ井戸くんが一冊担当してみるか」ってなった本が、『聖水黄金お嬢様』っていう売れてるシリーズの三作目。

型があるからやりやすい、ってことだったと思う。新人の登竜門的に。それを任されてやったんだけど、それをやった後くらいに、「好きな雑誌って何かないの？」みたいなことを言われた。

編集部の人と仲良くて一緒に飯食ったりして、話とかよくしてたから、どっかのタイミングで、「俺、女装とかニューハーフ好きなんですよね」みたいな話をしたら、「じゃあ、やりなよ」って流れになって。

当時、ニューハーフ雑誌は3冊くらいあって、『シーメールラブGOLD』と『シーメール白書』、それと三和の『ニューハーフ倶楽部』。

だけど、全部末期的な感じで、終わりそうだったのね。コンテンツが充実してなくて。俺も昔は好きで結構読んでたから、「今だったら、俺の方が面白く作れるな」っていう自負があったから、「ニューハーフの素人の雑誌をやりたい」って言ったのね。『ニューハーフ通信』みたいな仮の企画書出して。

だけど、作ってる途中に、どんどん女装にシフトしていった、「オトコノコ倶楽部」になったのが始まり。

——企画段階では、ニューハーフだったんですね。

井戸…そう、素人ニューハーフ。

ミクシイとか、そういうネットのコンテンツとかHPとかで、水商売とかAVに出てるような風俗嬢じゃない素人ニューハーフって結構見てたから、素人で作ればエロいんじゃないかって思ったの。

だけど、出会い系とかでもコンタクトとって、メールやり取りしてる途中に、「女装でいいんじゃないかな」って。それが、当時の状況、ブームが起きる前の過渡期だね。——ニューハーフって素人じゃなくて、プロの人っていうイメージがあるんですが。

井戸…そもそも、ニューハーフって、今だからはっきり言えるんだけど、そもそも水商売の看板みたいな感じなのね。ニューハーフショーパブ、ニューハーフヘルス、ニューハーフクラブ、ニューハーフバーみたいな。

看板の名前だから、そもそもプロでしかあり得ないと思う。だから、素人ニューハーフってのは、苦し紛れの、仮のそういう名前で、そのまま出る要素ではなかった。

今だったら、Mtf (Male to Female) って呼ばれたり、女装男子って呼ばれててもホルモンやってたりとか、最初のターゲットはそこ。

でも、自分でも最初はほんやりしてたから、そうだが、男の娘だ、ってなるまでに、時間を要して、作ってる過程でそっちに傾いていったんだよね。で、自分が求める

ところは、そういう、お店じゃないニューハーフだった。そうになったら、必然的に女装になっていった。

それで、男の娘、つてのは二次元のゲーム業界かなんか、ネットで使われ始めた言葉なんだけど、露骨にそれを使うと二次元限定になっちゃうから、カタカナでそういう雰囲気を出さしようと思って。

あと、撮影してたニューハーフ、女装男子の中間くらいの子たちとよく話してて、「オトコノコってやつぱりそういう名称がいいね」って話にもなって、あとは三和お得意の『倶楽部』を付けて。みたいな感じだったね。

だから、中身を見ると分かるんだけど、割とニューハーフっぽい人も出てたりとか。あとは、投稿的な。俺もそういう人に声かけてたから、ネットですっと見てた投稿者とか、HPでエロいの載せているホルモンやってる人とか、そういう人にメールしたりして。

あとは、イベントを一杯やってたんで、イベント取材もやったりとか。ゲームとか、エロゲーでもね、「はびねす！」って話題になったから、「準にゃん（注…ゲーム中の登場人物、渡良瀬準）」ってすごい人気があったから。まあ、一部批判もあったんだけど。

そうやって、今でいう「バズる」って話題にはなってたから。

——三和出版もニューハーフ物をやり続けてたから、

ニューハーフに対しては抵抗がなかったと思いますが、男の娘、女装となると、社内の反応は違ったんじゃないですか？

井戸…んー、でも、入った編集部が、そもそもエロを好きで面白いと思ってやってる人たちばかりだったし、俺が普段からそういうことを話してたのを知ってるから、「それ、もう井戸くんしかできないし、面白いんじゃないかな」って任せてくれて。

後は上に企画を通すのは、根回しと技術だから、まあ、嘘ついて通してた。

あとは、運よく、俺が関わった本も全部売ってたから、女装ものとか。だから、『オトコノコ倶楽部』をやってた間は、ページ数増やして、予算も取れて、どんどん攻めた内容にはできたね。

発展場系女装のどぎつい内容の本も、『ドスケベ女装子倶楽部』みたいな形で本にして。普段応募に来る人のほとんどが、年齢層高いし、可愛くも何ともない人だから、その人たちをメインにして作ろうって。それは、何でも企画通せたから。そういうのも作った。

——うんうん。

井戸…まあ、追い風も吹いてたから、社内でもどうかは無かったね。編集部に恵まれていた、つてのもあるけど、

結果的に売れたから。

——ああ、なるほど。社内では後押しというか、追い風もあってというか……。

井戸…編集部も、女装ものについて言えば俺に任せてくれてたから、ほぼ一人で決めて一人でやって。先輩のマニアの人が、熟女でも何でも好きな人がいて、その人も「女装、いいね」って手伝ってくれてたりもして、もう俺は好き放題できた。

——その頃の撮影とかで、苦勞したこととかありますか？

井戸…苦勞したこと……苦勞したこととかはないね。

——あれ、そうなんですか？ 今までにはない内容、形態の雑誌だから……

井戸…あ、一つあった。苦勞っていうか、気を付けてたことなだけど。

女装だと、プロダクションとかに入っていない素人だから、当日まで来るかどうか分からないのね。特に遠方の人とか。

そこは気を付けてたね。会えるなら会う、むしろ俺が一回セックスするくらいの感じで。一人で会いに、カメラだけ持って。

別の日に撮影するとしたら、会社のスタジオに来てもらうことはハードルが高いから、なるべく、俺がカメラ持って出向いて、場合によっては、三和って名前出さず

に、撮影してから伝えたりしてたかな。

撮影するまでに関係作るか、撮影した後に事後承諾で聞くか、ダメだったら、顔を全モザで隠すとか。人によっては、それぐらいのこともしてた。

来てもらう人は、現場を作っても関係性を作らないと来るかどうか不安だったから。プロダクションだったら、マネージャーさんが連れてくるけど。そこは気を付けてたね、凄く。

そもそも撮影が成立するのか、約束を守ってくれるのか。素人だから。それはまあ、今もあるんだけど。

——女装してると、どうしても、隠したいこともあるから。井戸…でも、興味あるからやりたいし、お金欲しいとかだから、今はそこをより、そのスキルを洗練させて、とにかく趣味的な、仕事じゃないよ、っていう雰囲気はめっちゃ出してる。

——それは確かに。ところで、印象に残った撮影とか、人ってありますか？

井戸…印象に残った撮影、人ね。

やっぱり、『オトコノコ倶楽部』2号の表紙になっている、いがらし奈波ちゃん。

いがらしゆみこの息子で、それがなんか、こんな所に来て、「自分、DMで……」っていうのは、なんか因果なものを感じたけどね。

井戸君

はい
なんです？

新しい
ニューハーフ雑誌を
作ってみたいなか？

へ？

当時の
ニューハーフ
雑誌は
風俗やAV等の
グロを起用
していた

夜の街の
雰囲気
を漂わせる
彼らは確かに
美しかった

でも何か
違う：

新雑誌には
もっと新しいものが
必要なんだ

素人の
ニューハーフ
——そう

女装！！

当時、コラムを書いてもらっていた、キャンディミル
キイさんも、いがらしゆみこの大ファンだからこそ、そ
ういう名前にしてゐるくらいだし。同じイベントで二人に
出してもらった時なんかは、ちょっと、印象深いね。

——どういう経緯で撮影ってなったんですか？

井戸『オトコノコ倶楽部』1号で撮ってるみやちゃんっ
て子がいて、ニューハーフヘルスに勤めてる子で、接点
が多くて仲良くさせてもらってたんだけど。みやちゃん
が奈波ちゃんを紹介してくれた。

——そうなんですか。

井戸…色々と話聞いてみたら、漫画も自分で描いてて、
オタクの同人志望みたいな感じだったから、漫画も掲載
させてもらってたりしてた。実話漫画みたいな。誘拐監
禁みたいな経験があるっていうから。そういうのをね、
描いてもらった。

——なるほど。それで、女装ってジャンルの中では、一
番最初の雑誌が出た訳ですけど、反響っていうのは、ど
うでしたか。

井戸…んー、めっちゃあったね。まあ、最初の雑誌では
なくて、『くいーん』とか限定されたマニア誌はあったし、
単発ものでも、HPとかに載ってる女装のエロい写真を
集めた『白薔薇通信』みたいのはあったんだけど、まあ、
純粹に総合誌としては、あの形としては初めてだよ。

だから、色んな取材が来たし。

一番と言えば、ロフトプラスワンで、最初に雑誌のイ
ベントをやるうと思つて。

学生時代から入り浸ってたから、そういうトークイベ
ントをやりたくて。そしたら、平日水曜日とかにやって、
雨の日だったんだけど、お客さんめっちゃ並んじゃって、
50人くらい帰した覚えがあるね。

——そんなに。

井戸…こっちとしては、むしろ、「来なかったらどうし
よう」って思ってたけど、不安をよそに、大量に来て。
それだけ、みんな、トークイベントだろうが期待して来
てたのね。

——それくらい、関心が高かった。

井戸…プロパガンダが流行ってるのはあったけど、こっ
ちがやるのは、あくまで早い時間、しかもトークイベン
トだったから。

でも、会場でメイクさん呼んでブース作って「メイク
できますよ」ってやったのは大盛況だったから、みんな
が如何に、女装することに関心を持ってたのか、という
のは肌で感じたね。

——ちなみに、その時のテーマというのは？

井戸…雑誌みたいなイベントをやるう、ってことだね。
出演者は、可愛い男の娘、昔と違う女装の子たちにトー

クしてもらって。

ゴールデン街の「ジャンジュネ」の浜野さつきさんっていう人に、ボイストレーニング、女声出す講座をやってもらったりとか。

あとは、関わってもらったAV監督の二村ヒトシさんとか、小説書いてくれた鶴岡法斎さんとか。そういうカルチャー系の人にも出てもらって、トークするとか。好き勝手女装のエロスとか、本についてとか。色々しゃべってもらうっていう。

だから、ホント、雑誌と同じだね。雑誌のトークイベントをやる、というよりは、トークイベントで雑誌をやる感じ。

——そのイベントが、2009年の……。

直後だね。発売が5月くらいだから、それくらいだと思う。

3 女装ブーム

——その翌年くらいから、割合、メディアとかにも「男の娘」ってのが出てくるようにもなりましたよね。

2010年に入ってから。

井戸…そうかな、それくらいかな。

——テレビとか色んなメディアに女装者が出始めた中、雑誌を作ってる立場の井戸さんには、どういう風に盛り

上がり映ってました？

井戸…いや、俺が作ってるのはマニア誌だから。マニア誌をやりたくてやってるって気持ちがあったから、全然関係ないって思ってた。

——ああ、そうなんですな。

井戸…その時に話題になってたのって、『女の子になりたい！』っていう、一迅社が出してる女装指南書で、テレビとかに取り上げられるようになった。

あれはブームの発端の一つだったんだけど、コミケとかに女装の人が増えてきて、女装を禁止するところも結構あって。コミケとかでも、やっぱり女の子の格好したい、っていう人もいたけど、すね毛とかも見苦しい。

それで、あの本を作ってる編集者も女装コスプレする人だから、「もっとレベルを上げればいいんじゃないか」という個人的な意図もありつつ、時代の流れを読んで作った本で、そういう2次元のオタクたちの、草食系男子とかも話題になっていた。

そういう流れが合致して、「よりジェンダーを飛び越えよう、好きなものを着よう」という流れで出てきたものだから、マニア誌のエッセンスとは相容れないな、と思った。

——ああ、確かに。

井戸…もちろん、クロスオーバーはしてるよ。ただ、俺

はそこは間違えないようにしようと結構してた。

当時はよく言われたんだけど、「(一般メディアの)女装の雑誌は面白いけど、エロには興味ないし、不愉快だ」っていう人もいて、逆に「ファッション誌とかやんないの?」って言われたこともあったけど、俺はそれは絶対売れないと思ってたから。

——それは、僕も考えたことはありますね……。

井戸…だって、ファッション誌だったら、女性のもの見ればいいじゃん。ファッションのスキルを磨くなら、そっちの方が参考になるし。

女装の人がやる、って時点で、かなりレベルの低い人を相手にしているからね。

でも、そもそもファッション誌を見る人は、レベルが高くなりたいわけでしょ?

だから、そういうところは相容れないな、と思った。ファッション誌にするなら、服とか、化粧品とかバンバン紹介したいけど、あれってタイアップとかで成り立ってるから、めっちゃ高い本にするしかないのね。

だけど、ファッション誌だったら千円切らなきゃいけないと思うし、それは物理的に考えてできないな、と思ったから。

そこまで人口もいないと思うから、コンビニとかに置けるでもないし。

案の定、ネットで、ファッション誌的な試みをしたサイトっていくつかあって、綺麗に作ってるんだけど、どれも全然流行らなかつたんだよね。すぐ終わってたよ。

——やっぱり、需要と供給が合わなかった?

井戸…合わないし、そういうの買ったり見る人って、イケていない、まだ室内でやってる人や、ちゃんとやっても似合わないレベルの人が多いから。でも、綺麗な、女の子にしか見えないレベルの子ばかり出したら、何にも接点ないじゃん? 全然違う世界のことだし。でも、見栄えとしてはそう作るしかないし、最初から難しい話だよな。

——だから、井戸さんとしては、あっち(一般的なメディア)と、こっち(マニア誌)では全然別物だし、くらいに思ってた?

井戸…でも、それを勘違いするくらいに、当時はなかなかのブームだったんだと思うよ。

そうやって勘違いしちゃったり、みんなが、ワーツ、って勢いを感じて女装したり。

女装界隈の中にいた人たちもそうだよな。今は多分、ほとんど残ってないけど、立て続けに色んなバーを開いたり、イベントも乱立して。

俺も、全国色んなところに、メイクサロンとか、イベントとか回ったら、それこそ北海道から九州まで回った

んだけど、まあ、ほぼ残ってないね。手堅い商売やってる人たちはまだいいけど。

——そういう、一般のブームと、エロの方では、また違うなっていう……。

井戸…うん、まあ、溝はあるかもね。みんなは分からないけど、俺の中では線引きはあったかな。やりたいのはエロだったから。

——なるほど。

井戸…そういう考えは、結構、女装に限らず、マニア誌の中でも、三和の中でもあつて。

マニア誌って広告も入れないでマニアに向けて作ってるから、その妥協とかが命取りになる、っていう。

かつこよく作ったり、可愛く作ったりじゃなくて、マニアとしての視点を入れてみないと、マニアは買ってくれない。

だから、自分が分かるものしか作らない。分からないものは、もう委ねるね。女装だからといって、全部分かってるわけじゃないから。みんな性癖違うし。

——でも、二村ヒトシ監督の「女装美少年」も2009年からでしたよね。

井戸…そうだね、大体同じ年。雑誌のちよっと前からやってたけど。

——そういう意味では、エロの方でも、この時代は盛り

上がっていたと言えたのでは？

井戸…まあ、世間の情勢と連動するからね。エロは、そういうのは比較的早い方だと思うよ。最近だったら憑依ものとか。

——ただ、色々反響があつて成果は掴みつつも、三和から出られましたよね？

井戸……まあ、喧嘩したからね。あと、俺がいた編集部の人、ぞくぞく辞めていったから。

さつきも言ったけど、俺がほぼ一人で作ってたから。三和がやりやすかった、というのはあるけど、居心地よかった編集部が解体され、先輩や上司が辞め、と言う中で、俺がきつかけで雇った人ともあんまり合わなくて、その喧嘩とかもあった。

いつか辞めようとは思ってたんだけど、たまたま、ちよつとした事件があつて、俺も暴れて喧嘩して、もうこのタイミングで辞めようって辞めたんだよね。

その時は、フリーでやるか、どこか別の所でやるか、同人的なものでもいいかな、って。ライフワークみたいに、女装のエロスには興味持ってるわけだし。

そしたら、たまたま、一緒に会社をやらないか、みたいな話を貰った。それが一番いい条件だと思ったし。

——それでパブセンスを立ち上げた。

井戸…一年後くらいかな。2011年くらいか？

——えっと、2011年の311の直前に『オトコノコ時代』1号が発刊していますね。

井戸…会社登記したのは4月だつて覚えてる。311の後。本はその前に出てるか、発行日がその日で、本屋に並んだのはその後かもしれない。まあ、でも、311頃だね。その時に、一緒に出した『ニューハーフ時代』って本もあった。ニューハーフの本にオトシマエを着けておこうと思って。

——『オトコノコ時代』を作るにあたって、それまでの『オトコノコ倶楽部』との差別化とか、特にこだわったことはありますか？

井戸…こだわったことは、タイトル通り「時代」。

そういう時代性にクローズアップしようかなって。だから、それまでのマニア誌的な内容からすると、ちょっとポップになつてゐるかもしれないね。

あと、三和で作つてゐるものじゃない、つていうのもあったから。発行元が、三和から出ていった人がやつてゐるマイウェイ出版。

同じマニア誌畑なんだけど、せっかく仕切りなおすならしい切り……と思いつつ、書いてるコンテンツなんかも被つてゐるものもあるし、継続してゐるものもあるから、そこまで明確にはないかな。

だけど、ちよつとフレッシュな視点も意識してみよう

かなつて。

表紙の図版なんかは、大幅に意識したね。エッチな子というよりは、可愛い子にして。さっき言ったことと矛盾するけど、マニア誌っぽくない作りにした。

——確かに表紙の印象は違いますね。

井戸…うん。カメラマンさんも、全然マニア誌とか撮つてた人ではないし。

グラビアなんかは、いつも凝つてたと思うよ。露骨なエロがないやり方で魅力を見せるために、色々模索してた。いや、模索というよりは楽しんでたね。

わりとトライしてた気がする。それくらい余裕があつたんだよね、『オトコノコ時代』の最初の方、中盤くらいまでは。

——『時代』までの間に、世間の変化なども色々ありましたけど、募集してくる女の子とかは、『倶楽部』に比べて変化とありましたか？

井戸…いや、そこではそんなに無かつたんじゃないかな。まあ、多少若い人が増えたような気がするけど。それは、『時代』になつたから、というよりは、認知された、つて方がデカいかな。続けてたから、地方の人の目や耳に入つて、応募してくる人が増えた。

——「ああ、こういう雑誌があるんだな」つて。

井戸…割り合い的には、やっぱり年齢層高い人が多かつ

たし、雑誌に出すレベルじゃないな、って人が多かったけど。

——これが2011年。ところで、昔のインタビューを拝見したのですが、大島さんがデビューする2013年に、プロデューサーから、「女装は売れない」ということを言われたらしいんですね。

井戸…ああ、覚えてる覚えてる。それは、その時はブームが飽和して、色んなメーカーが作るようになって、ちよつと飽きられてたからだと思うよ。

——でも、井戸さんが「オトコノコ時代」をやられてた時期と被ってます。実際のところ、手ごたえとしてはどうだったんですか？

井戸…そうだね、世間では女装ブームって言われるようになってからしばらく経って、コンテンツが増えたけど、その時は「まあ、そう売れないよね」というのがあって。

だからじゃないかな？『わあい！』とか、二次元の女装漫画誌が無くなったりしたのは、その頃くらいだと思う。『おと娘』が休刊して、『わあい！』は2014年。

——でも、肌感覚としては、大島薫さんや橘芹那さんの印象が強いのもあって、ブームが一番盛り上がっていたのは、2013〜6年だと思うんですね。

井戸…それは、そういうアイコンが出てきたからじゃない？ それまでって、なんか、そこまで強いパースナリ

ティがいなかったからじゃないかな？

——実際のコンテンツとしては、2013年頃には落ちていた？

井戸…いわゆるブームは終結してたように、俺は思う。AVとしても漫画としても、ジャンルとしては落ち着いて、定着して、でも、そこで停滞してた気がしてて。

まあ、『ぼくらのへんたい』（注…ふみふみこの漫画）は、その頃から連載始まってから、単行本が出て、「ああ、こういうのもあるんだ」って思ったけど。基本的には、パターンも一緒だし、目新しいものがないな、コンテンツが弱いな、と思ってたから。

——『オトコノコ時代』を三和時代の『倶楽部』と内容も被りつつ、しばらく作っていたわけですが。

井戸…まあ、マニア誌でありながら、総合誌として作ってたから。コンテンツが被ってるというよりは、漫画や小説、グラビアや企画とか、色んなものを取り入れて。

その中で、自分が面白いと思ったことにはアンテナ張ってたけど。結局、10号で終わるのは、もうやることが無くなったからなんだよね。正直、10号より前からやることはあんまりない、って思ってたんだけど。雑誌って惰性で作り続けるものだし。

だから、売り上げも凄い儲かるものでもなかったし、無理に作ってもな……っていうのはあったから。7号

くらいに、「女装樹海ツアー」つてのをしてるんだけど、そういうこととか面白いけど、趣旨と外れてる気がする。雑誌だから、その時代に起こっているものを切り取るのが自分のやりたいことでもあって。でも、あんまり面白いものが無かったな、つていう感覚は、当時持ってた気がする。

4 AV監督・井戸隆明

——さて、『オトコノコ時代』と並行する形で、AV制作も始めましたよね。それまでは、雑誌の中での映像をやってましたけど、AVというのは、それまで何か関わりはあったんですか？

井戸…ニューハーフは出してるよ。その前に。ニューハーフのAV。パブセンスのシリーズの前に出してる。それこそ、ニューハーフ時代で。

それと、女王様のAVも。ニューハーフ時代ってシリーズで出してるのは、ドキュメントだね。1対1で、内容も決めず、カメラ回して、ほぼノーカットで。これは、俺じゃないとできないかなって思ってた。ニューハーフ相手だと。そう思って撮ってた。まあ、10本くらいしか出してないけど。

——井戸さんがハメ撮りをして。

井戸…そう、あと会話も生々しく、そのまま全部使うみたいな。さっきも言ったけど、ニューハーフって職業だから、結構近い距離感まで行つて、生々しい感じで撮るっていう作品は、あんまりないんじゃないかな。それは面白いかなって思ってたけど。

まあ、凄く売れた訳じゃないから、その後は女装メインになったかな。

でも、AV撮ってるつてのは金のためだから、正直。本は売上立つのはだいぶ後だし、それだけだとリスクもデカすぎるから。

仕事としてやってくためにはAVかな、つていうのがあった。

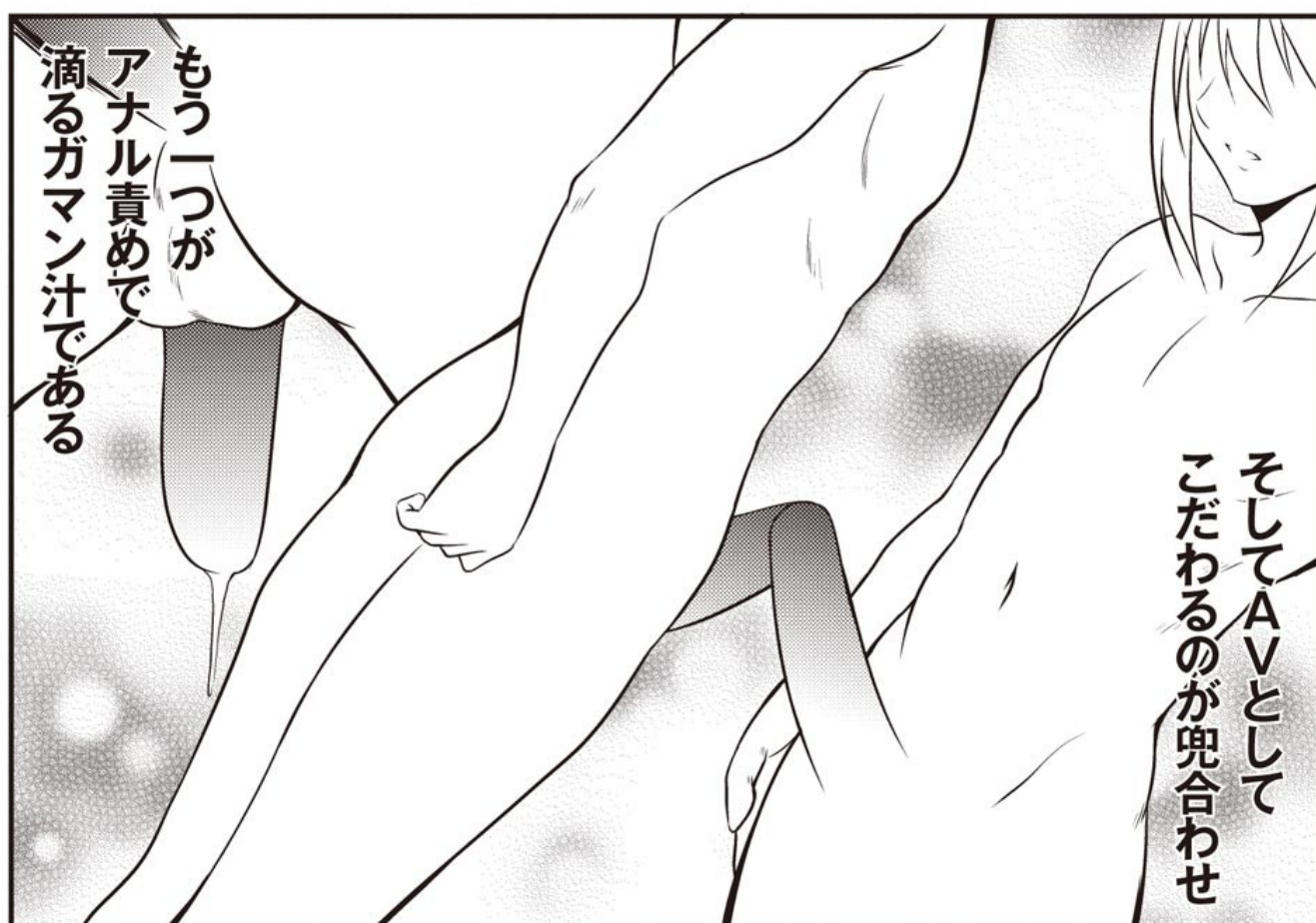
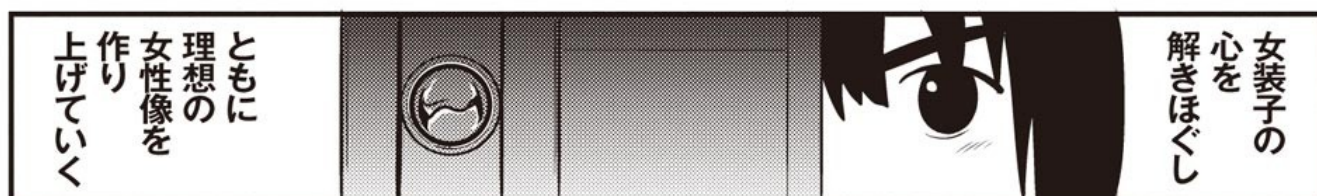
——それ以前にはなんかあったんですか？

井戸…パブセンスの前は三和だから、AVは作ってないかな……。まあ、でも、DVDの撮り下ろしは三和でやってたから。

それまでは、外部のメーカーから映像素材を宣伝込みで借りてきて作るのが多かったけど、『オトコノコ倶楽部』とかはほぼ全部撮り下ろしてると思うよ。

編集の仕事以外にも、映画とか映像をやりたいと思ってたから、映像に対するこだわりは、ちょっとあるかも。

——さっき、「ニューハーフだったら、俺にしかできないパターンがある」って言ってましたけど、それは？



井戸…ニューハーフってのは、商売の肩書だけど、友達付き合いをして深く入り込んだりした。

A Vを撮るから、って引つ張って来て撮るんじゃないかって、関係性を構築してから撮ってたから。

まあ、ハマジムがやってるドキュメントみたいなイメージでニューハーフを撮るってのは、当時そんなにあるものじゃなかったら、素が見える方がいいじゃないかって。

ニューハーフの過剰な部分じゃない面を撮りたいっていう、自分の欲望込みで撮ってた。

あとは、そういう距離感でハメ撮りする監督って限られるし、なおかつニューハーフだったらローション使ってほぐして挿入、って流れも慣れてないとなかなかできないと思うから、やる人いないんじゃないかな、っていうのはあって。

——そうですね。

井戸…そういう部分は、俺にしかできないかな、って思ってた。ニューハーフとやれる男優さん呼んだり、っていうのも、シンプルにやるにしてもそれなりに経費が掛かるから。

最低限にしても俺だったら撮れるっていうのがあったし。メイクさんも入れなかったね。なるべく、自分でやってもらって。

——二村監督が始めるまでは、女装A Vってジャンルはなかなか無かったと思うんですが、その中で、苦労したこととかってありますか？ 女優の確保だったり、絡む時だったり。

井戸…確かに。それ以前は、RADIXとか、キワモノに近い扱いしかなかったね。

勃起、射精っていうのが醍醐味だと思うけど、それを撮るには、綺麗な子でホルモンいっぱいやってたりすると、射精は難しかったね。その辺から考え始めたかな。射精なくなつて、エロければいいや、って。

あと、ニューハーフものって、だいたい逆アナルのパートがあるんだけど、俺はそこになんの良さも感じなかったから。

お店に行く人は逆アナルされたいって人も多いと思うんだけど、A Vで男優が掘られてる場面を見たいか？って思っで、やらないことにしてて。

ニューハーフの子も、女の子になりたい、女の子のメンタリテイ持つてる子も多いから、嫌々薬飲んでやるとかね。それを無くそうと。

——チンコ立たせて、入れる、っていうのが、完全に男のメンタリテイだから……。

井戸…まあ、マニアもののジャンルのニーズとして必要な絵なのかもしれないけど、そこはなるべく、出たいと

思えるもの、撮って楽しかった、って思えるものを撮りたくて。そうすると、可愛さとかエロスとか、変態マニアックじゃない感じで撮れるんじゃないかな？って思った。でも、さほど売れなかった、っていう。

——ああ……。

井戸…で、そこを追求すると、女装男子の方がいいじゃないかって結局思った。射精とか、絵面のエロさ、マニア度って意味では。

——井戸さんが撮られてきた中では、やっぱり、女性になりたい、とか、女性としてエッチしたい、という人の方が多い。

まあ、間違った女性像がほとんどだけだね。あとは、男性の攻めの役割っていうか、セックスとか恋愛の。

だいぶ変わってきたと思うんだけど、そういう呪縛っていうか、期待役割みたいなものの土俵とか勝負に、最初から負担に感じてる人は、受け身だったり、セックスとか恋愛が嫌だ、負担に感じるって人も結構いて、そういう人が、例えばイケてない男子で、パツとしないとか。女装というものをツールとして、メイクして綺麗になったりすると、もう水を得た魚のようになるわけだ、そこで。可愛くもなれて、受け身にもなれて。だから、相手が男とか女というよりは、自分がお姫様っていうか、女の子の立場になれるっていう方がしっくりくる、って人

もいるよね。

俺が大量に女装の子とか撮ってる中で、より明確になったんだけど……20年近く、女装の人とセックスしたりしてるわけだから。やっぱり、牝になるのが好きなのね、男だからこそ。

男は、女じゃないじゃん。だけど、ジェンダーとか偏ったイメージで女性が好きで、男だからこそ。だから、それになろうとするのが女装の一つの性癖だと思うんだけど。歪んだ自分の自己像、みたいな。ホントにいる女かどうかはともかく。

その人が憧れてるメス像みたいなものがあって。それがAV女優だったり、2次元の女の子ってのは結構多いと思うんだけど。オタクの子とか。それが多分、俺の中にもあるから、それが一致して、エロスを感じるっていうか。

——やっぱり射精っていうのが、井戸さんの思う女装AVのエロさだと思う？

井戸二つだと思ってるし、分かりやすい。人によっては、犯されるメス像、2次元とか、AVとかに影響受けて、まあ、今だと俺は立たなくていい、って考え方もあるんだけど。その子がお尻がメインになったら立たない子もいるし。まあ、でも、勃起して射精した方が、そりゃあ、絵的にもいいし、本当にお尻で感じてても勃起してる、っ

てのはエロいじゃん。あればいいよね、って。それが0っていうのは、やっぱり弱いかな、って思う。

——おっしゃる通り。

無理して作らないといけない要素が強いよね。今あまりAVをやれないことかな、そこが。やっぱり、長尺化してるから、3時間くらい撮らないといけないくて、一日じゃ撮り切れない。

——男の娘との絡みとかエッチで、特にここを気を付けてる、ここを見せなきゃいけないこだわりって何ですか？

井戸…うーん、可愛くは見せようとしてるよ。可愛く、エロく。あとは、表情とか。慣れてる子はそんなないから。

みんな、女の子的な可愛さを見せるってことが全然できなくて。むしろ硬かったり。そこを、いかに自然になるまで撮るか、っていうのは気を付けてる。

当時、カメラマンとかにこだわったのも、そこだね。上手い人は、バランスの悪い所に立たせて、そこでバランスとるのに気を取られてる時が自然な表情だから、って撮ったりとか。そういうことを、カメラマンさんには言ってたかもしれない。表情を、って。

あと、そういう人は、もっとメスやお姫様にしてあげるっていうコミュニケーションをしてる。そうしたら、

その子は気持ちいいじゃん。男を相手にしてるノンケの自分というよりは、女の子の立場を演じてる、って気持ち良さのほうが強いかから。

だから、装置になる感じはするよね、自分が。そういう風にやったら上手くいく、って思ってた。相手がこう言われたいんだな、こうなりきりたいんだな、っていうのを後押しするような。

——スイッチを入れてあげる、的な……。

井戸…いや、違うな、一緒に追求する感じか。同じエッチな女性像を。だから、それを分かる人だとやりやすいし、俺も興奮するし。だから、あんまり向き合うものでもないんだね。

向き合うと、みんなメンヘラになったり、色んな拗らせ方を抱えたりするから。

——ところで、これは個人的な興味なんですけど、井戸さんの性癖的なこだわりってあるんですか？

井戸…兜合わせかな。あと、アナルを責める時に、チンコの先から我慢汁が垂れたりとか。そういうところは、絶対じゃないけど、割と撮りがちな気がする。エロいな、って。

——それは、確かにエロいですけど、兜合わせはどうして？

井戸…それは、相手がギンギンに勃起してないと成立し

ないから。

男同士背徳的な行為なのに、同じように硬さとぬくも
りを感じながらしごく、っていうのはエロい、って思う。
やっぱり、チンコが生えてると感情移入しやすいんだよ。
男が見てるわけだし。

そもそも、二人で共鳴し合っている、興奮し合ってい
るからこそできる行為だから。

——共鳴し合ってる、っていいですね。

井戸…分かるじゃん、だいたいの方は。それが気持ち良
くなかったら、だんだん萎えてくるだろうし。

成立するには興奮してないと、その行為に。

たまにニューハーフの子でもいたんだけど、兜合わせ
でしごいているだけで、「ああ、もうこれやられたらイ
キそう」っていうのはエロいよね。

まあ、AVっていうのは、本当に感じてるわけじゃな
くて、分かりやすい方がいい。だから、演技したりする
んだけど。喘いだりとか、潮吹きも、全然気持ちよくな
くても。求められるのが、絵面だからね。その一つの象
徴が我慢汁だろうしね。それに射精とか。勃起もそう。

——ひと頃「メスイキ」ってちょっと流行りましたけど、
井戸さん的には、AVとしてどう思いました？

井戸…メスイキって、隠せない反応だから。演技でやろ
うとしてもどうしようもない部分だから、それが出来る

人が映せばいいけど、女優さんでも少ないんだから、そ
こまでの人は。

男の娘で、そこまでやれとは言わないけど。

でも、メスイキする子は、明らかに凄い反応がいいよ
ね。絵的に一番分かるくらいに、白目剥いてブルブルし
て声上げるわけだから。素質だけど。

まあ、みんながみんな出来るわけじゃないから。アナ
ル弱い人もいて、すぐ切れたり、ガンガン突けない人
もいるから、全員には求められることはないよね。まあ、
エロいと思うよ。

5 井戸隆明と大島薫

——井戸さんは、大島薫さんと長いこと組んでやられて
ました。多分、大島さんと一番多く関わってたのが井戸
さんだと思うんですが、彼女が出てきた時の印象ってど
うでした？

井戸…凄いな、と思って。自分のニーズを初めから分かっ
てて、見せ方もちゃんとしてて、頭が良いな、って。

それまで、自己プロデュースが成功してる人って、女
装では見たことなかった。自分の人生まで犠牲にして、
生活や声も変える、というのは。

ホルモンまでやってる子なら、そういう人もいたけど、

女装では今までいなかったと思う。そういう意味でも、凄い衝撃だったね。

「男だからおっぱい見せられる」って写真で、彼女が初めてツイッターでバズった時、あれでAVのメーカーがガンっていっぱい撮りに行ったんだけど。それまではそんなに売れてなかったんだけどね。

俺はそれを見て、「ああ、撮りたい」って思って、すぐ後に、シーメールジャパンの無修正も見た。でも、まずは一回、実物を見に行かなきゃな、って思って、大阪までイベントに見に行ったのね。『水着ネタ大喜利』ってイベントで。で、それを見て、「あ、撮ろう」って事務所にオフアーした。

——さっそく事務所にオフアーを。その後、パブセンスで撮られてますけど、撮ってみての印象というのは、いかがだったでしょうか？

井戸：あれだけ自分のプロデュースを考えてるから、こっちが見てるだけじゃなくて、見られてるな、っていうのがあった。

いっぱいメーカーで撮ってるわけだから、自分の身の振り方もそうだけど、こっちがどう撮ってるかとか、上手い下手も含めて、これは絶対見られてるな、っていう緊張感はあったね。

そもそも最初のオフアーの時に、売り手である薫ちゃ

んの方が強いわけね。どこのメーカーも撮りたい、ってなってるから。

そういう力関係の中で、俺が自分を売るには、やっぱり「本も作ってるよ」「本とAV一緒に作ってるよ」ってカードだった。

そしたら、薫ちゃんも『オトコノコ倶楽部』とか前から読んで、2次元とかへの憧れもあったからこそ、俺との関係が出来たんじゃないかな、と思ってる。

その後イベントも何回かやって、AVと本も出して。そこからは、引退の話も薫ちゃんから切り出してきて。

うちはエッセイ本とか出したことはないけど、俺自身は面白い仕事をしたと思ってやってるから、やったことがないことでも1からやろうかなって出来たね。そこは自分が思う仕事、本っていうのを出して作ったのが、『ボクらしく。』って本なんだけど。

——井戸さんから見て、大島さんをAV女優として見て、何が魅力的でエロかったと思います？

井戸：ああ、それは多分、見られてることを分かっていることだね。消費される存在として。

例えば、あの時はことあるごとに言ってたと思うんだけど、後ろから掘られてる時も、勃起したチンコが見えて顔が映るような角度とかを意識して、考えたりしたり。射精のタイミングとかも。

大島薫

2010年代を
席卷した
女装界の
アイコンである

井戸は
「彼の強さは
セルフプロデュース
力にある」
と語る



射精の
タイミングを全て
コントロール
していた

掘られている時も
常に顔の角度や
性器の見え方を
意識

井戸は
彼の女装力と
プロ意識に
惚れ込み



大島がAVを
引退した後も
様々な仕事を
手がけることにな
る――

やっぱりそれは、売れる女優さんの要素だよ。女優さんでトップで売れる人は、やっぱり考えて、研究するし、すごいエロに貪欲だから。そういう人は、今まで女装とかニューハーフにはいなかったと思う。

——今でも、そういう人の数は多くないですね。

井戸…まあ、売れる人は、やっぱりそれくらいやってるよね。それは、見る人が何に反応するか、つてのも含めて考えてるから。

ツイートもそうで、あそこまで伸びたりバズったりするのも、実験しながら模索したりして、研究して、自分の何が売れるんだろうって。

(大島薫のエロさは)一言で言えば、そういうのが出来る頭の良さ、かな。セルフプロデュースとか。そういう、頭の良い女って、ただのバカよりエロいから。そんな子がやってる、つて方がエロいと思う。それが彼女のエロかな、つて。

——なるほど。それで、井戸さんの中で、それくらい色々な仕事をやって、大島さんの引退も片を付けて。そういう大島さんとの関わりで、井戸さんの中で変わったことって何かありますか？

井戸…俺の方が？

——はい。

井戸…それは、薫ちゃんがやりたい、つてことを俺もや

りたいって思ったら、今までやったことのない仕事でもやったことかな。エッセイ本もそうだし、その後の『大島薫先生が教えるセックスより気持ちいいこと』とか。そこはいい仕事だと思う。俺一人ではやらなかったから。——今までやらなかった、エロではない、一般向けの仕事を。

井戸…うん、まあ、一般向けだね。アダルトじゃないから。そうだね、そういうものに興味を持ってやれたからね。薫ちゃんのCDとかも作ってるからね。

男の娘電波ソングとかも出してたね、パブセンスで。あんまり、そういうのに囚われずやっていきたいと思ってるから。そういう意味では、大島薫という媒体が、自分が持つてる幅を広げてくれたかもしれないね。薫ちゃんじゃなかったら、売れるって見込みもないからやることもなかっただろうし。

一回、男の娘かるたつてのを作ってる、花川シュガーさんって人がいて、会って色々話して、かるた付きの本にするとか、ヴィレτζジヴァンガードでイベントやるとか展開も考えたんだけど。だけど、どう考えても赤字にしかないなって思ってる。

会社としてのプロモーションの無さ、つていうのもあって、断念せざるを得なかったんだよね。めっちゃ作りたかったんだけど。

そういう意味では、薫ちゃんがあれほどフォロワー数もあって、知名度もあったから、出来た本だったね、両方とも。

本当はもっと大きい出版社に持ってた方が良かったんだろうけど、薫ちゃんは俺を頼ってくれてたから、俺としても、なるべく売れるように作って、挑戦できたというのには良い経験だった。

——大島さんを撮影していく中で、何か印象的なエピソードがあります？

井戸…うーん、彼女も見せ方とか見え方とかにこだわってるけど、ちゃんと委ねられるから、仕事はしやすいな、と思ったね。

薫ちゃんってファンの人とのツーショットとかも全然ウエルカムで撮るんだけど。

変な風に写るかもしれないから、チェックとか、SNSにアップするときはちゃんと加工してからとか、って言う人は多いんだけど、薫ちゃんはそこはフリーにしていた。当時も彼女が言ってたんだけど、『ダメだな』って思ったら、もっと頑張ろうってそういうモチベーションになるから、僕は大丈夫です」って言ってて、そこは凄いなと思った。

こだわりはあるんだけど、ちゃんと委ねられるところは、大事なんだなと思って。

——それで、井戸さんは、2009年の『オトコノ倶楽部』創刊から始まって、女装ブームを経て、大島薫というポップアイコンをプロデュースしてきたわけですねども……。

井戸…いや、薫ちゃんはセルフプロデュースであって、俺は編集者ってところから後押ししただけだから。寄り添うようにはしたけどね。本当はそこまで出来たらすごいんだけど、俺は全部後追いだし、編集者って立場もあるから。

2次元、3次元と問わず追いかけてはしたけど、俺は自分で作ったことはないと思うから。

——ああ、そういう認識ですか。

井戸…うん、そうだね。プロデュースしたわけではないから。

——でも、やっぱり大島さんという女装のポップアイコンを後ろから後押ししたという意味では、井戸さんは重要なキーパーソンだと思うんですが。やはり、この時代っていうのは思い返すと凄い時代だったな、と思うんですよ。それで、井戸さんはその中心にいらっしやって。

井戸…いや、俺は面白いから見てたけど、女装はコンテンツとしては弱いな、って思ってる部分もある。変な人も多いし。

ただ、だからこそ愛すべきところも多いなって。

変わらない集合的な欲望だと思うから。女装をする方も、求めている方も。それは、昔の歴史とか調べれば分かるんだけど。なんか、ブームっていうのは、あの時は表面的には見えただけで、あんまり本質は変わっていない、って思う。

——前から変わっていないと。

井戸…本質的にはね。日本における中で。戦後『奇譚クラブ』っていう雑誌が出てた。

その雑誌に、女装交遊録ってコーナーがあって、初めて遊んだとかそういう手記が載ってるんだけど、それが全然、当時人から聞いたたりしてたのと何ら変わらないから、本質は変わらないな、ってずっと思ってた。

——だから、ブームになって、突然変異で生まれてきたのではなくて。

井戸…ブームって、メディアが取り上げるからそう見えるのであってさ。取り上げ方が過剰だったし。それまではひっそりしてて、日陰カルチャーみたいなところがあった。エロスと結びついてたから、余計にそうだったんだけど。

女装喫茶ひばり亭とかプロパガンダとか、そういうのが同時多発的に出てきて、プレスリリースも出すから、どうしてもメディアが乗っかって取り上げるみたいなことがあった。だけど、俺はそれはブームとしては凄く人

工的だし、テレビとかメディアでやってることと、俺が日々取材とか現場に足を運んで見ている実感と全然違うな、って思った。

もちろん、メディアってフィードバックがあるから、テレビでやってると「あ、女装流行ってるんだ、私たちがめっちゃ来てるじゃん！」って感じになる人もいたから、そういうのはあったけど、変わらない人は粛々とやってたし、新宿の女装バーなんか昔からあって。

むしろ、ブームって言われてた頃に店舗がどんどん減っていったからね。新宿に10店舗くらいあったのが、今では一店舗だけになるってね。栄枯盛衰があったり。

——なんか悲しくなっちゃいますね。

井戸…そうかな？俺は普通のことだと思うけどね。みんな、ブームの時に勘違いしちゃったところはあると思う。当たり前前にそれが売れると思うなよって、さっきのファッション誌のこともそうだけど。

ブームに見えたから、それを口にしたんだと思うけどね。他のジャンルと一緒に、面白いものは面白いけど、面白いことがずっと続くわけではないし、そういうところがあるのは当たり前だから。冷静になってみると、今のほうが健全なんじゃないかな。本当に好きじゃないと、何かうま味があるものでもないし。カルチャーじゃないから、女装って。

——女装はカルチャーではない？

井戸…うん、ただ女装するってだけじゃ、カルチャーじゃないよ。女装したら面白い、可愛くなるよ、メイクのギャップとか。

でもそれって、すぐ飽きない？「で？」ってならない？メイクの技術とか、それだったら女の子のメイクアップアーティストなんか色々やってたりするし、そっちの方が上手いし。

でも、そういうのが多すぎて、拙いな、と思うよね。日本人がそういうオカマの文化とか、男が女の格好することに興味持つのは、凄く昔からの伝統でもある。

けど、それだけだったら、「で？」ってなる。

歌舞伎とかだから女形が面白いわけだし。例えば、飲み屋なんかで女装してる子が、「可愛いじゃん」って言われて、「これ普通のB面の写真です」で見せるコミュニケーションがあつて。あれ、凄い嫌なんだよね。

——それは凄い分かります。

井戸…興味ないし、「で？」って感じだし。「あ、すっごい違うね」って言わざるを得ないし。でもそれって、飽き飽きするくらい見てるし。

それだけだったらいいんだけど、ずっとそういうのをやり続けるから、そういう人って。

——ツイッターとかで、「何年前だとこんな姿で〜」つ

てありますけど、あれすっごい嫌ですね。

井戸…他のことないんだ、っていうところがあるね。

——自分は、女の姿であるあなたが好きなのであつて、男の姿とか、昔のあなたの姿は興味ないよ、って思いますね。

井戸…そういうところが、俺はカルチャーじゃないって思うところ。

女装ってただ、「女を装う」だけで、見せ方とか、こだわるとか、パーソナリティの方が面白さに繋がるし。

別に、女装は女装で、つてもものじゃないかな？って本来思う。エロが面白いのは、それをした上でみんな違うエロスを持つてるから。それで、俺が興味を持てるところだと思う。

——女装そのものは変わらないけど、それにまつわるエロは、性癖とかみんな違うから……。

井戸…まあ、その人への興味だからね、それは。

——だから、そこに面白さを感じると。

井戸…そうだね、そこに感じるかな。やっぱり、人を知るのが、AV撮ってて思うけど興味深いから。

——それが、ここ10年間やってきた中に、通底したテーマですか？

井戸…うん、意識はしてないけどね。むしろ、最初の方

はただのフェティシズムで、「可愛いのにチンコ付いてる」ってことに興奮してただけだから。

——今、井戸さんが、男の娘をテーマとしてやっていることは、基本的にAV？

井戸…うーん、雑誌もやりたいと思ってる。機が熟したら。今はコロナがあるし、今やる必然性がないから。

面白いものがあったり、「あ、この子メインで出したいな」っていうのがあったら、そういうの作ってもいいんだけど。

でも、仕事でやってるし、AVも続けざるを得ないでしょう。女装はずっと一番の武器になっていて、ずっと興味を持ち続けているから。だけど、そこにあんまりこだわってか、テーマ性みたいなものはなくて、食っていくために、自分にとってやりやすい仕事だから、俺にしかできないことがたくさんあるから。っていうところの方が、本音だね。

——今、AVでやってることについて言えば、そういう考えですか。

井戸…そうだね。撮っていないと。多い時は月に10本くらい撮るし、リリースも5本前後だから。そういうのやってれば応募は来るし。

いまは9割ぐらいが若い人の応募。ギャップがあるよね、『オトコノコ時代』とは。あの時は、9割が対象外

の年齢層で、40〜60歳だったのに、今はもう、ほぼみんな、撮れるくらい歳の人が来るから。

——じゃあ、今は、応募してくる人は、グッと年齢が若くなって。

井戸…そうだね。一番若くて学生くらい。20前後の。ツイッターやってる人たちと連動してるね。

——そうすると、女装コスプレなんかしてるツイッター層なんかとは、文化的に被ってるから。

井戸…そうだね、親和性は高いよ。

6 井戸隆明の今後

——これから先、何かやっていきたいことってありますか？

井戸…うーん、まあ、でも、やっぱり女装はライフワークでやってきた、って自負はある。

興味があつてずっと見てたことだから。仕事としては、今はコロナの状況の中だから停滞期で、手堅い仕事としてAVをやってるけど、本を作りたい、って欲はそろそろ出てきて。

——本？

井戸…雑誌ね。もう、定期刊行じゃなくて、別にどれくらいのペースで出してるって決めてるわけではないけ

ど、面白いものが作れる、って時点で出していけばいい
と思ってるから、不定期で出してる。

そろそろ、それを一冊やりたいな、っていうのと。あ
とは、最近、女装やってないからね。去年までアイドル
の本やってたからね。

——ああ、ありましたね。確かに、ここ最近の井戸さんは、
アイドルのイメージですね。

井戸：アイドルの方が面白いからさ。ただ、そろそろそっ
ちにね。

やっぱり、今ハマってるものとか、斬新なものとかを
やりがちなから。何か別のものにハマれたらいいけど。

とにかく、扉は開いておきたい。自分の中で、凝り固
まった考えじゃなく。

それがあるから、女装に関しても、例えば発展場が最
近できたりしてるけど、そういうところにもたまには足
を運ばなきゃな、って思ってたなりして。プレイするわけ
ではなくて、どういう人がいて、どんな風の盛り上がり
方をしてるのかな、っていう。

ツイッターとかも結構見てる。エロ系の人とかも。ま
だ、ウォッチする興味は尽きないよ。

——今後は、女装のどんな部分にフォーカスしていきたい
と思ってますか？

井戸：やっぱり、薫ちゃん以降は、その人のセンスが問

われてると思うから。セルフプロデュースのセンス。

そういうパーソナリティの部分を見ていきたいね。今
までは、女装でパターン化つてのが出来たと思うんだ
けど。

ゲイ系の方は、ノンケを落とすためにしてるとか、女
の子が好きすぎてやってるとか。こういう形で女装をし
てるっていう、色んなパターンはなんとなく分類でき
て、本人たちもそういう風にフィードバックして演じて
きたと思うし、あんまり深く考えなかったと思うんだけ
ど。それも、深く付き合うとパーソナリティでしかない
から。

表面しか見なければ、その部分しか見えないんだけど、
自分のキャバを広げないとその人が見えてこないことも
ある。それも今になって見えてきたところもあるんだけ
ど、「ああ、こういうパターンもあるんだ」とか、まだ
イマイチ分からないな、って人とも出会うから。

そういうところにアンテナを張って扉を開いておきた
い、ってところはある。

俺は、女装については、分からないことは言わないよ
うにしてる。ある時期から。

色んな人がいるから、仲良くならないと分からないし、
仲良くなっても、その人本人が気付いていない場合もあ
るから、答えは見つからない。だから、長く付き合っ

る人とかもいるね。

——分らない部分、ですか。

井戸…分かった気にはならないようにしてるよ。別に、俺は分らないからって不安にならないから。あんまり、それで決めつけないようにして、撮影してる時とか、一緒に飲んでる時とかに、ふと分かる瞬間があっても、「それも一部でしかない」って思う。まあ、どうであれ、女装ってのは、その人の一つの特性でしかないから。ただ、女装をする、ってだけで。

——やっぱり、ちょっと前までは、どうしても「変態」ってところと紐づけられてましたけど、まさしくこの10年ですよね。変わったのは。

井戸…そうだね。みんなの女装する楽しさとか。

FaceApp（AI表情エディタ。写真加工アプリ）だったけ？ そういうものにみんな願望がある、好奇心があるっていう。変身願望ってだけじゃ収まらない何かがあるってことだね。性欲とか、性癖とか。

ものの見方も結構変わるしね。

——女装をすると、ですよ。初めてやった人が言う、スカートを履くと涼しい、とか、見えそうで不安、とか。それも見方の変わり方の一つですよ。

井戸…視線に晒されるってことだからね。女装でさえ、結構見られるから。ジロジロ見られるってことで。まあ、

どれだけ女性っていうのが、男に比べて消費されて晒される性なのか、体験して分かることだね。

——逆説的に、消費されることで承認欲求を得るというか。

井戸…女の子もいるからね。アイドルとかもいるから。ただ、承認欲求ってのは一つのキーワードで、見られることで自己肯定感を埋めようとする人たちってのはいて、そういう人ほど魅力的ってのはあるから。「もっと見られたい」ってことが容姿にも表れてるっていうか。

——さっきのFaceAppも、そういう流れで出てきたのかもしれないね。

まあ、正直、あれだけ変わったら、元の顔と関係ない？ って思うけどね。「これがボク？」って勘違いしちゃう。よく男の娘漫画で、鏡を見るアレ。

「もしかしたら、自分もできちゃうんじゃない？」って思っちゃう。

ひょっとして、こうなれるんじゃない？ って思っちゃうところはあるよね。

【検証■オトコノコの時代】

女装美少年たちが美少女化した 時代背景

日本統一に貢献した女装

まだ日本では女装というと眉をひそめる人が多いが、日本統一に多大な貢献をした倭建命（ヤマトタケルノミコト）は、女装して強敵クマソタケルを討ち取っていることを忘れてもらっては困る。

それ以降も本邦の歴史では、女装によって難を逃れた歴史上の人物は多い。

これは男性の同性愛についても同様だ。

平安時代の仏教寺院で始まり、中世に完成の域に達した稚児之道は、内戦下の戦場にいる武士の性的昂奮の沈静に貢献し、江戸時代に入って衆道・蔭間として庶民の娯楽にまで昇華した。

男色を尊ぶ本邦の気風は、文明開化を経て武士道の残滓を残す中等教育の場で生き続け、美少年を寵愛する蛮カラ学生の間には続けた。これが敗戦を機に、民主主義と混同されたクリスチャン気質に淘汰されてしまったのは残念至極。

戦後日本人に蔓延していた偽クリスチャン気質が、本場アメリカのジェンダーフリー運動の隆盛と機を一にし、今や崩壊の瀬戸際にあるという現状は、実に喜ばしいことと言えよう。

本稿では今世紀に入って台頭した「オトコノコ」というジェンダーフリー・カルチャーを、デジタルネイティヴがリアルタイムに取り込んでいるテクノロジーとカルチャー——SNS、ビューティーアプリ、韓流などの側面から分析を試みることにする。

BB SからSNSへ

インターネットは、あらゆる人々の生活と意識を変えた。特にニッチな趣味の持ち主と、セクシュアル・マイノリティへの影響は大きく、決定的であった。

それまで孤立しがちだった趣味や嗜好の持ち主たちが、住む場所を問わず匿名性を保持したままで繋がることができるようになったのだ。これによって彼らの世界は一気に広がり、その広がりが新たな世界を生む

基盤を作り上げた。

インターネットが普及し始めた前世紀末、個々のホームページ同士のリンクから始まった同好の士の集まりは、今世紀に入る頃には匿名の書き込みが前提の巨大電子掲示板・2ちゃんねるへと場所を移した。

そして匿名ゆえの「祭り（今でいうところの『炎上』）」にユーザーが疲れ始めたころ、新たなコミュニケーションツールであるSNSが産声を上げた。

当時日本で最有力だったSNSといえば、2004年開設のmixi。

2ちゃんねると違い、既存メンバーからの紹介がないと登録できず18歳未満は不可、しかもプライバシー保護もしっかりしていた。

その安心度の高さゆえ、マニアックな性癖の持ち主や同性愛者の登録者数が多く、そのためのコミュニティも数多く存在した。

しかし紹介制のため見知ったもの同士、あるいはその知り合いといったリアルな人間関係に拘束されやすいという、安心と裏腹の不自由さが出てきた。

そこに2ちゃんねるの高い匿名性と、mixiの使い勝手を両立させたSNSが、アメリカから上陸してきた。ツイッターだ。

同時期に日本に上陸したフェイスブックが実名登録を要求したのに対し、ツイッターはニックネームでの登録が可能で、インターフェイスも電子掲示板に近い感覚だった。

匿名で同好の士とコミュニケーションできるうえ、リツイートを通じて第三者への露出欲も満足できるツイッターに、セクシユアル・マイノリティやオタク・クラスタの性的話題が集中するのは、当然の流れだった。そして2014年、画像と動画に特化したSNS、インスタグラムが上陸する。

「インスタ映え」という流行語を生み、インフルエンサーを数多く輩出したこのSNSは、今も一般女子が自撮り画像を「盛る」ことに熱中させているが、それは同時にオトコノコに世間の目を釘付けにすることにも貢献した。

第3次韓流ブーム

オトコノコの発信媒体として、インスタグラムは強力なツールとなったが、これと同じ時期、韓流ブームが新たな局面を見せ始めてもいた。

それまでの韓流といえば、良くいえばレトロ、早い話がベタなドラマやタレントに中高年女性が熱狂するものだった。しかし2010年代に始まった第3次韓流ブームを動かしたのは、若者だ。

レベルアップしたK-POPアーティストの人氣が、インフルエンサーの推しで加熱。

日本のティーンエイジャーが当然のように、韓流アーティストと同じオルチャンメイクをして、チーズハットグを頬張りながら新大久保の韓流ショッピングの前の自撮りをインスタに投稿……が当たり前になる。

この第3次韓流ブームを作った若者が生まれたのは、平成になってから。

物心つく頃にはもうインターネットがあり、バブル崩壊はとっくに昔話になっていた。景気がいい頃を知

らず、不景氣続きで大人の言うことがアテにならないと肌で感じている世代だ。

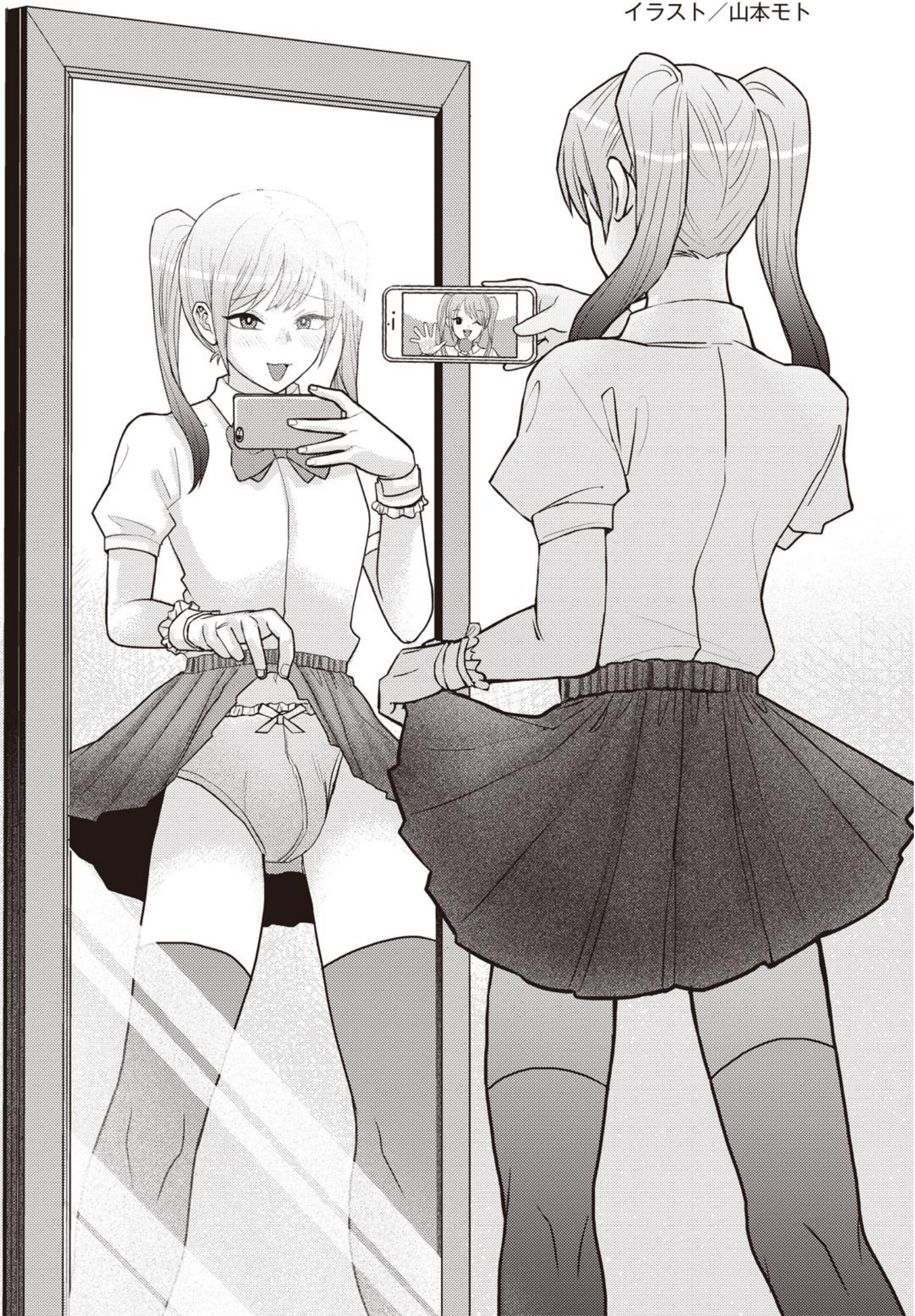
父親やまわりの大人が、差別意識をむき出しにする対象に魅力を感じてるのは、それこそ父親の世代にもあったことだ。ただ今の大人たちが若かった頃の流行が、その時代の大人たちによって作られていたのに対し、今の若者はSNSを使って大人を無視し、自分たちの流行を作り上げているのが決定的に違う。

時代のカワイイは一般女子だけでなく、ジェンダーの束縛を受けない者をも刺激した。

それがオトコノコの覚醒に結びついたと言っているだろう。それまでオヤジの隠された愉しみだったはずの女装は、Kカルチャーの影響下にあるインスタグラムを介して、かわいいオトコノコに昇華し、同世代の若者を中心に世間の注目を集めた。

ここで注目したいのは、女装がそれまでとはまったく違った文脈で動き始めた、ということだ。

韓流美少女の刺激を受けたオトコノコは、当時LG B Tと称したジェンダーフリーへの動きとも、本人が



意識するかどうかは別にして、見事に歩調を合わせていたのだ。そしてそれは、当時言われ始めていた「生きづらさ」「息苦しさ」の表明と取ることもできるだろう。

そしてこの動きは、2次元オタクの一部で加速していた性的妄想の拡大とも結びついた。美少女の股間に立派級の逸物が屹立する絵が、リアルな3次元世界で実現してしまったのだ。しかもその絵を求める性衝動の持ち主は、それまでの異性愛／同性愛という垣根を無意識に飛び越えてもいた。

こうして、それまでシーメールと呼ばれ、異人種のダイナミックな性表現の専売だったリアルな両性具有キャラクターは、一気に日本のオタクカルチャーに取り込まれた。そして、インターネットの勃興で隅に追いやられつつあったアダルトビデオに、新たなジャンルを作り上げたのはご存知の通りである。

こうしてSNSをコアにした若者の「繋がる文化」は、何もわかつちやいない大人を無視した、彼らだけの世界を作り始めているのだ。

「盛る」文化の誕生と展開

ここからは、オトコノコを生み出したテクノロジーとカルチャーについて見ていきたい。

自分の写真を「盛る」ことへの興味を刺激した最初の媒体に、プリクラがある。ゲーセンや観光地にブースが置かれたプリクラは、特別な思い出を友だちと共有するためのツールとして、爆発的な人気を得た。

そこに当時進みつつあったCG技術が、威力を発揮した。

背景を変えることはもちろん、被写体をより見栄えのする状態に「盛る」ことに、各メーカーは注力し始めたのだ。そしてこれは、当時の雑誌広告などで一般化していた「フォトショップ整形」に刺激されてもいた。

ここで便宜上「フォトショップ整形」と名付けたのは、90年代の半ば頃の広告や雑誌に掲載された人物写真から、毛穴が一斉に消えた現象を指す。当時、印刷工程がコンピュータ化されたことにより、プロ用写真修正アプリの代名詞ともなった米アドビ社のフォトショップが一気に

普及。これにより、それまで撮影スタッフが現場でしていた照明やメイクの苦労が解消され、ほぼすべての要素をコンピュータ上で修正できるようになった。

これにないプリクラのメーカーも、客の顔はもちろん体型までも理想的に「盛る」ことで、リピーター確保に血道を上げた。

この、女子の「盛り」への欲求は、2000年に登場した写メに引き継がれる。当時まだケータイと称された携帯電話で写真を撮影でき、それをメールに付けて送ることは、オンライン上でのコミュニケーションを広げる重要なツールとなった。

とはいえケータイの写メだけでは「盛る」には機能的な限界があった。より良く自分の写真を撮るには、光の加減など自分で努力せねばならず、そこにプリクラには及ばない弱点があった。

盛った自分の写真を友だちと共有したいけど、ケータイからは送れない。この欲求不満は、スマホの登場でやっ

と解消されることになる。スマホとはメカ的には電話機能付きのコンピュータで、通信速度が劇的に向上したこともあって、より精細な写真を送ることはもちろん、ス

マホ本体で写真を加工することもできるようになった。

こうして登場したのがビューティアプリだ。

気心の知れた友だち同士での写真のやり取りならば、そこそかも盛れてテキストにウケるだけで満足できていた。それがインスタグラムの登場により自己顕示、というよりもオンラインでの自己承認欲求（この言葉もSNSの登場で注目されたワードだ）を刺激することになった。インスタグラムは、デフォルトで写真を加工できる機能を持っている。しかし自分を盛りたい欲求を持つ特に女子はそれだけでは満足できず、ビューティアプリに手を出すことになる。

かわいく盛りたいならSNOW、ウケ狙いならFace App、納得できるまで盛りたいならBeautyPlusなど、今や星の数ほど補正アプリが出ている。

そしてこのトレンドは、当然ながら女子だけに限ったことではなかった。

もっとかわいくになりたいオトコノコたちの間にもビューティアプリは普及。ただでも端麗な容姿に磨きかけた男子や、ジェンダーフリーたちのインフルエンサーを生み出すことになった。

ここで注意したいのはこれらインスタ男子が、かつてのオトコのようにギラついた性欲とは無縁であるということだ。そういうオトコのための場もいまだネット上には残ってはいるものの、インスタグラムでは所詮少数派。インスタグラムに投稿する若者の多くにとって、性欲とは数ある欲求のひとつにすぎない。もちろん自分たちの性欲を否定も抑圧もしていないが、かつての若者や今のオヤジのように、特権を与えていないというだけだ。

これは大人たちが持っている異性／同性という、はっきりした境界線を易々と飛び越えた判断基準を持った層が生まれていることをも意味している。

一口にオトコノコといっても、性意識のあり方は個々それぞれに違っている。そして違いを受け入れて仲良く共存していることで、大人が掛け声ばかりで一向に実現できていないダイバーシティⅡ多様性を、易々と体現できていることに繋がってもいるのだ。

そしてオトコノコのセクシユアルな姿に欲情する人たちの数が、アダルトビデオの1ジャンルを形成するまでに達していることは、歓迎できることだろう。

革命としてのオルチャンメイク

インスタグラムで韓流ⅡKカルチャーが広がった背景の大元には、韓国の国策としての文化輸出戦略がある。1997年に起きた韓国の経済危機を機に、韓国政府は政策転換を余儀なくされ、外貨獲得手段として映画や音楽といった文化の輸出に注力する方針を出した。

そのため文化、娯楽産業の担い手養成に国家予算を注ぎ込んだ。その結果が韓流映画やドラマ、K-POPとして世界市場を席卷するまでになった。

経済で低迷が続いているとはいえ、日本はアジア発展の原動力であることに変わりはない。韓国が輸出する文化にもその影響が見え、韓流映画には日本に原作を求めたものも多く、K-POPアイドルの原型も日本に求められる。

しかし韓国と日本の決定的な違いは、自国文化への自信の持ち方だろう。日本人が作り出した娯楽文化は、非日本的Ⅱ西洋的な価値を求めつつも否応なく日本を引き



ずり、それが大きな特徴になっていた。

それに対し韓国は、海外から元ネタを拝借しつつそれを恥じることなく、自国のものにしたということだ。

オルチャンメイクは、そんな韓国の自国文化への自信を端的に表わしている。

オルチャンの基本は、ナチュラルメイクだ。東アジア人に共通の色白でキメの細かい肌を強調し、その上で人の視線が集まる目元と眉、唇にポイントを集中させる。

これは嫌味のないギャルメイクとも、日本のマンガやアニメのキャラクター描画で確立された手法ともいえる。アジア人の特徴を残し、かえって強調することで、アジア人独特の魅力を強調できたという点で、オルチャンメイクは新しいメイクの方法論を確立したといえる。

そしてこれは同時に、それまでの本邦で良しとされていた、シャドーを駆使して顔の凹凸を作り出す、白人顔志向のメイク手法とは真逆な方向性だ。

こうしてオルチャンメイクのK-POPアイドルが世界中に輸出され、韓国に莫大な外貨をもたらしている。そして同時に、非アジア諸国のアジア女性に感じる美意識にも変化をもたらした。それまでの白人至上主義的な

美意識に囚われていた人たちが、K-POPアイドルのアジア的なカワイさに惹かれているというわけだ。

その前段階として、民間貿易で大量に輸出された日本のマンガやアニメが、世界的に認知されていたという事実は確かにある。しかし好調な経済が続いていたとはいえ、AV女優を含むアイドルが国民の大多数の知らないうちに、アジア諸国で絶大な人気を得ている事実を放置し続けた日本とは、まさに対照的だ。

こうした美的価値観の変動は、女子以上の影響を女装者に与えた。かつてソース顔と呼ばれた、より白人に近い骨格を持つ男の顔の方が白人志向のメイクに向くため美人とされ、アジア系のしゅ顔はご愛嬌系として傍流とされていた。それがギャルメイクを経てオルチャンメイクが登場したことにより、一気に主流になったのだ。加えて白人志向の美人顔が、いくら手を加えてもビューティアプリの手を借りない限りは「美しい男」の域を出なかったのに対し、オルチャンメイクがハマるオトコノコはメイクだけで、十分な女子力を得ることができた。この違和感のなさ、インスタグラムなどSNSでの拡散を促したと言えるだろう。



オトコノコの出現は、女装者に対するパブリックイメージをも変えつつある。従来の、とりわけ地上波で引きの強いオネエタレントの多くは、ドラァグクイーン系の押しの強さかセクシー系という、ステロタイプの二者択一だった。そしてこのタイプ分けは、つねに男か女かという強制的選択肢の下に置かれていた。

オトコノコはその古い選択肢を無効化する存在として現われた。カテゴリー分けされて名前をつけられ、細分化され続けてゆくジェンダーフリーに対してさえオトコノコは異を唱え「自分はあくまで自分」と主張する。

これは地上波放送を通じて認知された、旧世代の女装者との決定的な違いだ。こうして若者は、報道機関が日韓関係が断絶状態だと連日書き立てても、そんなことに関係なく韓国発のメイクとファッションを楽しみ、共通したスタイルと話題を持つオトコノコに共感する。

自分の身近にいる大人だけではなく、直接縁のない人たちともネットを通して価値と考えを共有し、わざわざ国会議事堂の前に集まらなくても大人たちに違和感を表明する。オルチャンメイクとオトコノコは、新しい時代の革命の形を表わしているのかもしれない。

カジュアルな美容整形

韓流メイクやファッションで武装し、自撮り写真を盛るオトコノコにとって、美容整形のカジュアル化も気になるKカルチャーだろう。

良きにつけ悪しきにつけ、かなり前から韓国の美容整形は有名だった。ごく普通の人でも、就職や結婚で印象を良くするために美容整形を受け、飛行機と宿泊を出しても日本よりも安価。そのため安かろう悪かろうというのが、本邦での一般的な印象だった。

それが韓流ブームで事情が変わる。それまで男性のキーセンツァーがスタンダードだった韓国旅行に、女性の申し込みが殺到し始めたのがきっかけだ。

彼女らの目的は、お目当ての俳優の母国としての韓国。そして旅先で身近なエキゾティシズムを味わい、それまで食わず嫌いだった韓国料理のヘルシーさを発見し、日本では高価なエステやマッサージを堪能し、場合によっては韓流イケメンとのアバンチュールを楽しんでハマリ、リピーターになっていった。



そしてそのお楽しみメニューに、美容整形があることを発見する。

韓国と日本との美容整形には、際立った違いがある。日本では一人の医師が一人の患者に対し、整形する箇所全体のバランスを考慮して施術する場合が多い。それに対し韓国では施術する箇所——目、鼻、顔の輪郭、胸など——によって医師が細分化、専門化している。そしてそれぞれの専門医が連携してクリニックを運営するというのが、一般的なスタイルになっているという。

日本の美容整形医が、患者の要望を聞いたうえで自分の美意識を反映させるアーティストタイプだとすれば、韓国では医師の得意分野で技量を発揮する職人タイプといえそう。そして手間と時間の差が、そのまま施術費に反映しているといえるだろう。

どちらを選ぶかは手術を受ける人次第だが、K-POPアイドルに憧れて自分を近づけたいと考え、リーズナブルな値段段だと思うなら、韓国での施術一択になる。

かつて本邦でアイドルとは、憧れの異性に他ならなかった。それが時代を経て若者の意識は変わり、同性のアイドルに自分を投影させ応援する層が、男女を問わず

現われた。憧れの異性だったアイドルが歌う歌詞が恋愛一辺倒だったのが、今世紀に入り歌い手の自己を反映したような言葉に変わっていったことが、それを如実に語っている。

支持するアイドルの身近にいたいという欲求は、今も昔も変わらない。ただそれが異性間の疑似恋愛のだった頃には、フェティッシュ（崇拜物）を肌身離さず程度で終わっていたものが、同性に自己を仮託するようになる、対象そのものになりたいという欲求が、男女を問わず顔を出す。

そのかつての典型例は、矢沢永吉ファンだった。永ちゃんと同じ髪型にして、永ちゃんが着ていたのと同じタイプの革ジャンを着て、永ちゃんが乗っていたのと同じバイクでかつ飛ばす。そして仲間とツルみ、年に一度の武道館コンサートに行くことで、彼らは満足していた。

その彼らに対して矢沢永吉は神だ。そしてその神は絶対者、侵すべからざる唯一神なのだ。

それに対してK-POPアイドルは、同じ神でも多神教の神、神話の世界の神だ。唯一神は絶対者であるがゆえに、いること自体に価値がある。そこには神話は必要

なく、絶対的な神が語る教義だけでなければならぬ。
ところがグループⅡ集合体として創造された神は、神としての物語Ⅱ神話がなければ人と変わるところがない。ということとは、物語さえあれば誰もが神になれるということでもある。

多神教の神としてのアイドルの先駆けはジャニーズであり秋元康だろうが、K-POPアイドルはその神話構造をうまく取り込んだといったところだろう。

そしてネット時代に合わせたマーケティングの巧さと個々の神のキャラクターが、ハマったわけだ。

こうしたユースカルチャーの変化が、神Ⅱアイドル自身になりたいという欲求を持てる下地を作った。

実際、美容整形の技術が確立して以降、芸能人の美容整形は、情報公開がされていないだけで、ごくありふれたものになっている。

加えて、二重まぶたやデトックスといったプチ整形程度であれば、さして出費をせずとも日本国内でも行なえるようになっていく。神に少しでも近づきたい、もっとオルチャンになりたいと思う気持ちを止める障害は、もうさほど大きくはないのだ。

そしてその結果はインスタグラムに投稿される。自分で望んだ自分の新しい姿に「いいね！」がつき拡散、共有されることは、自己承認欲求が充足される至福でもあろう。

自分が今ある姿そのものを表現するオトコノコにとって、こうありたいというセルフイメージを実現する方法として、自分の姿を理想に近づけるための手段として、美容整形は有効な手段のひとつといえるだろう。

しかも男／女という既成の垣根を超えた存在を志向するオトコノコにとって、優れた美容整形医との邂逅は得難い機会になるはずだ。

歴史を紐解くまでもなく、テクノロジーの変化は人々の生活にとどまらず、意識のあり方までも変化させ続けてきた。そして今、電腦化と疫病との遭遇を経て、人のあり方はかつてない変化にさらされている。

記紀にまで遡る本邦の女装もまた、テクノロジーと海外の文化との相互のフィードバックにより、質的な転換の時期に来ているのだろう。



ちゅと
見ちゃうー

早く家に帰って
試着したいな

ゴッ
ゴッ



あつ！



この衣装セット
下着が付いてない……！

※このセットは
下着は入ってません

ハイッ！



下着はブリーフとストッキング

男の下着のまま
この衣装着るなんて

キャラへの
冒険だよー！



どうしょ……
女の子用の下着買うなんて……
恥ずかしいし……

ネットで買ったなら
ママにバレそうだし……



タマトイズ男の娘グッズ
COLLECTION
マンガ
蒼津ウミビト



えへへ
やっと衣装
手に入った

コスプレ専門店
CosCAT
★新服コス★
入荷しました!!
★グッズ・同人誌
99まで322まで
お楽しみに！



タマトイズ
縞パンは正義。おとこの娘用 3L

※男です





シャイニングエナメル
旧型スクール水着
おとこの娘用

光沢エナメル長袖セーラー服
おとこの娘用

評判を得たので販売したら
大好評となりました！

アニメキヤラの縞パンツを
市場で探しましたが
なかったので作りました！

タマトイズプロデューサー・神楽次郎



ニヤスゴッ...



こんな物まであるんだ！

キャメルトゥカップ
(インナーで女子的な割れ目を作る目的の商品)



OHヤンキー
助かー！

スクール上履き
おとこの娘用 紺



フロントファスナー
競泳水着レッド
おとこの娘用



これがあれば
気軽に女装が
楽しめるね♪

ママ
トイズ

ママ
トイズ

気軽に買える！ 楽しめる！

Tamatoys **タマトイズ**
男の娘
グッズ **COLLECTION**

Open Back
Ring Shorts

オープンバックリングショーツ

参考価格：1,800円(税抜)

爽やかさ No.1 のパステルカラー、可愛らしく上品なレースを使った着け心地快適なショーツ！伸縮性抜群のフリーサイズ。

フリーサイズ

[ウエスト]：90～98cm



お尻の割れ目が見える
セクシーデザイン♡



気軽に買える！ 楽しめる！ タマトイズ男の娘グッズCOLLECTION

お買い求めは amazon・FANZA・各種通販・アダルトショップにて絶賛発売中！

Shining Enamel Double Ring Shorts

シャイニングエナメル2連リングショーツ おとこの娘用
参考価格：1,800円(税抜)

伸縮性抜群の大小2連シリコンリングでパワーアップ！特殊な光沢加工で最高の輝きを！！

フリーサイズ

【リング大】：直径 50mm 【リング小】：直径 30mm



Shining Enamel Open Back Shorts

シャイニングエナメルオープンバックショーツ おとこの娘用
参考価格：2,800円(税抜)

光沢がゴージャスなエナメル素材のお尻の、可愛らしく上品なレースの隙間から見えるヒップラインがたまらなくセクシー。

【ウエスト】：96～104cm フリーサイズ





Sweet Roomware

スイートルームウェア おとこの娘用

参考価格：2,800円(税抜)

ふんわりリラックス！至福のひとときを過ごすためのとっておきのルームウェア。可愛いナイトキャップ付き。おとこの娘用 2L サイズ。

【バスト】：93 ～ 101cm 【着丈】：66cm

【ヒップ】：97 ～ 105cm 【帽子】：フリーサイズ



お部屋で過ごす時間が
キュートになります



お買い求めは amazon・FANZA・各種通販・アダルトショップにて絶賛発売中！

Enamel Long Sleeve Sailor

光沢エナメル長袖セーラー服 おとこの娘用

参考価格：3,800円(税抜)

白の光沢スカーフがとってもキュート！全身エナメルのワンピース型おとこの娘用セーラー服!! フロントファスナーで簡単着脱。

おとこの娘用 2L (男性用 M サイズ) 【着丈】：92cm
【胸囲】：100 ~ 108cm 【胴囲】：94 ~ 102cm



Sexy School Girl

セクシースクールガール おとこの娘用

参考価格：3,800円(税抜)

セクシーで可愛い、おとこの娘用アメリカンスクールコスチューム! トップスはストレスフリーのストレッチ素材でスカートは穿きやすいゴム & ファスナー付き。

おとこの娘用 2L サイズ (男性用 M サイズ)
【バスト】：93 ~ 101cm 【ウエスト】：66 ~ 96cm



Sweet Roomware

キャミ&ロングパンツ ルームウェア おとこの娘用

参考価格：3,600円(税抜)

上品な光沢感と極上の肌触り、至福のひとときを過ごすためのとっておきルームウェア！ シンプルデザインで大人可愛いおとこの娘用 2L サイズ。

おとこの娘用 2L (男性用 M サイズ)

【バスト】：93 ~ 101cm 【ウエスト】：94 ~ 104cm



こだわりデザインの
美シルエット



お買い求めは amazon・FANZA・各種通販・アダルトショップにて絶賛発売中！

Enamel Long Sleeve Sailor

光沢エナメルオープンバック競泳水着 おとこの娘用

参考価格：3,800円(税抜)

最高のフィット感がカラダを包み込む！競技用ハイレグタイプのオープンバック仕様！！

おとこの娘用Fサイズ

【バスト】：100～108cm 【ヒップ】：84～92cm



Camel Toe Cup

キャメルトゥカップ 参考価格：1,800円(税抜)

ピッタリしたボトムスやショーツのインナーにぴったりした可愛い恥丘とワレメを完全再現！ワレメアピールで視線を釘付け！

【サイズ】：110mm × 30mm × 150mm



マンガで振り返る

オトコノコ
10年史

SANWA MOOK



【男の娘AV座談会】

AVメーカー『僕たち男の娘』で5年間専属女優を努めたNH
橘 芹那

男の娘を専属女優にした『僕たち男の娘』 杉ノ木監督

オトコノコのイベント『極太祭り』P 三代目葵マリー

マンガ…小本田絵舞

男の娘AVレーベル『僕たち男の娘』誕生秘話

マリー…杉ノ木さんが、なんで『僕たち男の娘』というメーカーをたちあげたか？　というか、なんでニューハーフにしようと思ったの？

杉ノ木…元々ぼくはKMプロデュースというメーカーにいて、どちらかというと、コアユーザー向けというよりもライトユーザー向けの……

マリー…アイドル、キャピキャピアイドルだね。

杉…普通の女性しか撮ったことがなくて。

で、そのメーカーで、ずーっと10年以上やってきたんですけど、ちょっと自分で会社立ち上げてやってみようかなとおもって。

独立してEXっていうメーカー立ち上げて…。KMPと同じことやってもしょうがないんで、KMPでやっていないアナル専門のメーカーを作りました。特にニューハーフとか女装子さんとか気にしてなくて……っていうか頭になかったんですね。

で、いろんなプロダクションさんに、かわいくて、お尻、アナルセックスが出来る女の子……アナルセックスができて、かわいい子をバンバン連れてきてくれ、面接させ

てくれて声をかけたら、たまたま、アナルできる可愛いニューハーフが面接に来て。

で、最初は正直、ニューハーフってジャンルもわからなくて、断るかどうかわ迷ったんだけど、一応受けようかって、来てもらって、っていうか来ちゃっているし。で、会ったら、僕が思っていたニューハーフさんよりも全然キレイで。そのきっかけになったのが……

芹那…ゆきのあかりちゃん？

杉…そうそう、ゆきのあかりちゃん。面白いんで、せっかくだから専属にしよう！……っていうのがきっかけです。マリー…その時点でさあ、もう女の子っていうのは忘れちゃったの？

杉…忘れましたね。

(一同笑)

杉…で、もつと言えば、商売的なことになるんですけど、ニューハーフ作品は周りを見ても単価が高かったんです。DVD一本が4000円とか5000円で、普通の作品ってもう2000円ぐらいに落ちてて……。時代的にDVD売れる時代じゃないんで、好きな人が高くても買ってくれる、そのかわり枚数がある程度読める、っていう商売をしたいなって。で、ニューハーフさんを撮りました。そしたら思いのほか、反響がすごくて。

キラキラアイドルAV界
から独立

キレイな
アナルで
メシを
食おう！

立ち上げたのが
僕たち男の娘レーベル

だがホントは
男の娘を撮る
つもりはなくて
アナルOKな
女のコを撮る
つもりでいた

キラモノ
アナルじゃなくて
キラキラアナルを
撮りたいんだよね

とりま
アナルOK
な女優を
集めねば
(美女に限る)

おしい！
アナル
がまだ
らん見ため
Aランクは
外せない！！
(こだわらん
官二枚チェックと
面接の日々

ソコへ
面接に来た
男の娘が
運命を
変える

身長高いコ
だなーくっ！
T173
ちんこ
見ま
す？
ええっどう見てもツッパに
美女！！

ソレが
レジェンド
男の娘
ゆきのあかり

男の娘の知識
完全ゼロからの
スタート！！

女装AVの
概念を覆す
モンスターレーベル
の誕生だった

美女は
正義！

マリー…一作目は何を撮ったの？

杉…ゆきのあかりちゃん普通のデビュー作ですね。『レアル』（KMPのレーベル）で。

マリー…普通にからみ？

杉…普通にからみですね。あの…あ！一発目は媚薬を使って、おちんちんも勃起しちゃいましたみたいな、媚薬ものを撮ったんですね。

マリー…それ、監督作品だね。でもさ、ニューハーフを扱ったことないわけじゃん？

杉…なかったです。

マリー…初めての現場じゃん？ 自分に見てみたら。

杉…はい。

マリー…で、台本も書かなきゃいけないし、その子のことも知らないし、その日の台本っていうのはどうやって作ったの？

杉…ザックリです。

マリー…何で学んだの？

杉…他のビデオをいっぱい観ました。ビデオっていうか配信の動画ですね。

芹那…マリー…うんうん。

杉…あの、結局、基本的なことはそんなに普通のAVとかわらなかったですね。

マリー…そりゃそうだよな。

杉…幸いアナルものはやってたんで。

マリー…穴がちがうだけだもんね。

杉…（笑）アナルは一緒！

マリー…アナルとマンコは穴がちがうだけじゃん。

杉…楽しかったのは…女性よりも本当に気持ちいいかどうかって、おちんちんでわかるじゃないですか。めっちゃめっちゃ勃起しているかとか、あ、乗ってないとか。

芹那…嘘つけないですよ。

杉…撮ってる方も面白くて。最初はもう…なんかいっぱいすごい企画が…普通のこと一通りやってても、ニューハーフやったことないって人からしたら、全部が新しく。なにやっても面白かったですね。

マリー…はじめてNHの現場を作るのにあたって、スタッフさんもNHは初めてなんだよね？

杉…はい。社員でやってます。

マリー…ブレーンが。

杉…はい、全員初めてです。

マリー…その時、スタッフに事前に説明するわけ？ ゆきのあかりちゃんなんかパツときたら、女の子とまちがえちゃうじゃない？ 言っておかないと。チンコ見ないかぎり。

杉…ま、大きい女の子だなぐらいで。

マリ…事前にスタッフ集めて、今日はなつて……。

芹那…言つてないときありますよね。

(一同) えー (笑)

芹那…私、メイクさんと普通に喋つてて……別にイチイチ言わないじゃん、知つてるもんだと思つてて……で、着替えてくださいって言われて、自分で着替えられないときに、ポロンてなつて、「えー！」みたいな、「ギャー！」つて。

(一同笑)

マリ…言わないで現場を遂行するんだ。

芹那…そう。すごいびっくり。

杉…当時、ほんとう忙しくて、一現場ひとりじゃなかったんですよ。一現場に二人とか……。

芹那…まとめてやつてたんだ。

杉…たぶん、めんどくさくなつちやつたんでしょうね、いちいち説明するのが……まあ、変わらないから大丈夫だつて。

杉…そうですね、そこまで考えてなかったですね。

芹那…メイクさんでも三人ぐらいは途中まで気づいてなくて、びっくりされたことある。

杉…そうそう、さっきのなんで始めたかで、衝撃だった

のは……ちょっと話が戻っちゃうんですけど。面接しているときに、マネージャーさんに「おちんちん大きいから、この子、勃起しているところを一応、面接用に写真撮つておいたほうがいいですよ」って言われて。え？

そんなことあるの？ と思つて。初めてだったので。女の子の面接でマンコ撮ることないじゃないですか。

マリ…この子のマンコ、ピンクだから撮つておいたほうがいいですよ……ないよね。そもそもモザイクかけるところだし、関係ないじゃん。

芹那…たしかに……。

杉…え？ 勃たせるの？ 自分で勃たせるの？ そうしたら、若いマネージャーさんに「じゃ、ちょっと手伝つてあげて」つて。そのマネージャーも初めてだったらしいんですけど、急に跪いてしゃぶりだしたんですよ。

(一同・どよめき)

芹那…え？ マネージャーが？ そんなことするんだ！ 杉…そのマネージャーはノンケなんですけど、平気でペロツとできちゃう。そんなにいまは抵抗ないんだなと思つて、若い子に。

そんな時代の中でNHを撮り始めたのもあつて、反響がすごくて。他のメーカーもNH、ちょこちょこたまに出してきたんですよ。

「男の娘AV」での
失敗談

特にな
い
です

いや待って

ええ……
はい
優秀な仲間に恵まれ
まして……

橘 芹那

私の体験
ですけど
撮影現場で
メイクされてた時

衣装
こちら
です

はい

お着替
えろつと

〇〇〇
★
〇

メイクさんに
ギャー——
——って
言われた
事は
3回は
あります
よ

男の娘と
伝え忘れて
現場パニック
ウフフフ……

ホントに
ギャーって
叫ばれたよ!!

デヘロー

きゃ——

なんで
ついてるの!?

え

え!! 混乱
ちよっと
待ってて
と待つて??
ことつ

でも、僕のコンセプトとして、キレイな人、もつと言えど女性よりもキレイって思える人しか撮りたくない。自分の物差しはやっぱ女の子よりもキレイな人。だったらもう女子よりもキレイに見える人だけを撮っていいこうと。

他のメーカーと一緒にされたくないと思って、それまで『リアル』でゴチャッと出していたんですけど、『僕たち男の娘』ってレベルを新しく作って、じゃあ、ニューハーフの専門レーベルにしようって。

ニューハーフ・男の娘の専属女優たち

マリー…で、ゆきのあかりちゃん、どのくらいの期間、専属だったの？

杉…半年ぐらいですね。

マリー…みじか！ 月一本のリリース？

杉…月一本です。

マリー…ってことは六本？

杉…その後もちよこちよ撮ってはいたんですけど。

マリー…で、専属が切れました、で次は？

杉…専属が切れる前に、大島薫くんっていう、それも『リアル』で出したんですけど。その二人はもうめっちゃくちゃ

売れた。出せばヒットばかりっていう。

マリー…時期がかぶっているのか、あかりちゃんと。

杉…共演作も出しました。とにかく売れるんで……さっきの理由もあって『僕たち男の娘』ってレベルも作って、その時にはふたりともいなくなってる。

誰かいないかなって探しているときに、ちょうど橘芹那ちゃんとあともう一人、みやび音羽ちゃんって二人がいて、二人がレーベルの柱になっていました。

マリー…せりにちゃんと会ったときは、もう前の二人は引退してたんだっけ？

杉…あー、かぶってないですよ。

芹那…かぶってはないと思う。

マリー…あかりちゃんにしてみたら……いなくなっちゃったけど。

杉…かぶってはいないはず、イベントとかで一緒になることはありましたけど。

マリー…まっさらから、またせりにゃんが。

杉…そうです、ただ、芹那ちゃんもウチに来る前に、すでに何本か出てましたし、たまたま面接に……面接しましたよね、僕？

芹那…はい、しました。

杉…で、今まで見てきた人たちものすごくキレイだった

たんで、目だけはすごい肥えてたんです。大島薫くんとかあかりちゃんとか、音羽ちゃんとか、今でもキレイな人たちだと思うんですけど。

変に目が肥えちゃって、次の人がなかなか決まらなくて……だめだめ……って、そんな時に芹那ちゃんが来て、即決でしたね。その場で、いやもう撮りたいですって。

橋芹那と杉ノ木監督の5年間

マリー…どこに惹かれたの？ どこ見たの？

杉…いや、めちゃくちゃ、ほんと女性よりもキレイっていうのが、はまってて。

マリー…全体像？ 目がいいとか？

芹那…わたしはおちんちんの写真は撮られてないから、そこではない（笑）

杉…いや、ほんとにキレイだなって……。

マリー…そっからせりにゃんとの生活が始まるんだね。

杉…いやー、長かったですね。

マリー…長い生活だよね、何年だったけ？ 結局

芹那…四年？ 五年、ちかく。

マリー…で、月に一本、二本でしょ？ ずーっと。毎月毎月、撮り続けて。

芹那…でも、杉ノ木さん、あまり会わなかったですよ。最初にパッケージ撮ったら、すぐ帰っちゃうから。

杉…でも、台本は作るんですよ。作るんですけど、忙しくなっちゃって。

芹那…最初の一年目なんか、ほとんど会ってなかった気がする。

杉…最初、NH作品とかレアルの作品で月三、四本しか、社員も三人しかいなかったんで、三、四本しか撮ってなかったんですけど、それきっかけて忙しくなって二年ぐらいで三倍ぐらい動かすようになったので。で、会議とかもいろいろ入ってきて……まあ芹那ちゃんの現場、半年ぐらいいてなかったですね。

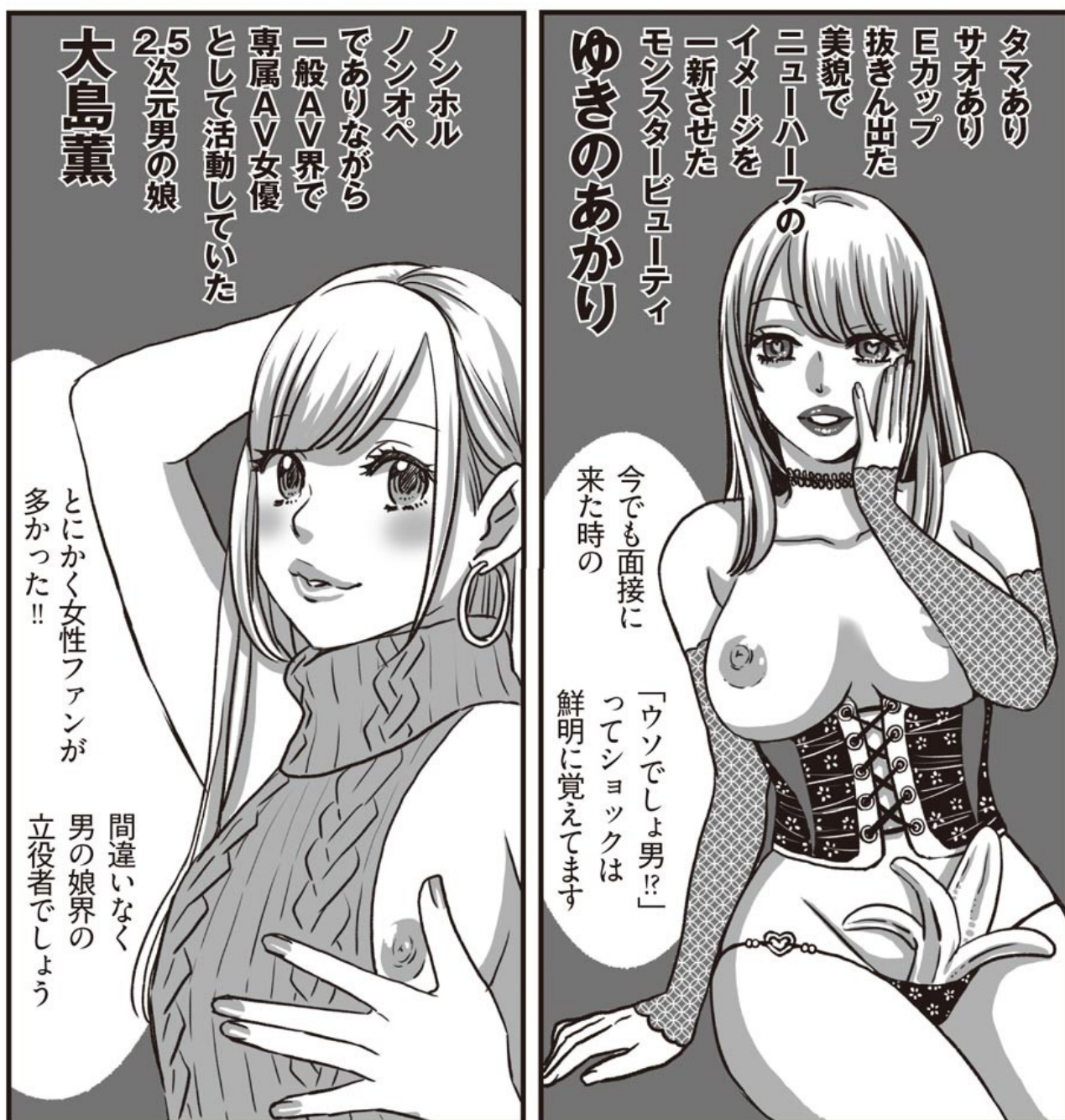
芹那…おかげで好き放題（笑）

マリー…だけど、自分ではNHの経験はないわけじゃない？ でも、毎月せりにゃんのために、試行錯誤で違うものを与えなくちゃいけないわけじゃない？ それってどうだったの？

杉…たぶん、書くのは楽……楽というか面白いんで。企画はいっぱい出てくるし、そんな大変って思ったことはなかった。

マリー…撮ってきたものは見て、編集は？

杉…編集はうちの社員がやっています。僕は編集された動



083

画を見て、ここを付け足してくれって。

マリィ…杉ノ木さんが携わるのはどこなの？

杉…僕がメインにやってたのはジャケット作りですね。

マリィ…動くせりにゃんを見ることはあんまりないの？

杉…出来上がってからです。

マリィ…完璧に出来上がってからだ。

杉…写真選定のときにまず、そのできあがりを見るじゃないですか。

今でも覚えているのが、一発目の作品は現場についてたんですけど、一発目の現場で初めて本気のせりにゃんを見るわけですよ。めちゃくちゃデカくて。

マリィ…初めて見るわけだよね、せりにゃんのちんこ。

杉…そう、よくみんなに言うのが、「じゃ、芹那ちゃんオナニーしてみよっか」って言ったら、突然、両手でつかみだしたんですよ。「えー！」って、「こんなオナニーってある？」と思っって。こう（両手で）やりだして。で、また量もすごいんですよ。

マリィ…その時、せりにゃんはわざわざ溜めてたの？

芹那…はい、ちゃんと撮影にむけて、コンディションを整えてね、やってたわけですよ。

マリィ…二本の手でオナニーされたらさあ、現場って男しかないじゃん。どうなの自分と同じちんこを持って

て、あんな太いのを見ちゃうと……。

杉…いやいや、別物ですよ。ほんと。

マリィ…唾然とするんじゃないの？

杉…自分の近づけたら食われそう……。最強生物と捕食される餌っていうか。そのくらい強烈でした。

マリィ…相当デカいじゃん、相当デカいし変な話、いま

の日本人男性って小っちゃめにできているじゃない。

杉…12〜13cmって言われますよね。

マリィ…もう比較にならないじゃない。

杉…しかも、毛がないから……。

マリィ…なおさらだね

杉…キレイにしているから、すげえデカく見えるの。

マリィ…反り立ちがね。たしかにそうだと思う。

杉…あのデカさを伝えるために、めちゃくちゃ写真を選んだ気がします。デカさを伝えられる写真を、すごい枚数ある中から……。

マリィ…せりにゃんよりデカいのっているかな？ いな

いと思うんだよね、男優さんでも。

杉…あそこまで衝撃受けた子って、いなかったんで……

マリィ…今も大きさはナンバーワンのまんま？

杉…ナンバーワンのまんまです。で結局、後半ずっと芹那ちゃんの現場について、新しくプロデューサーも育つ

AVに出る
きっかけは
豊胸して
キレイになっ
たから

記念に
映像で残し
ておきたいな
—— って軽い
気持で面接受けて



長くやる
つもりは
なかったな

杉ノ木さんの
現場がやり
やすかったので

のびのびやらせ
てもらった！

撮影中に
寝たことある
もんね

まっさい中からの
スヤピコオオ



さん入るる
のに眠れる
んだあ……って
感心しちゃった

大物感

あの頃は
夜型なのが
抜けてなくて
——
ダメだなーって
思ってます

撮影時に
コンディショ
ンをMAXに
持ってたのが
プロですから

今は
スケジュール
コントロールと
美容に気を
つけ無茶
しません



すっごく
量出る
ように♡

オナ禁しちゃった♡



てきてNH得意なスタッフも入ってきたので、どんどんシフトしていききましたけど、最後の頃は、芹那ちゃんの現場しか行かなかったんじゃないかな。あとはもう現場に出ることなくなっちゃいました。

あれ面白かったです。ある男優さんに「逆アナできますか？」って聞いたたら、「大丈夫です、できます」って現場に来ただけど、相手が芹那ちゃんって言うてなくて。アナルできるって言った男優さんがビビっちゃって。「回す前に一回テイスティングしてもらっていいですか？」って……。

（一同・笑）

杉…子鹿みたいに、後ろ向きで四つん這いになって……。

芹那…バックで激しくできないし。

杉…「なんとか行けそうです」って。じゃあ本番いきますよ、スタートってなったら、女の子みたいに枕をぎゅーって。あれ面白かったですね。

マリ…でも、それ以外にもいるでしょ？ 逆アナで絡んできた人って。

杉…逆アナって、面白い面白いですけど、キレイなNHさんが犯されておちんちん勃ちながらイカされる、っていう絵が、僕のなかではいちばんいい絵。どっちかというと、M男優がアンアン言っているのを見てて

も、あんまりよくないので。

芹那…たしかに……。

杉…やっぱ、男の人が見るためのNHのAVを作ることにこだわっていたんで、そんなに逆アナは撮らなかつたですね。

売れたのも芹那ちゃんがいっぱい射精するとか、芹那ちゃんがひどい目に遭わされるとか……。

芹那…『イカセ搾精器』は？

杉…めちゃくちゃ売れました！ 搾精器っていう、でっかい試験管みたいなのを付けて、精子を吸い取る。あれはめちゃくちゃ売れましたね。後半はもうキレイなジャケツトよりも……。

芹那…私、汚いジャケツトの時はあまりリツイートしない。杉…してくれない（笑）。

監督によって得意分野とか不得意な分野があるんで、僕はどっちかというところ、キレイな作品……女の子がキレイに見える作品を撮りたかった。

アニー中村って、イカセものとか強烈なものばかり撮る監督がいて、彼の作品の時は芹那ちゃん嫌がってました。

芹那…後半ってほとんど中村さんに会うことなかったじゃないですか、それってわざと？

杉…それはないです。

芹那…中村さんだったら嫌だなあって思いながら……杉ノ木さんだったらいいなあって（笑）

マリ…せりにゃん、全部で何本？ 何タイトル出たの？

杉…46本。

マリ…実際さ、引退しちゃったわけじゃない。引退作も撮ったじゃん？

杉…節目節目にマリ…さんがいるという……。

芹那…たしかに大事なときにいる。

マリ…ね、なんかって時にいるよね、ちょいちょいで、いまどうなんですか？ いなくなっちゃったじゃん？

せりにゃんを撮ることがなくなつて、心に穴が開いたとか……。

杉…ああ……、でも心に穴が開いたというの大げさかもしれないですけど。僕の役目っていうのか、芹那ちゃん

がいる間、AV撮ってあげて……。

マリ…まあ有名人にはしたよねえ。

杉…送りだせたら、やることやったかなあ、って感じになつちやつて。

マリ…親の心境だ。

杉…あとは、芹那ちゃんをほかの人に撮ってもらつて、僕より売れたらすごい嫌だつて正直ありましたけど。

マリ…でもさ、その反面、俺より売れるもの撮れるわけねえだろつてぐらいの気持ちじゃない？

杉…それはありました。芹那ちゃんもいなくなっちゃったんで、一線からは、もう……いまはもうデスクワークばかりですね。

マリ…現場行かないもんねえ。せりにゃんが節目、かなあつて。

杉…僕の引退作です。

（一同・笑）

マリ…ふたりの引退作だね、でもほんとそうだと思うよ、これからないもんね、全然現場がね。

橘芹那AV女優としての思い出

マリ…じゃあ、せりにゃん。

芹那…ん？

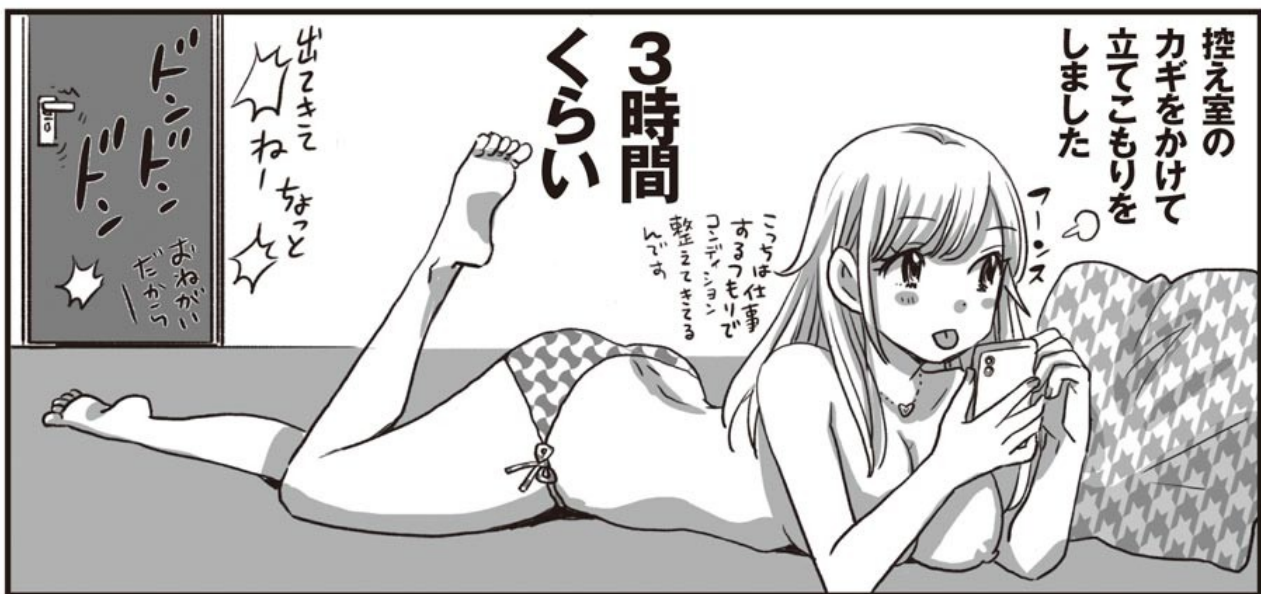
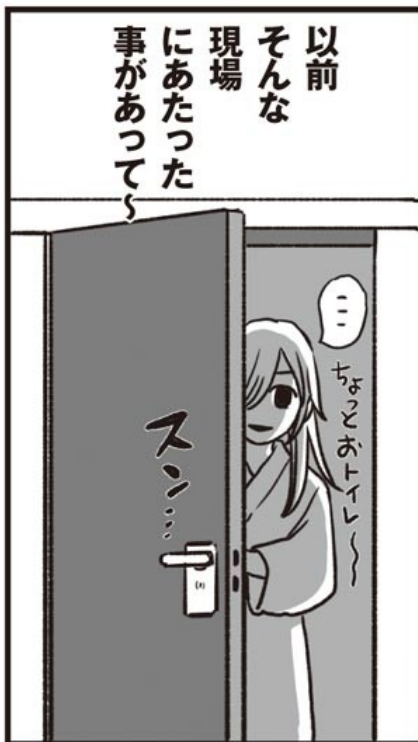
マリ…せりにゃんはなんも変わってないからさ。

芹那…ふーん（笑）

マリ…いつ会ってもこのまんまじゃん。基本変わんないじゃん、性格もなにもかも。

芹那…変わってないですかねえ。

杉…変わってない。



マリー…変わってないと思う。

芹那…だから…すごいよくも悪くもあんま緊張感がないマリー…元々、杉ノ木さんの現場が、緊張感ないよ。杉…そうなんですよ

芹那…ないないー（笑）

マリー…いいのか悪いのかわからないけど。

杉…ピリピリはしたくないですよ。

マリー…むしろ私が現場に行ったほうがピリピリするもん。私、現場仕切っちゃう方だから大丈夫かなって。

杉…マリーさんが来るってなるとちょっとぴりつとする。マリー…そこで、ぴりつとするのか。怖いのが来る。女が来るからね。

芹那…最初、すごい怖い人みたいな説明だった。

杉…怖い人じゃなくて、すごい人が来るっていう（笑）。マリー…知らない人が、なんか失礼なことをするんじゃないかなって。

マリー…杉ノ木さんのところに初めて面接に行って、杉ノ木さんとやりとりするじゃない、その時の印象は？

芹那…印象！

マリー…この人にNH撮れるのかしらって思ったかとか？ イイ男ねと思ったかとか、金持ってるのかしらこの人？ と思ったか、第一印象。

芹那…えー、なんだろう。あんまり覚えていない。なんだろう第一印象。

けど、やっぱり、最初の頃ってあんまり会わなかったから、会える時は媚売つとこうみたいな精神はすごい出してたかも。

（一同・笑）

マリー…さすが！ 風俗長いだけのことあるね。

芹那…そう、偉い人に好かれると仕事がずっともらえるから。

マリー…ね、ね、ね！

杉…今まで見てきて、頭のいい子って、ばーっている中で、いちばん偉い人を見つけるのが上手いよね。

マリー…杉ノ木さんの現場に入って、嫌だなあって思ったことは？

芹那…杉の木さんに一回も怒られたことないですよ。マリー…怒らないもん、この人。

杉…注意はありますよ。

マリー…注意だけど、怖くないじゃん。

杉…注意したのも…芹那ちゃんの持つてるブランド品すごいんですよ。何百万もするようなネックレスとか付けてくるんです。

そんなの置いといて、無くなったら大変じゃないです

か。だから付けてくるんだったら、男優さんに精子かけられても怒んない条件で、もうずっと付けててくれって。もしくは持つてこないでって言ったことぐらいでしたかね。それでも付けてきましたけど。

芹那…それでシャネル付けたまんま撮影してたら、シャネルが消されてて……CCが消えてるって。映したらダメなんだって。

杉…でも怒ったことないですね。

芹那…なーい。結構、現場で寝たりとか…好き放題してたけど。

マリー…ちよいちよいイベントであつたりしたけど、せりにゃんに何か規制してしまうと、魅力が出てこなくなるから。せりにゃんの世界観で、せりにゃんを出したいからさあ。

芹那…たしかに……。

マリー…現場で嫌だったこととか、実は怒ったこととかある？ 今だから言えること。ほんとにはあの時嫌だった、あのちんこ臭かった、とか。

芹那…ぶっかけのとき臭くて……さすがに。汁男優は人間じゃないと思った。

(一同・笑)

杉…汁男優じゃない、アレですよ、募集したんですよ。

芹那…そうだそうだ。臭くて…蕁麻疹が出ちゃってね。精子かかって放置されたことなかったから。

杉…精子って、こう、ある程度拭いてもしみこんでくるじゃないですか。

芹那…生き物だから……やっぱり、私の中に入ろうとしてきたの。

マリー…ああ、気持ち悪いねえ、最悪！

杉…マリーさんもいましたよ、そういえば。

マリー…知ってるよ、私。せりにゃんより駄目だから、そういう現場。もう、その人がいるだけで臭いから。

芹那…男がいっぱいいるだけでもう……。シャワー浴びたの？ って思っちゃう。

マリー…なんで出ちゃうんだらうね、あの匂い。

専属初期の撮影現場での橘芹那

杉…逆に芹那ちゃんに聞きたいのが、やっぱり四年、五年やってると、最初の二年三年で企画がなくなるんですよ。そのあとはほぼざっくりした台本で、あと当日、ほぼ説明もないまんま……。

芹那…なんか台本がペラペラでしたよね、紙一枚とかで、最初の頃は細かく書いてあったのが。

杉…なんかもう作らなくていいかなと、思っちゃって。

芹那…あと台詞を覚えられないし、私。

杉…やっぱり芹那ちゃんの魅力ってこうキャピキャピしてていつも明るくて、そこにシリアスな台本作っても、結局、芹那ちゃんになっちゃうんですよ。

芹那…シリアスな演技ができない、笑っちゃう。

杉…ダメだったら、もう一回、こういうふうにして、もうちよつと涙ぐんで言うんですけど。ニコニコしてエへって顔している芹那ちゃんがかわいいんで。結局、そっちの絵が多くなるし。特典映像をよく撮ったじゃないですか。オフショットとか。そっちのほうが楽しくなっちゃって。

マリー…そうだね。写真撮ってても思った。素のほうがいいくて。

杉…それが、芹那ちゃん的にはどうだったんだろうって。芹那…けど、私もうちよつというろできるようになりたかったなって思った。だって、途中からフェラチオとかもちゃんと覚えたいし。

杉…ほんと（笑）

芹那…中村さんに撮られたときに、フェラチオって、こんな奥まで入れるものなんだって。

マリー…それまでのフェラは？

芹那…顔が崩れない程度に。顔がアップになるから、こう持つてるのが大事なのかなと思って。

マリー…私生活ではどうなの？

芹那…あんまりしない、させる方。

杉…させる方！ つらいだろう……。

マリー…ね、何にもしてないのに、普通にフェラしてるのにイラマチオになっちゃう。あの太いの入ってきたらやばいー。

杉…太いし、長いし。

マリー…とにかく、長いよね。

芹那…ながーい。ちっちゃくなりたいんですけどね。

マリー…そのちんこは、元々なの？

芹那…元々だし、昔のほうがもつと大きかったから…かわいペニクリに憧れる。

杉…いやいや、でも武器ですから。

芹那…けど、やっぱり私そもそもAV長くやるつもりなかったから、その豊胸して、整形してキレイになった記念に、ちよつと映像残しておこうって感覚で面接に行っただけだったから。

マリー…なんで、杉ノ木さんがよかったの？

芹那…やっぱりもうストレスないし、楽だし、拘束時間がまず短い。仕事ができるスタッフが多いから。

杉…ありがとうございます。

芹那…ほかのメーカーさんと、パッケージに無駄に何時間もかけたりとか…それでコレ？って。修正でできる程度のことを、なんでこんなにやるんだろって。無駄が嫌いな人間だから。そういうことが多かったから、撮影してて卒業するときも絶対ここがいいなって。

杉…ありがたいですね。

マリ…もし…他の監督だったら、こんな長くやってなかったかもしれないよね。

芹那…そうですね、やっぱり最初だけこうキラキラアイドルで、だんだんこうAVってどんどんめちゃくちゃにされていくイメージがあったから…そういう仕事が増えてきたらキリのいいタイミングで辞めようって思ったけど。一時期ハードになったけど、また企画が面白くて楽しい作品が増えてとか…ふつうに撮影も楽しくて。

マリ…そうだね。私が行くときは、いつも機嫌はいいもんね。

杉…逆にいったら機嫌悪いところ見たことない。

マリ…いつもニコニコしてるから。

杉…風邪ひいて体調悪いことは一回あったかもしれないけど、でも機嫌悪いのはなかった。

芹那…ないかもしれない。

マリ…現場の前の日はメンテナンスとかするの？ 全くしないの？

芹那…うーん、しようと、してます。

(一同・笑)

芹那…最初の一年目とか、夜型の生活から抜けきれなくて、前日に寝れなくて、二、三時間しか寝ないで、六時とか七時に起きるわけだから、眠くてしょうがなくて。絶対に現場で寝ちゃってましたね、私。

杉…絶対寝てました。

芹那…100%寝てましたよね。

杉…アンアン言いながら寝てました。お尻に入れられて寝れるんだって。

マリ…それぐらい、眠かったんだね。

芹那…でも、寝てても怒られなかったから。

杉…そういうときのカメラは、長まわしになりますけど…。

橘芹那が変えたオトコノコ撮影現場

芹那…私、結構、他メーカーさんでは怒られたりしたんですよ、昔は。潮吹くまで帰れませんかかって言われて、3リットルとか、ペットボトルで飲まされて…。

マリー…それって、橘芹那でやってたの？

芹那…うん。

マリー…そうなんだ、私、ぜんぜん、知らないその時。

杉…でも……急に時代は変わりましたよね。そのNHさんって、悪い言い方すると、ちょっとイロモノ……じゃないですけど、男優さんと女優さんの間ぐらいの立ち位置で。

芹那…私、楽屋に三時間ぐらいこもって、鍵かけて、ストライキしたときあった。(笑)

マリー…へー！ でも、そうだね、せりにゃんから後、杉ノ木さんが関わった、その三人ぐらいで世界って変わったよね。

芹那…そう、変わったから。いま女優やってる子と違って、みんな「芹那ちゃんのおかげで働きやすくなりました」って言うって。

マリー…そうだと思う。その前はやっぱり、男の娘っていう名前もカタチになったのもそうだけど、ニューハーフとかおかまっていう風に言われてて、汚いニューハーフを犯りまくるとか。そういう作品が多かったから。

杉…僕が立ち上げたときに狙ったのが、インディーズとかアンダーグラウンド的なジャンルをメジャーにしたいなっていうのがあったんで。今のニューハーフさんって、

以前に比べたらものすごくメジャーになったかなって。

マリー…いや、もう全然メジャーだと思うよ。確立されてると思うし。

杉…モデルさんになりましたよね。

マリー…女優扱いされるものになった。

芹那…有名なプロダクションにみんな所属するようになったよね。

マリー…たしかに……認められたんだっていうのは思うのね、それはせりにゃんのおかげかなって。

杉…それはあると思います。

マリー…せりにゃんのおかげだけど、それを育ててくれた杉ノ木さんが、ちゃんと業界に功績を残したんじゃないかなって……もう辞めてもいいんじゃない？

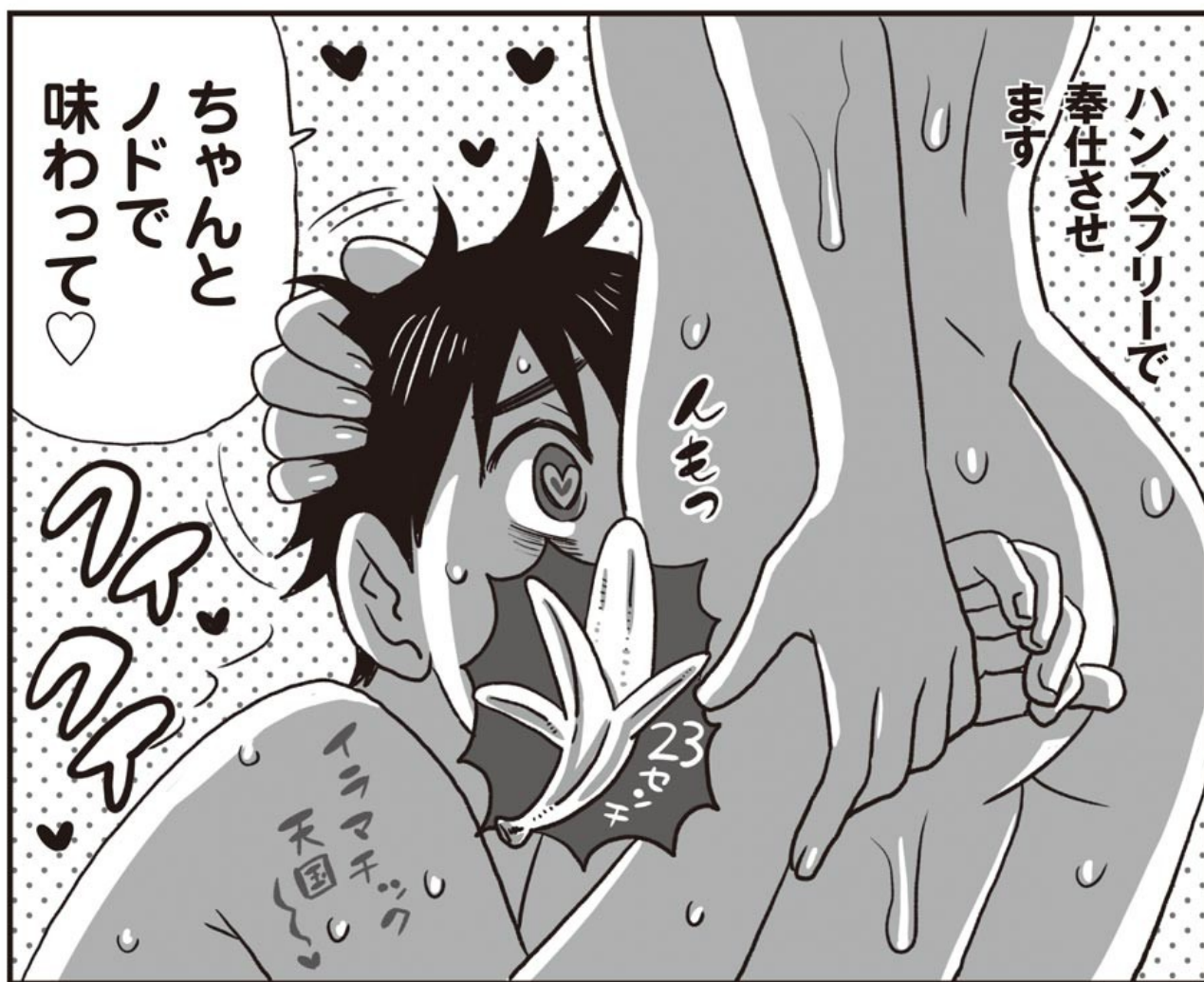
(一同・笑)

杉…後継者がいますんで。

マリー…やっぱね、爪痕を残した人は、そこにいやいやけないです。

芹那…たしかに！ 杉ノ木さんは卒業して、新しい人がこうね。

マリー…次に繋いでいかないと。私自身が継承者(三代目)なんで、そう思うんですよ。いつまでもいやいやいけないですよ。置いて任せる。



杉…マリーさんの次、いないでしょ。

マリー…だから言ってるのよ！ せりにやんでもいいよ。この際。

芹那…えー！ やるー！

マリー…やる？ 葵マリーやる？ やるか！

芹那…セリー様。四代目セリー様！

杉…三代目、いないじゃないですか？ セリーさんは。

マリー…もう継ごう！ 誰もが認めてくれるって、もう。

芹那…フィストもできるし。

マリー…アナルもばっちりだし、おしっこもいっぱいできるし。出すもん出せれば、大丈夫！

橘芹那の性転換にあたって

杉…独立してアナルものやりますっていうときに、マリーさんと会ったんですよ。たぶん初めて会ったんですよ、そのとき。

マリー…あまり、覚えてないのよねえ。

杉…喫茶店で会って…衝撃でしたよ。まわりにサラリーマンとかもいる喫茶店で。

「ちよつとアナルものやろうと思うんですよ」

「どうせアナルって言っても、みんなうんこしているん

だから、アナルなんて入れるだけなんだから大したことはないわ！」

って、大声で言われて……。どうしよう、みんな見てるって。

（一同・笑）

マリー…そう考えたら、杉ノ木さんと、古いなあ、つきあいが。で、せりにやんはいまどうしてるの？ Vは出てないの？ オファーがあつたらどうする？ この人

（杉ノ木さん）からあつたら？

芹那…えー！

杉…色んなところからオファーがあつたら、ありだと思うんですけどね、復活は。

芹那…ただ、あんまりこう……やるモチベーションがないというか……

マリー…多分だけど、もう杉ノ木カラーになってるから、他のすごい有名な監督でも、すごいギャラのいいメーカーさんからお話がきても、せりにやんは絶対に行かないと思うんですよ。嫌な思いをしそう。と思う。

杉…芹那ちゃんがやりたくて行くのはいいと思うんです。ただ、違う人のカラーで、良くも悪くも新しい芹那ちゃんができるじゃないですか。それが芹那ちゃんにとってマイナスだったら嫌だなって。

マリー…私もマイナスになるとしか思えない。他の人は、せりにやんのことを一から十まで知らないのです。

やっぱり育てた親じゃないとわかんないじゃん。

朝会ったとき、顔色見て、あー昨日飲んだとか、彼氏と別れたとか、わかるのこの人（杉ノ木さん）だけだと思う。せりにやんはわかりやすいんですよ、そもそも。元々わかりやすいのね、昨日彼氏と喧嘩したんだなって。すごいわかりやすいんだけど、新しい方々はわからないし、どっかに壁をつくっちゃうから。

芹那…たしかに。またこう心を開くのが大変だし。

マリー…ここで心を開きまくっちゃったから。ね、撮るんだったら、たぶん杉ノ木さんがなんかのタイミングで。業界、何周年記念とか。

杉…要するに二十周年とか。

マリー…そういう記念で撮るとかじゃないと、せりにやんは画面の中の人にはならないんじゃないかなーって思ってるけど。出たいなと思うのとかまだあるの？

芹那…性転換する前は、なんかしよつかな思ってた。

杉…密着したいですね。どこでやるんですか？

マリー…いまコロナだからあれだけど、日本じゃないんじゃない？

芹那…今年してもいいかなって思ったけど。

杉…いや…でも、密着したら、ギリギリのところで止めちゃうかもしれない。やめたほうがいい！って。

マリー…確かにしもつたない。

杉…もつたないですね。

マリー…なんでなの？ デカいのに、嫌なの？

芹那…ニューハーフとしてやりきってしまったな、って思ってた…人生を。

マリー…次はどこへ向かいたいの？

芹那…次は女性として。

杉…あれ、移植できないですかね？

（一同・笑）

編集部…欲しいですね。

マリー…切ったものはどうするの？ どっかに寄付するの？

芹那…寄付しない（笑）。亀頭がクリになって、皮がビラビラになって。

マリー…にしたってさあ、あの大きさだったらクリが三十個できるじゃない。

（一同・笑）

芹那…自分のチンコをひっくり返して作るから。

マリー…じゃあ、すごいでかいクリができちゃうじゃない！ バラの花のようなクリが。

杉…芹那ちゃんサイズまで入るってことですね。

芹那…ひっくり返すからね、小っちゃい人はその分、腸を切らないと余分なものの補強できないから。

マリー…ゆとりあるマンコができるわけ。

芹那…だから外人でもできるし。

マリー…それでも余っちゃうよね。先生ビックリしちゃうよね。この余った皮どうしようかな？って。

杉…密着したいですね。もしOKだったら。

芹那…タイまでついてきてください。

マリー…私も行きたい。

芹那…取る前にゴーゴーボーイ、買いまくって、最後にマリー…そうそうそう！それはありだと思うよ。やっぱり最後なんだから、ほんと最後なんだから……。

あ、わかった！ 行つて（杉ノ木さんと）やっちゃえばいいんだよ！ ね、最後だもん。

杉…一年かけて広げておかない……。

マリー…ね、日本でそこまで私やるから大丈夫。

杉…前にマリーさんのフィスト、撮らせてもらってるじゃないですか？ ゆきのあかりちゃん。ちよつと怖かったですもん。マリーさんが笑いながら手を入れて、やられてるほうが、ギャーって。

マリー…手は入れないから大丈夫だって。いやー、でも

やっぱ最後やつといたほうがいいよ。

芹那…杉ノ木さん、満足させられるかなあ、私。

杉…それは無理だ。荷が重いっす。

マリー…でも、せっかくだからさあ、やっぱ最後は絡んでほしいよね。入れるでも入れられるでもどうでもいいさ、じゃんけんで決めても。それ見たいな。

杉…絶対負けられない勝負ですよ。

マリー…それ見たいな。いいじゃん。

編集部…見たいです。それ含めてのドキュメントです。

マリー…そうそう、それがドキュメントだもん。

編集部…かたや、ちんこ無くなっちゃうんですよ。それくらい……。

マリー…こんな日本一のちんこを育ててきちゃったんだからさあ。終焉の時を……。

芹那…杉ノ木さんが23cmとか書くから。

マリー…なんか仕掛けたほうがいいですよ。

杉…ちよつと時間をください。

マリー…まだコロナだから、せりにゃんはタイに行けないから。

編集部…時間は十分にあります。

マリー…まだまだ時間はあるから、半年時間があつたら、じゅうぶん柔らかくなるから大丈夫。余裕。アナルは筋

肉だから大丈夫、骨はないの。慣れ。

杉…まさか、こういう流れになるとは……。

マリー…楽しみだねえ。

芹那…行きたーい！

杉…ほんとうに取っちゃうんですか？

芹那…うーん、今年三十歳になったんで…ちよつともう大人としてね、生きていこうと思つて。

マリー…ぶっちゃけ今、本当にコロナで行けないじゃない、これが5年ぐらい経っちゃうとするじゃない？ そしたら35歳になつてもやる？

芹那…35歳になつてニューハーフだったら、たぶん今更感があつていいかなつて思うけど、今だったら30だし、石原さとみちゃんみたいになれるかなつていう（笑）

マリー…うーん、機を逃すか逃さないかだね、コロナでね。楽しみ。でも来年ぐらい行けそうだけだね。

でもこれが普通になるじゃん、薬ができればさ。そしてたに行くでしょ。私も行かないと、着いて行かないと。（アナルについて）レクチャーしないといけないからね、事前にアナル拡張しないとね。

芹那…そこでさ、タイのニューハーフ撮ったら？ めっちゃ可愛い子、いっぱいいるよ。

マリー…みんな連れて行けばいいんだよ、社員旅行で。

タイなら安いから。

芹那…五つ星ホテル、二万ぐらいで泊まれるよ。

マリー…みんな合宿がてら行つて、作品撮つて、一週間泊つたつて、売り上げで出るよ。行こう！

杉…行きましょう。

芹那…私はゴーボーボー潜入で。

マリー…潜入ハメ撮りみたいなのでさ。

杉…お金払えば……許してくれそうだもんね。

マリー…そうよ、お金払えば、みんな。決まつたね！

杉…でも、取っちゃうのか、さみしい……。

マリー…私は熱海の秘宝館に飾りたいぐらい。もったいない。

芹那…もったいないですよね。でも、最近あんまり使い道がなくなつてきちゃつて……。

マリー…えー使つてないの？ それはなんで？

芹那…それこそ、世の中の価値観が変わつてきちゃつて……。ノンケがアホみたいに寄ってくるわけですよ、私に。そういう人たちは、特別ここを舐めようと、触ろうとしなかったから……。

マリー…何を求められてるの？

芹那…純粹に顔とか、雰囲気とか。

マリー…一緒にいたい系とか？

芹那…いっしょにいて楽しい、みたいなの。

マリ…そういうもんだね。でもさ、AV女優さんとかもそうじゃん？ 好きすぎちゃうとさあ、裸にならなくてもいいよ、着ててもいいからここにいてーみたいなの。そういう域にいつちゃってるんだね。

芹那…いつちゃってる。相手が、私がニューハーフってことを忘れてる瞬間とかも結構あるし。

マリ…それはそれでいいんじゃないの、せりにゃんの生き方としては大成功。

芹那…変態なことしたいんですよ、相手が迷いながらするつてのが楽しいのに。あまりにもみんな……。

杉…芹那ちゃんが希望する、いちばんのシチュエーションはどういう？

芹那…私は……私のこと気持ちわるい、ぜったいムリっていうレベルの人を落とすのが一番好きだから。

ニューハーフとか絶対無理とか言ってたくせに、こう、二人で飲んでたら、いけるかもって。

けど、もう最初から行ける前提で来ちゃうから、面白くない。なんならもう、経験済みの男子も世の中ごまんと増えすぎちゃって、そんな中古品に興味ないと思つて。マリ…そしたら、もうプライベートで会うしかないよね。芹那…性転換したら逆に、これが作り物だって知らない

でやってんだって興奮するのが（笑）

マリ…そうだよな、中イキとかさあ。

芹那…精神的に楽しみ。

マリ…クリができたなら名前を変えとかはないの？ ずっと橋芹那？

芹那…友だちもみんなせりにゃん、せりにゃんって呼ぶし、もう本名みたいになってるし。

マリ…でも、クリついたらどうするの？ クリにゃんとか？（笑）

芹那…クリにゃん！ それこそ、私ももう三十だし、にゃんにゃん言つてないで、お姉さん系になりたいなって。大人に見られたいの。

マリ…杉ノ木さんの、メーカーとしてね、チンポがなくなるのはドキュメントして追うとするじゃない？

タイまで行つて。女の子としての作品は撮ろうとは思わないの？ やっぱりチンコがないと駄目？

杉…作品としては。商売をある程度考えちゃうんで、魅力は絶対にあると思うんですけど、商売としてはやりたいたとは思わないですね。

マリ…ってことはさ、他のメーカーはせりにゃんの性格は絶対にムリだからさあ。

芹那…そんな！

橘芹那のこれからについて

マリー…せりにやんの次の夢は？

芹那…えー！ ティックトッカーになろうと思って頑張ってます。

杉…やばいじゃないですか。

マリー…いまちよつとやばいでしょ。

芹那…自粛期間にいまさら始めても毎月千人以上増えるから。

マリー…でもやっぱ、やばいんじゃない？

杉…9月になくなるかもしれないし。

芹那…えー、せっかく増えたのに……。

マリー…LIVEでいいじゃない？

芹那…外国人とかに認知されたいかも。

杉…法律的によくないんでしょうけど、モザイクなしで観てもらいたいですよね。

マリー…海外に行くしかないね。

芹那…アメリカ進出？

杉…アメリカでも通用するでしょ。

芹那…通用するかなあ

杉…すごいやつはいるけどね。

マリー…敵はいっぱいいるし、ライバルも……。

芹那…私、欧米人好きじゃないから、大丈夫かな？

杉…(笑) それは芹那ちゃんの個人的な問題でしょ？

マリー…海外にね、なんもいつてないじゃん、一步踏み出せるなにかにつながるというよね。なにか。ユーチューバーとかね。

芹那…エロいこと言えないし。

杉…ツイキャスとか、YouTubeはうるさいからね。

マリー…ツイッターのフォロワーは何人ぐらい？

芹那…三万四、五千人ぐらい。

マリー…女と男の比率ってどうなの？

芹那…わたし、おとこばかり、インサイトとかアクティビティとかでみると男ばかり。

マリー…一般の人から見たら、せりにゃんってどういう存在なんだろうね？

杉…多分いまの若い子って、仕事関係なくフォロワー数3万いるって言ったら、付き合ってたという人いっぱいいると思う。

芹那…ミーハーの人ばかりだから。

杉…「俺の女フォロワー3万人いるんだ」って、意外とステイタスになってる。

マリー…いま、充実してるの？ ところで。

芹那…最近ね、なんもしがらみがないから好き放題でき
て。今週も毎日男とデートしてるし。

マリー…いま男どれになったの？

芹那…いまね、5人ぐらいつきあってる。リスクヘッジ
しようと思って、一人に依存するともう……。

マリー…そうね、いろいろ手段があったほうがいいと思
うよ。大変だから、せりにゃん

芹那…ハマっちゃうと一途な感じ。

マリー…年齢層もバラバラでさあ、二十代、三十代、
四十代、五十代、六十代で持ってたほうがいいですよ。
そのほうが、せりにゃんはたのしい。そっか…AVに戻
るのは、杉ノ木さん次第だね。

杉…(笑) 責任が。戻るって言ったら、ウチまた行きま
すけど。

芹那…けど、何をするために出るんだろうって思っちゃう。

杉…そう！

芹那…それこそ有名になりたい気持ちはあるから、そえ
を考えたら、AVの新作という次元ではないと思う。

杉…AVでさらにステップアップはないでしょうね。

芹那…だから何だろう、って感じです。

杉…それこそ、自分でメーカー作るとか、風俗の店作る
とか？

マリー…風俗の店は作れそうだけどね。その気はないの？
芹那…もうちょっと大人になってから……。

杉…僕は、マリーさんのSMクラブを作るべきだと思
います！

マリー…そうねえ。

芹那…SMクラブ、単価高いから儲かりそう(笑)

杉…儲かりそうだし、悪さする人が少ないから。「入れ
させて」がないじゃないですか。

編集部…Mさん、素直な子ばかりだから。

芹那…かわいい！ 合法でおやし狩りできる(笑)

マリー…せりにゃん、SMクラブがいいよ。

芹那…SMクラブにしよう！

マリー…結局、金持ちしかこないからさあ。風俗として
のSMはやっちゃ駄目だよ。SMクラブやる、じゃない
と金持ちは来ないから。

オトコノコのイベント『極太祭り』

編集部…男の娘イベント『極太祭り』は、コロナ禍での
開催予定は如何ですか？

マリー…やりたいんだけど、ロフト(プラスワン)が。
今マックスで40人しか入れられなくて、花道を出すと花

道から2メートル離れて客席を作らないといけなくて。

芹那…いっぱい入れたらいけないんだ。

マリ…そうそう、入れちゃいけないの。スタンディングで40人ぐらいだから、スタンディングとかだったらどうかなあって…悩んでる。

杉…残念というか、やりたいですけどね。初めてやったとき、ほんと衝撃でした。

マリ…すごかった、デラカブ（ストリップ劇場『DX歌舞伎町』）のは。

杉…正直、マリ…さんと「やりましょう！」って盛り上がったのはいいけど、はたして人来るのかなあって。

マリ…未知じゃん。やったことないし。それを言ったら、デラカブの社長さんですよ。私、何回か話を持って行って、ニューハーフでスペシャル興行をやらしてくれて。二回か三回か断られてて、実は。

それこそ杉ノ木さん以上に知らない人なの、社長さんて。SMも知らないし、ニューハーフも知らないし、普通の男の人なので。

で、三回目ぐらいに、せりにゃん含めて杉ノ木さんのところの女の子たちの写真、パッケージを写メって「この子たち出すからいいでしょ？ 今度こそやらせてくれ」って言ったら、（社長は）ビックリしちゃって。

「これ女の子じゃないの？」って、踊り子さんにしたいぐらいの勢いになった。乗ってきたから。

それで、やろうってなつて。やつとできて…。

でも、これでコケちゃたら、私もうデラカブやばいなって思つて。絶対入れるから間違いないっていう中で、「せりにゃんが絶対に客を連れてくるから大丈夫だから」って。

で、蓋あげたらね、もうすごい勢いだったじゃん。一回目で何人だったわけ？

杉…100人越えてましたね。

開演する前に並んでたのは、最初10人ぐらいだったのかな。僕、一時間前に入つて、これでマックスになっちゃったらどうしようってドキドキしてて。

いろいろリハールして開演しますって、お客さん入れたら、もう座れないぐらいの人数になっちゃって。開場から10分ぐらいで。

マリ…一回目はデラカブの外、入場待ちが一周しているはず。

杉…あんなに人が来るんだと思つてびっくりしました。マリ…来るだろうなとはあったけど、まさか、あんなにギュウギュウになるとは思わなかった。これはすごいなと思つた。

男の娘AV嬢を
観るから会えるに
変えた
ニューハーフ界の
立役者の一人

三代目葵マリー

面白い事
やろうよ！

男が絶対に
上がれない
ステージに
男の娘を
上げたら
面白くない？

ヌード・シアター
DX 歌舞伎町

劇場

そうして
向かったのは
今は無き
伝説のストリップ

当然の
塩対応

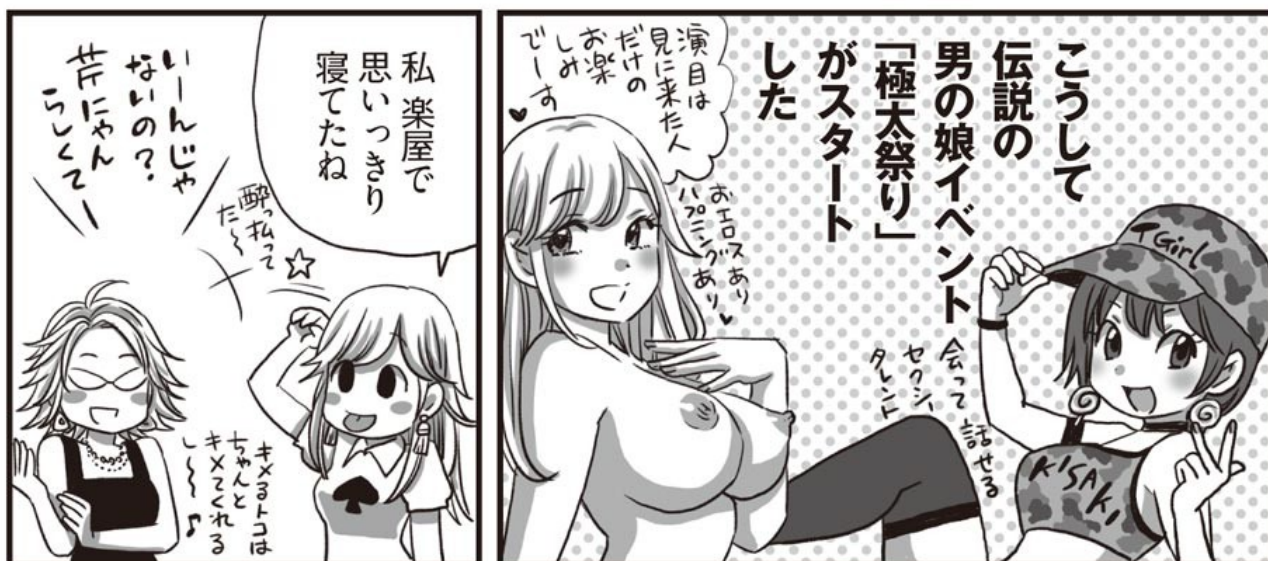
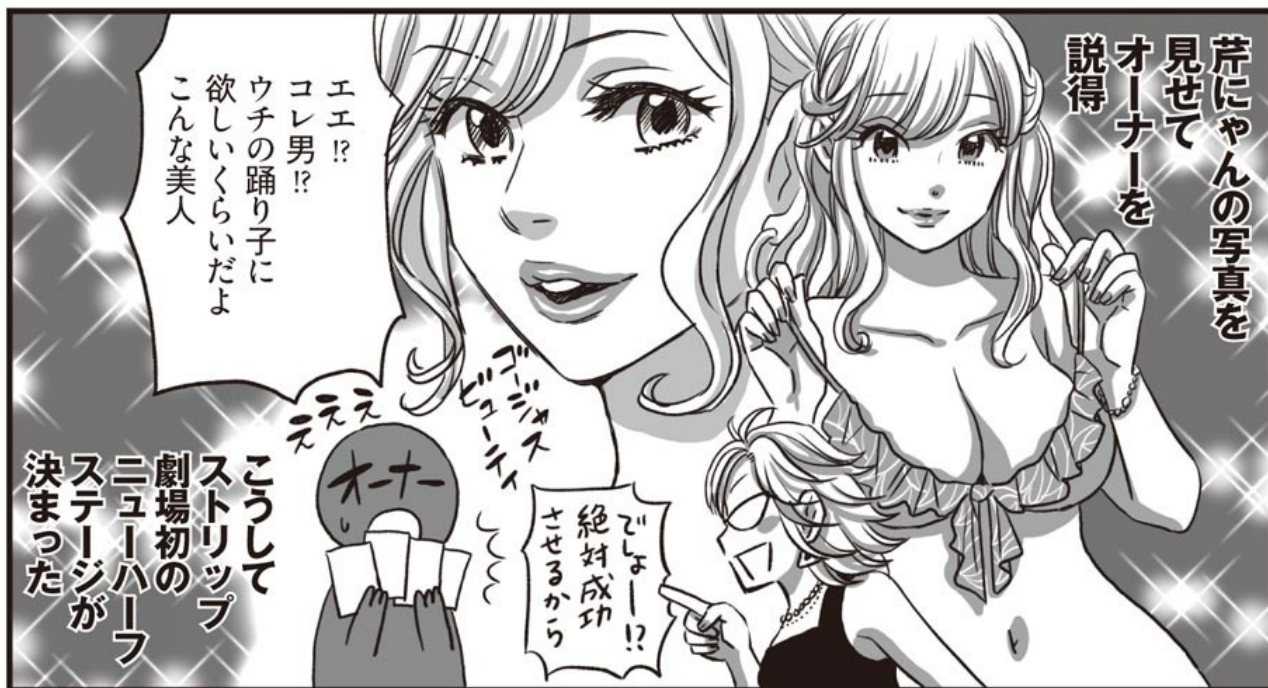
男!!
ムリ!!
ない!!
千歩譲って
ありえない

エ〜
やうやう
絶対面白いのにー
閉館しちゃう前に
楽しい事
しようよ
オーナ
チンコついてるヤツ
絶っっっ対上げないよ
NO!
Please!

それでも
諦めず

まずは
見てよ

何度も
通った



杉…僕ら、セル店（DVD販売店）とかでイベントやるんですけど、女性のモデルさんのファンとか、いろんな人がいて、あんまり集まらないんですね。ニューハーフのファンでわざわざくるって人が少なくて。イベントって、そんなに集客あるのになって思ってた……。

マリー…そうだね、まだ一回目のときって、杉ノ木さんってイベントに壁があったよね。

杉…どちらかというと、マリーさんにパワーで押し切られた（笑）

マリー…そうそう、やるよー！って。とりあえずやってみよーって（笑）。怖いから断れなくて、やっちゃったよって。

杉…でも、面白かったですね。内容もすごいブツとんでたじゃないですか。

マリー…内容も面白かったよね、笑いありエロあり、芸術あり。そうだよ、緊縛があったからね。芸術もできたね。

マリー…ロフトプラスワンに移っても、お客さんちゃんと来てたし。だから、私はこれは続けたいと思うけど、でも続けるのには条件があつて。

せりにゃんがいないと私はやらない。

他にどれだけいい子が来ても、せりにゃんがいなければ、私はやらない。あと杉ノ木さんが一緒にやってくれないと、この二人がそろってないと……だからやりたんですけど。

杉…やりたいですよええ…

マリー…『ごくぶと』やらないのーって意見もすごい聞くから。『ごくぶと』……新しい言葉もできたし、それを殺したくないなあって。ごくぶともっこり。せりにゃんが、ごくぶと持っているかぎり。

芹那…そっか、私が無くなっちゃったら、もう終わりってことか。

杉…そうっすね、さよなら、ごくぶと（一同・笑）ラストイベントですよ。

マリー…やりたいはやりたいよね。私は、伝説残したと思ってるんで。

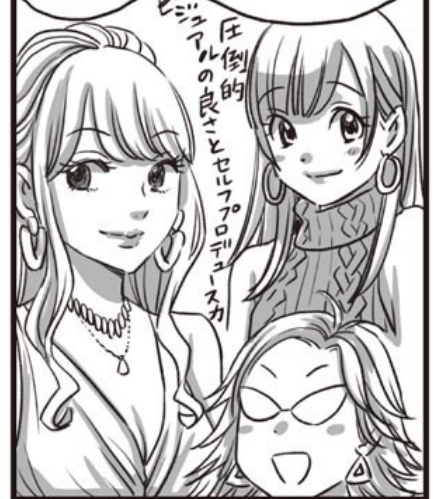
芹那…たしかに。

杉…一番最初だったかなあ……。最後に締めコメントを一人ずつもらったじゃないですか、芹那ちゃん、すごいいいこと言つて。

芹那…言つてましたっけ？

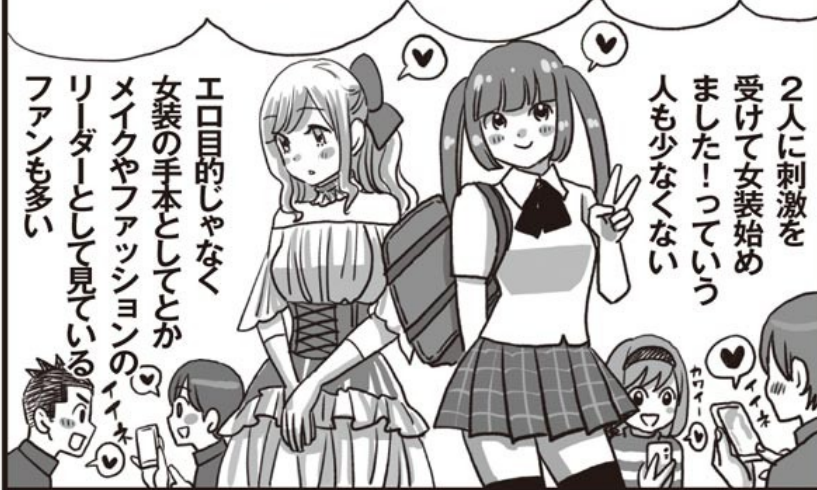
杉…いいこと言つた！ 昔は、こんなに目立つイベントがなかったけど、いまは頑張ってきて変わってくれて、すごい注目浴びて、メジャーになれて……。

大島薫クンや
せりにやん
みたいな
存在が
ファンを
変えたな
——つて思うよ



SNSの
力もあるけど
ライトユーザー
がものすごく
増えた!!

中にはAVを
観た事ない
けどファンです
なんて人もいて
すごく
裾野の
拡がり
を感じるね

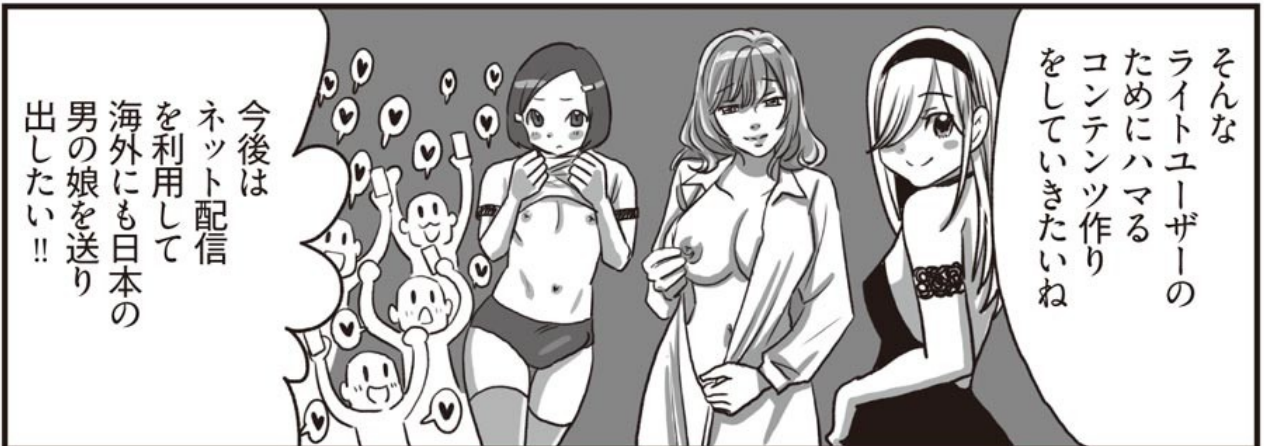


2人に刺激を
受けて女装始め
ました!つていう
人も少なくない

エロ目的じゃなく
女装の手法としてとか
メイクやファッションのイイネ
リーダーとして見ている
ファンも多い

そんな
ライトユーザーの
ためにハマる
コンテンツ作り
をしていきたいね

今後は
ネット配信
を利用して
海外にも日本の
男の娘を送り
出したい!!



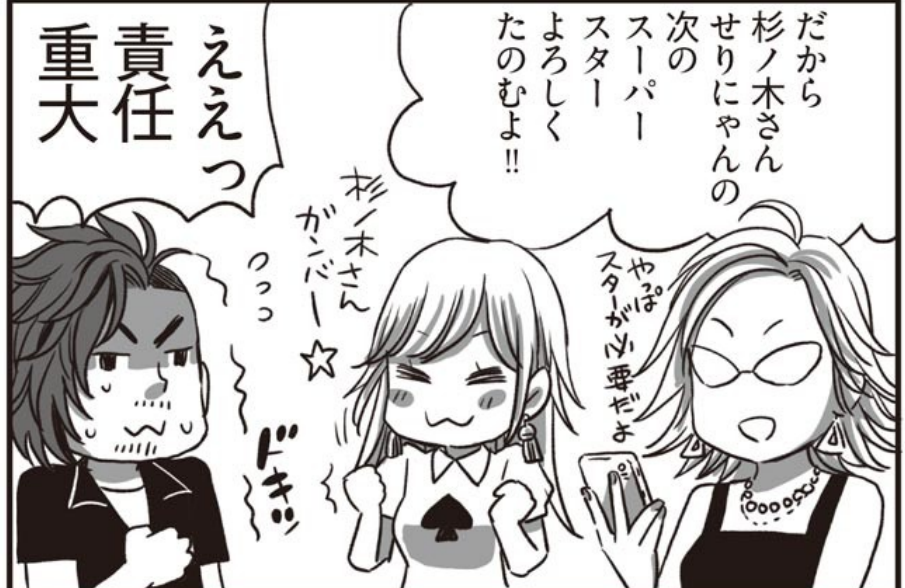
だから
杉ノ木さん
せりにやんの
次の
スーパ
スター
よろしく
たのむよ!!

ええっ
責任
重大



じゃその前に
やっぱ
せりにやんと
逆アナルを

イヤァァァ
この人たちが
本気だああ



杉ノ木さん
かんばん☆
っっっ
ドキッ

やほ
スターが必要だよ

芹那…ほんとに？ お酒飲んでたから（笑）

マリー…ずっと飲んでたよね。

芹那…最初と最後しか、ステージ出てないから。

マリー…出し惜しみしたいから、最初と最後でいいかと思ってるんだけど。

でも、ほんとにあのイベントをやって、世間の見方っていうのがわかった。こういう時代だなあって。それを数で立証できた気がする。

芹那…やっぱイベント好きな人っているもんね。ツイッターとかのファンでも、お店に行くのはハードルが高いけど、しゃべってみたいとか会いたいとか、ライトな層に向けて。

マリー…生で会えるっていうね

杉…たしかに生で会うと変わるかも知れないですね。自分もそうだったんで。

マリー…そうだよな。

杉…ニューハーフさんって、こんなにキレイなんだって。なんならニューハーフさんって、性別関係なくなっちゃいますからね。キレイな人間。

ストリップ劇場の伝統さえ変えた男の娘たち

マリー…デラカブの社長も感心してたもん。「男なの？」って。踊り子さんにしたかったみたい。

芹那…えー、踊り子になろうかな、性転換したら。そうしたら帰ってこれる。

杉…舞台でポロリもしない（笑）

マリー…ロック座、紹介してあげる。

芹那…チップ挟んで。

マリー…まんこの中に……あ、浅草だとチップないんだ。川崎ロックとか横浜ロックだったら。

ほんとね、踊り子の業界……ストリップの業界って、絶対にステージの上に男は立たせないっていう昔ながらの伝統があったから、ずっと許可がもらえなかった。芹那…そういう価値観も変えたんだ……。

マリー…それで変わったと思うよ。初めてですよ、ちんこついた人が煌びやかなステージに上がるの。

杉…ちんこついてない人は、マリーさんとイヴさん（飛室イヴ女王様）と真咲南朋さん（女流AV監督）ですよ。イヴさん、付いてないですよ？ イヴさんとマリーさん、付いてんじゃないかって思うぐらい（笑）

マリー…はたから見たらおかしいでしょ？ 私たちのほうが男だし、みんな所作がキレイだからさ、丁寧だしね。私とかはバンバンボン！って。

杉…控室でバンバン仕切ってるマリーさんと、控室で立ち膝でタバコ吸ってるイヴさん……。

マリー…おつかないよね。

杉…こわい……。

マリー…『極太祭り』はやりましょう。ね、コロナの様子を見ながら。

このまま終わろうとは思ってないから。せりにゃんが性転換しちゃう前には間に合うんじゃないかな？

(タイに) 行けるってことは、イベントもできるってことだから。その前に駆け込んでイベントはやるつもり。最悪オンラインでもいいや、ぐらい。

芹那…オンラインもっこり。

マリー…オンラインだったらさ、海外も行けちゃうじゃん。そんな激しいことできないけどさ。オンラインだったら面白いかな。私、この間、FC2の緊縛配信したら二千人以上見てくれた。

七か国からコメントが入ってたんで……読めないんだけど嬉しかった。

そういった形で、無料でもいいから世界中に流せたら

いいなって。

杉…それは思いますね、業界を広くするというか、まず知ってもらいたいですよね。

メジャーになったとはいえ、まだ抵抗ある人とか知らない人はいっぱいいるじゃないですか。

DVDに関してはお金稼ぎたいですけど。イベントと違ったところで、色んな人に見てもらいたくなって強く思いますね。もっと知ってもらいたくなって。

マリー…ね、知ってもらいたい。それって一番いいのは、オンラインじゃない？

このまま状況が悪くなればストリップ劇場も締めちゃうだろうから、またどこかロク座でも借りて、オンラインでイベントやりましょうね。

岡田快適生活研究所 商品開発史

マンガ 山本モト

ユーザーが求める
女装具・メススイキ器具を作り続ける
岡田快適生活研究所の
歴史をマンガ化！



男性らしき
女性らしき
そんな世の中の
常識に囚われず

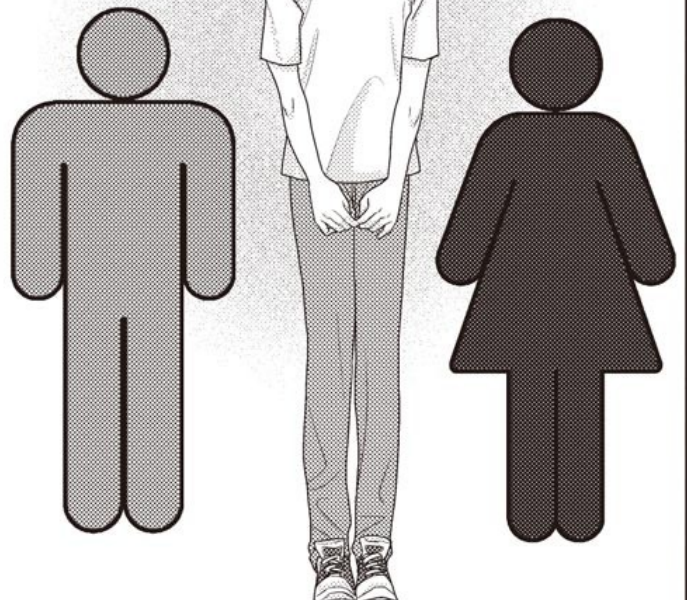
自分らしい生き方を
提案し続ける会社、それが
岡田快適生活研究所です

女装をすると
股間に膨らみが！
可愛い下着も
ピッタリした服も
もっこりで台無しに

そんな悩みを
持ったことは
ありませんか？



そんな声から
開発されたのが



陰茎を下向きに
引っぱり
女性の恥丘のような
シルエットにできる

岡田快適生活 研究所の ペニストッキング

股の間にオ○ンチンを
はさみこむことにより

じ

尿も女の子のように
座って排尿できるように

ペニストッキングは
好評を博し
改良を重ねた
新商品がどんどん
発売されていきます

2017
ペニストッキング2017

2010 穿くタイプ

2011
性リバーシブルパンツ

すると利用者から
意外な要望が
寄せられます

引っ張られる
感覚が最高…!!

痛い
ですかー？

ぎゅうう

もっと
お願いします
…!!

もっと強く
オ○ンチンを
引っぱって欲しい!!

ペニストッキングが
優しく陰茎を
包み込むのに対し

メスイキベルトは
亀頭の位置を
従来より3センチ
後ろに引っ張ります

3cm

ぐい

それにより
前立腺が刺激され

ドライオーガズムを
感じるように!

ぎゅう

うん

岡田快適
生活研究所の
テーマはこれにより
変化していきます

岡田快適生活
研究所は
そんなニーズにも
しっかり応えます

それが超牽引
ペニストッキング
(メスイキベルト)です



女性的な下半身の
追求から



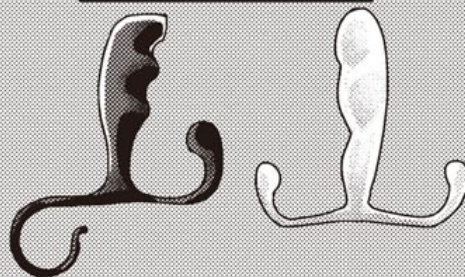
ドライオーガズムの
追及へ!!

そしてもっとダイレクトに
ドライオーガズムを
感じられるグッズを
開発します

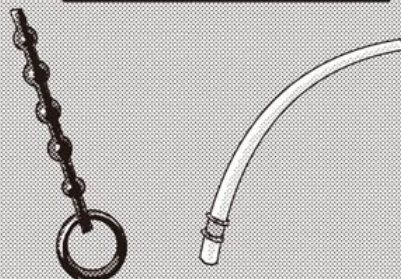
その名も
OKプロステートチップ
(ミルキング
マイクロチップ)

今まで前立腺を
刺激するアイテムと
いえば

アネロス
エネマグラ
直腸に挿入



カテーテル
ブジー
尿道に差し込む



初心者には難易度が
高いものしか
ありませんでした

OKプロステート
チップは
長さ3センチ
幅6〜8センチ
厚さ3ミリの
素材が



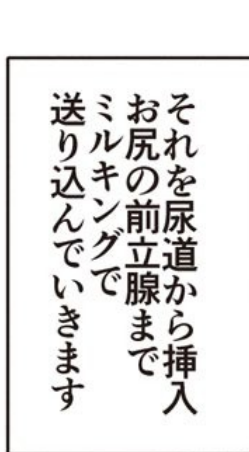
手術用の強い糸で
繋がれており



グイグイ押し込むのではなく
揉みしだきながら
進行を確認できる

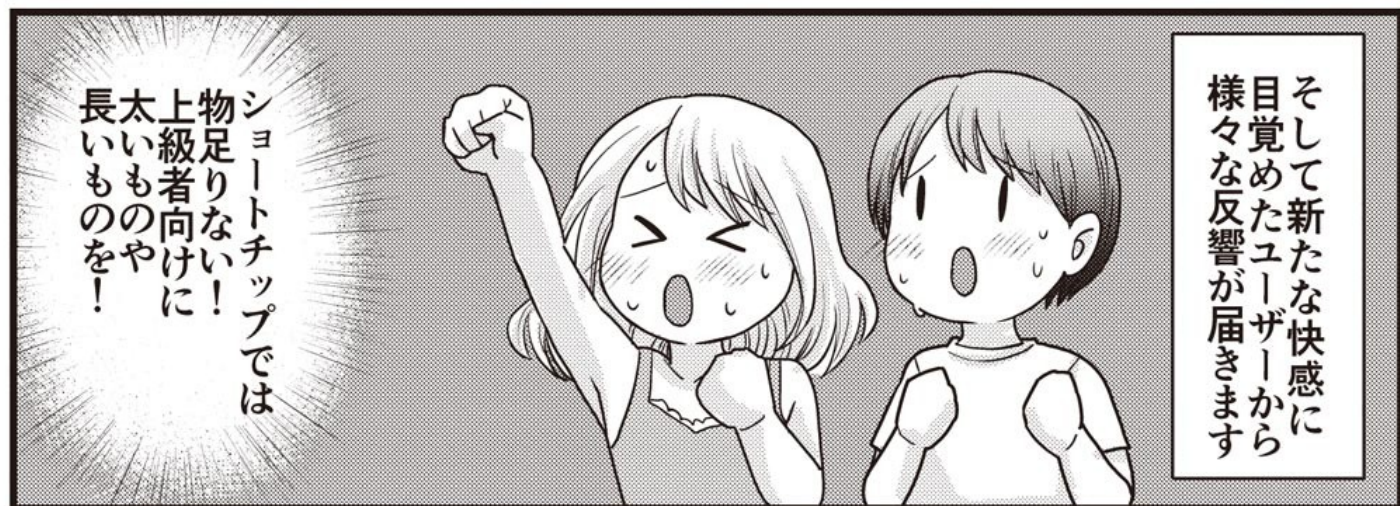
今ッ!!

初心者でも
挑戦しやすい
アイテムです



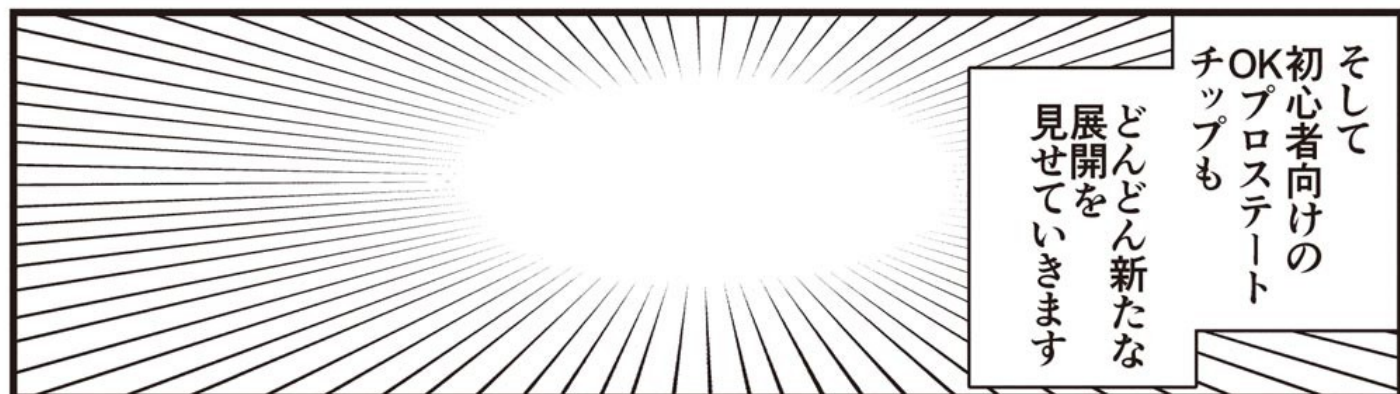
それを尿道から挿入
お尻の前立腺まで
ミルキングで
送り込んでいきます

※ミルキングとは
牛の乳を搾るように
もみしぼる動作のこと



そして新たな快感に
目覚めたユーザーから
様々な反響が届きます

ショートチップでは
物足りない!
上級者向けに
太いものや
長いものを!



そして
初心者向けの
OKプロステート
チップも

どんどん新たな
展開を
見せていきます



「オトコノコAV出演者インタビュー」

ボクたちのAV女優体験談

AVで知った女装の快感 あこ(仮名)

私がAVに出たのは、2014、5年頃でしょうか。もうだいぶ昔の話ですね。あるメーカーに応募したんです。

女装にハマったのは、高校の学祭で女装したのがきっかけでした。女物の洋服を着たら、可愛くて、しかもみんなからチャホヤされて、なんだか自分じゃないように感じたんです。男の自分には、あまり自信が持てなかった時期なので、これは効きましたね。

それから、大学に入って一人暮らしを始めたたら、洋服とか化粧品とかを集めるようになりました。メイクも覚えて、女装で外出もするようになって。

そしたら、今度はほとんど自分を女の子に変えてみたい欲が出てきちゃったんですね。女の子みたいにエッチすることにも興味が出てきました。

初体験は20歳頃です。掲示板で募集した男性とでした。あまり気持ち良くなかったけど、女の子みたいに扱ってくれて、すっごく満たされたのは覚えています。

その後、何回か男性とエッチして。AVに出てみようと思ったのは、それからです。女装AVをたまたま見て、もつとエッチなことをしてみたいと思ったからです。

でも、出るとなったら、ちよつと不安なことはありました。何か怖いことをされるんじゃないか、って。だけど、応募したら面接が決まってしまつて、とりあえず面接だけでも行ってみようと。

緊張してたので、面接で何を話したか覚えてないです。何か、自分がやってみたいことを話した気がします。そして、段々服のサイズとか空いてる日程とか聞かれて、あれよあれよと撮影が決まっちゃいました。

撮影は不安でしたよ。だけど、決まっちゃったから、もう逃げられないなって。自分で興味持ったことだし、もうやるしかないな、って。

だけど、当日スタジオに行つて、メイクさんにメイクしてもらったら、いつも私がしてるのと全然違って、めちゃくちゃ可愛いんです。本当に自分なのかと思っちゃうくらい。写真を撮ってくれたカメラマンさんも、まるでモデルの



初めての撮影で3P。女の子として抱かれる快感を覚えてしまいました。

イラスト／小本田絵舞

ように接してくれて、自分でも段々気持ち盛り上がっていききましたね。ああ、現場に来てよかったな、って思いました。不安だったけど、まあ男の人とエッチするのは嫌いじゃないし、これなら乗り切れるかも、って思っていました。

それで、ベッドがある部屋に行って、動画の撮影に入ったんですが、したら男優さんが二人いるんです。普通に1対1のセックスを考えてたので、え、なんで？って思っちゃいました。そしたら監督が、「今日は3Pだよ」って言ってきたんです。

それで、面接の時に、「実は凌辱ものが好きで」みたいなことを言ったのを思い出しました。でも、今まで3Pなんて経験ないし、やりたいこととやれることって別だと思うから、また不安になっちゃって。

でも、洋服を脱がされて、二人から体を触られていると、段々興奮していくのが分かるんです。一人と向き合うのではなくて、数人に犯されてる感覚。人ではなくて、物みたいに扱われてるような、凌辱ものの女の子みたいになっていききました。

ペニスに顔を挟まれて交互にフェラしていると、気分はもう完全に女の子でしたね。これから、この二本に順番に犯されるんだ、って考えたら、フェラしてる時の気持ちが違うんですよ。いつもは、前戯として何となくやってるだけなのに、この時は、「もっと硬くして！もっと犯して！」みたいな。

私も凄く興奮して、ペニスがギンギンに勃起しているのが分かりました。

多分、輪姦願望みたいなものがあっただと思います。

セックスする時になって、アナルに男優さんのペニスが入ったら、今までないくらいに気持ち良かったです。それまでは、挿入しても「あ、棒が入ってるな」くらいにしか感じなかったのに、アナルはギチギチに広がってるし、お腹の奥までいっぱい詰まってるような気がするし、ペニスってこんなに気持ちいいんだ、って初めて気付きました。

しかも、3Pだから、もう一人は私にフェラをさせてくれます。必死でしたね。お尻は気持ちいいけど、口にもペニスを咥えさせられて幸せだし。

声を上げられないから、吐き出せない気持ち良さがお腹でせき止められてる感じがしました。声が出せない女の子って、きつとこんな気分なんだろうな、って。

そう考えてたら、興奮がし過ぎたんでしょうか、頭がだんだんフワフワした変な感覚になっていったんです。

あれ、なんだろう、って思っていると、お尻に入ってたペニスの動きが急に早くなりました。めちゃくちゃに奥を突かれて、そのフワフワが段々大きくなっていきます。それで、あ、限界だ、って思ったら、それが頭の中で爆発したんです。頭が真っ白になって、何も考えられなくなりました。今思うと、その時初めて、ドライオーガズムを経験したんです。

その後、生温かい液体が、お腹の上にぴちゃぴちゃと掛かりました。男優さんの精液が掛かったんです。フェラしてたペニスからも精液が出てきて、口の中にドバっと広がりました。

私は体も動かせず、精液まみれで、ベッドの上に倒れ込んでいました。そのままカットが入って、そのシーンの撮影が終わりました。1時間もしなかったのに、かなり長く感じましたね。

今思うと、この撮影は、私に女装セックスの気持ち良さを教えてくれた気がします。自分が本当に女の子になってと思つてセックスすると、あんなに気持ち良いんだと気付いたからです。

結局、私が出たのはこの1本だけだったんですが、そういう意味ではいい思い出かもしれないですね。

女装つてバレちゃう！ みずき（仮名）

撮影での出来事ですか。そういえばつい最近、ちよつとビックリしたことがありましたね。

女装AVって、作品によってはタッチパートがあるんです。要するに、挿入されるんじゃないくて、する側。

女の子みたいな子が男に挿入するって、結構需要があるんですよ。本物の女性だとできないので、背徳感があるという

か、ふたなりの気分が味わえるらしいです。

そのシーンの撮影に入った時です。

私が別の部屋で待機していると、監督がやってきて、男優さんが来るまで出てこないように、って言われました。わざわざこんなこと言いにくるなんて珍しいな、って思つて、「そうなんですか？」って聞いたんです。そしたら、「男優さんに見られたらまずいから」って言ってますよ。

ちよつと変だな、って思いました。今までそんなこと言われた現場ってなかったし、見られたらなにか不都合なことであるのかな、って。でも、その時はとりあえず、「分かりました」って言つて、メイク直してもらつて待つてました。

しばらくしたら、また監督が来ました。男優が来た、って言つと、また変なことを言ってきたんです。

「次の男優、あなたが女装だつてこと知らないから」ちよつと意味が分からなくて、つい「は？」って言っちゃいましたよ。女装AVなのに、相手が女装つて知らないってどういうことですか。

監督が言うには、「男だと気付いた時のリアクションが欲しいから」だつて言うんです。

いいの、それ？ だつて、相手は女性とエッチするつもりで来るんですよ？ しかも入れる側じゃなくて入れられる側だし。そんなのやられたら、普通怒りますって。私、なんか心配で、気が引けちゃいましたよ。確かに、ノンケの男性を

犯すことに興奮するって人もいますけど。

でも、監督はそれで「よろしくね」って出ていきました。それからすぐに、隣の部屋から声が聞こえてきたんです。

男優さんに、色々聞いているみたいでした。声の様子から、雑談とかじゃなくて、始まる前のインタビューでした。撮影が始まっちゃったんです。

もう、しょうがないな、って、今までで一番真剣に、女の子らしくしようって決めました。

男優さんのインタビューが終わって、部屋の外から監督が私を呼びます。私はとりあえず挨拶をして、男優さんが座るソファのお隣に行きました。

「ああ、可愛いですね」

男優さんは明るい笑顔で言います。ちょっとだけ可哀そうになっちゃいましたね。あー、ごめんなさい、女の子じゃないんです……って心の中で謝っちゃいました。

監督が指示をして、キスをします。まだバレてません。服の上から、男優さんがおっぱいを触ってきました。女性のおっぱいとは全然違うけど、まだバレていないみたいでした。

この男優さん、おっぱいを触るのがとっても上手で。私は凄く緊張していたんですが、それでも気持ち良くなっちゃって、勃起しちゃったんですよ。

まだバレるわけにもいかなから、ちょっと焦りました。今度は、男優さんをソファに寝かせてフェラをします。

ズボン脱がすと、ギンギンに立ったペニス天井を向いてました。啞えて、唇で扱いてると、我慢汁がドバドバって次から次へと。よっぱど興奮してたんですね、この男優さん。そしたら、嬉しいと同時に、可愛く思えてきちゃって。

女装だって、男だって分かっちゃうとこがいっぱいあるのに、それでも私が女の子だと思ってるのが、なんかピュアで可愛いな、って感じなんです。もっと気持ち良くして、いかせたいな、って、一生懸命しゃぶっちゃいました。

だけど、男優さんが「出そう……」って言ったら、監督が止めました。まだ本番をしてないし、射精させるわけにもいきませんもんね。

それで、とうとう、私の下着を脱がせにかかったんです。スカートをめくって、パンツに手がかけられて。ああ、これでバレるんだ、って思った。

すると、男優さんがまるで石みたいに固まってしまったんですね。

下げられたパンツから、勃起した私のペニスがドーンと、スカートを持ち上げて主張してました。男優さんは全く言葉を失って、目をかっと見開いて。ああ、人が本当に驚いた時って、こんな反応するんだ、なんて思いました。

私はといえば、もう諦めの境地ですね。あーあ、バレちゃった。知らない、どうにでもなれって。

監督も監督で、「あれ？」みたいな顔してて。



女装と知らない男優さん。頑張って隠してたけど、結局バレました。

イラスト／小本田絵舞

きつと、男優さんの反応が予想よりも全然地味だったからなんでしょう。カメラ見ながら首傾げてる。凄く変な空気になっちゃいました。

でも、何か言わなきゃいけないって思ったんでしょうか。

監督が「はい、実は彼女は女装ちゃんでした」って言ったんです。

口調が軽すぎて、あんまりにも空気が違いすぎました。ええ？　そこで言う？　みたいな。

なんかコントみたいで、私もつい吹きだしちゃいました。

でも、それが逆に良かったみたいで、男優さんも「なんですか、それー！」って笑ってて。陰湿な雰囲気にはならなくて、ちよつと安心しました。

その後、男優さんと監督は別室に行って、撮影を続けるかどうか交渉しました。あ、本当に教えてなかったんだ、って、改めて思いましたね。

結局、交渉は成立して、打ち合わせ通り、男優さんを掘って撮影を終えました。

でも、今から思うと、あれも絶対含みだったな、とは思いますよね。男優さんにも、私と同じこと言ってたと思うんですよ。相手が女装だって知らない体で演技してくれて。お互い、乗せられたんですね、きつと。

だって、いくら相手が女装でも、挿入するとされるでは全然違うじゃないですか。ウケ役だって言われて、はい、やり

ます、ってなかなかならない気がするんです。

だって、男優さんのお尻、めっちゃトロトロでしたから。あれは準備してるお尻でしたよ。

女装レズでドキドキ　　れいな(仮名)

この間、コスプレAVに出させてもらいました。

アニメキャラのコスプレって、実はこの時が初めてだったんですよ。

今まで興味はあったんですけど、衣装をそろえたり、キャラに合ったメイクをしたり、どうしても敷居が高い気がして手が出せなくて。やってみたら、すごく楽しかったです。

不思議なもので、衣装を着てウィッグを被っただけなのに、本当にそのキャラになったような気がするんです。

本当に「変身」したみたい。ハマる人の気持ちは何となく分かりましたね。

そう思ったのは、この撮影での体験からです。

コスプレAVと言っても、やることは普通のAVとそんなに変わらなかったです。

男優さんとエッチしたり、オナニーしたり。ただ衣装が変わっただけ。ちろん、衣装が変わっただけでも、気持ちは全然違うんですけど。

それで、一通りプレイを撮影した後、女装レズを撮ること

になったんです。

女装レズってなんとなく苦手だったんですよ。相手が男性だったら、自分が女の子って風に思えるので好きなんですけど、女装だと違うじゃないですか。なんか、立ち位置というか、役割が中途半端な感じがして。

それで、経験がない分、ちょっと不安でした。でも、撮影ですから、やらないわけにもいかないですね。

撮影する部屋で待ってたら、準備を終えた相手の子が入ってきました。

私はその子のコスプレにドキッとしたんです。私のコスプレと同じ作品のキャラだったんですが、この二人、二次創作なんかだと百合カップリングなんですよ。そういう同人誌も読んだことあるし。

そしたら、「この二人だったら、きつとこういうエッチをしちゃうんだろうな」みたいなことを考えだしちゃってました。

同人とかじゃなくて、三次元でこんなことが出来るんだ、って思ったら、それまで以上に気分が盛り上がるのを感じたんです。

不思議な感覚でした。多分、コスプレしてるキャラに入り込めていたんです。苦手だけど、もしかしたらできちゃうんじゃないかって思いました。

しばらくして監督がやってきたので、撮影が始まりました。

台本では女装レズとしか決められてなかったので、プレイは流れの中でやっていきました。

監督とか相手の子とちよつとした打ち合わせはあったのですが、ほぼアドリブです。

でも、だからといって、困ったことはなかったです。私はキャラに入り込んだんじゃないので、もしこの子たちがエッチするんなら、どんなことを言うのかな、するのかな、って思い浮かんだことを再現すればよかったんですから。

キスしたり、おっぱい触ったりしたら本当に百合みたいで、胸にツンとした痛みが広がるし、固くなったペニスをお互いに扱いてると、女装なんじゃなくて、ふたなりになったみたいに思えてきたり。

そしたら、今度は困ったことになっちゃいました。あまりにキャラに入り込み過ぎて、相手を本気で好きになってきちゃったんです。

演じている役割としての感情を、私個人の感情とごちゃまぜにしちゃったんですよ。

ちようど、その子のペニスをフェラしてた時でした。ガツチガチに勃起して、可愛く喘いでる彼女を見たら、本当に愛おしくなってきたってしまってた。

監督から「そろそろ別の動きが欲しいかな……」って言われるまで、ほとんど無心でしゃぶってた気がします。

口の中に溜まった我慢汁をその子の口に流し込んだら、

しっかりと飲んでくれました。そしたら、もっと可愛く思えてきて、抱きしめながら延々とキスしてましたね。感情が暴走して、止まらなくなっちゃいました。

ああ、撮影なのに、これじゃあよくないな、って思ってた。すると、キスしながら、相手の子が私のペニスを扱いてきたんです。

気付かなかったんですが、私のペニスは今までないくらいにカチカチで、ローションをまぶしたくらい、我慢汁でぐちゃぐちゃにぬめっていました。ちよつと擦ったら、もう射精しちゃうくらいに興奮してたんです。

「夢中になって、可愛いんですね」

彼女はそんなことを言った気がします。

私と違って、彼女はずっと冷静でした。

カメラとか色々と気にしてたし、止まらなくなった私をセリフとか、寸止めとかでコントロールして、本当のレスプレイっぽく演出してくれたんです。

だから、私は私で、彼女の手のひらで転がされるように、ほとんど疑似恋愛にハマっていききました。

最後は、彼女にキスされながら、手コキで射精しました。撮影ってことも忘れて、幸せな気分にあっただけでしたね。

ただ、撮影が終わったら、今までのことはなんだったんだろ、って思うくらいに綺麗さっぱり、元通りになっていました。

やっぱり、コスプレっていう特殊な状況が作った感情だったのですね。

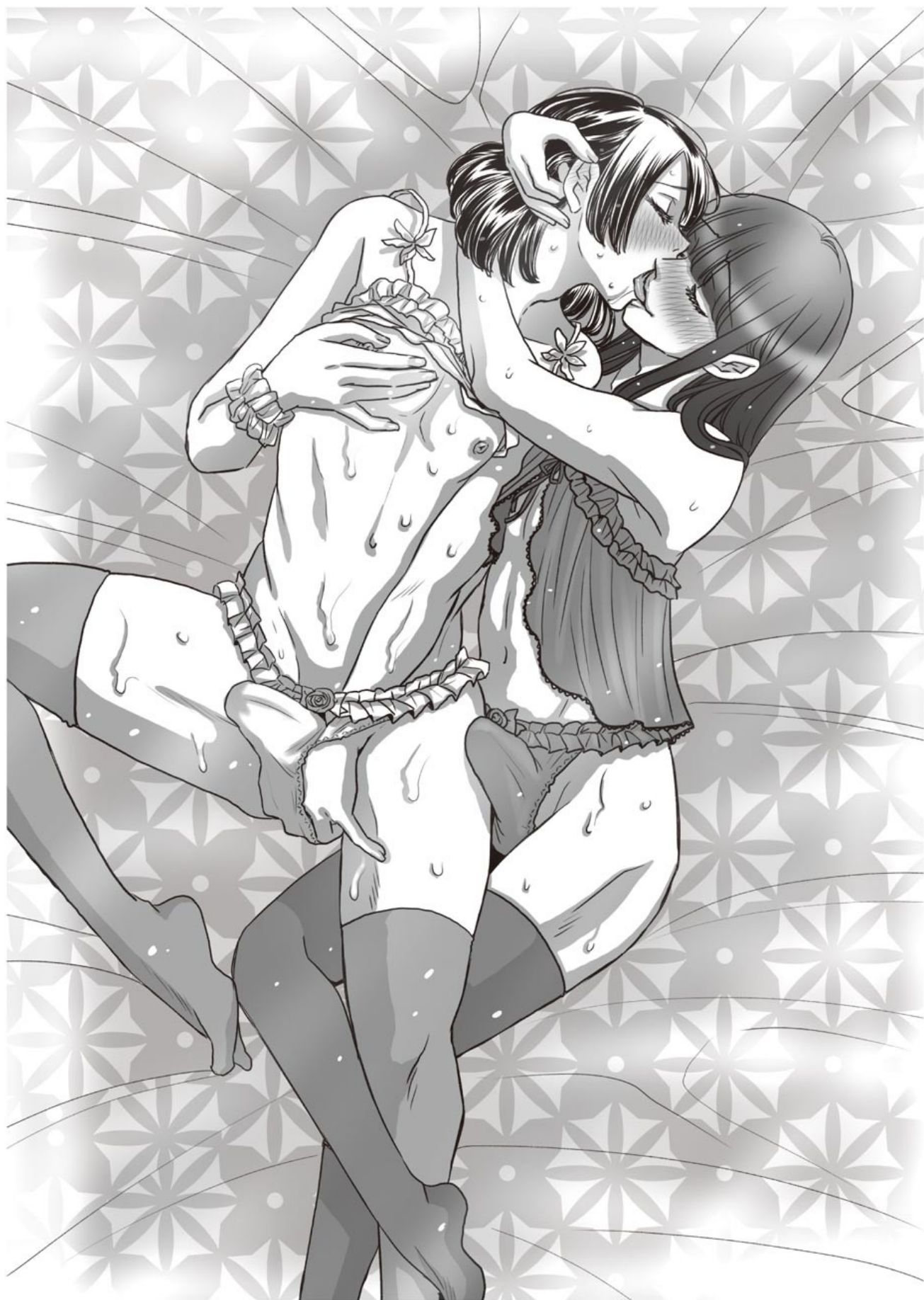
そしたら、さっきまで頭がトンじゃってたのが、急に恥ずかしくなっちゃって。プロ失格ですもん、こんなこと。

だから、監督とか、相手の子に、ごめんなさい、って謝りました。

監督は、「いやー、あれくらいノってくれてた方が良かったよ」って言うてくれたので、結果オーライとは思いたいですね……。

でも、こんなことがあって、コスプレっていうのも楽しいな、って思うようになりました。

キャラに入り込んだりして、本当の非日常だから。初めて女装した時の気持ちを再確認した気分ですね。



初めての女装レズ。苦手だったのに、途中から本気になっちゃいました。

イラスト／小本田絵舞



SANWA MOOK

マンガで振り返るオトコノコ 10 年史

2020 年 10 月 30 日発行

発行人／小野寺一

編集人／遠藤靖晃

発行／三和出版株式会社

〒 170-8468 東京都豊島区巢鴨 4-26-10

TEL 03-5907-7015 編集部

03-5907-7011 営業部

〔男の娘ロングインタビュー〕

女装子の時代を塗りかえた雑誌

『オトコノコ倶楽部』

創刊編集長・井戸隆明に聞く

新世代の女装子たちが彩った10年と
大島薫というエポックメイカーについて

Comic: 秋月たかひろ

〔男の娘AV座談会〕

AVメーカー『僕たち男の娘』で

5年間専属女優を努めたNH橘芹那

男の娘を専属女優にした

『僕たち男の娘』杉ノ木監督

オトコノコのイベント『ごくぶと祭』P

三代目葵マリー

Comic: 小本田絵舞

〔女装美少年たちが 美少女化した時代背景 ——検証オトコノコの時代〕

- ・男の娘誕生の礎① ドライオーガズムとメスイキ
- ・男の娘誕生の礎② 催眠オナニーと女体化
- ・SNSの発展とビューティーアプリの進化
- ・韓流ブーム以降の美容整形と化粧技術の発展
- ・LGBT〜ジェンダーレス社会の意識改革
- ・コスプレ人気と百花繚乱のアダルトグッズ
- ・美しい女装子のための女装衣料の発展

マンガで振り返る

オトコノコ 10年史

SANWA MOOK

